
2007

[第21回]

牛乳・乳製品の
消費動向に
関する調査

社団法人日本酪農乳業協会

後援 農林水産省 独立行政法人 農畜産業振興機構

はじめに

この「牛乳・乳製品の消費動向に関する調査」は、当協会の前身の一つである（社）全国牛乳普及協会が、1987年に調査を開始し、今年で21回目の調査となります。

この調査は、毎年全国で6,000名の消費者を対象として実施しており、酪農乳業関係者、関連食品業界、研究者及びマスコミ関係者などにも広くご活用いただいているところです。

この「牛乳・乳製品の消費動向に関する調査」は、牛乳・乳製品の消費の構造や動向を把握し、牛乳・乳製品の飲食・購入・嗜好等に関する基本的な項目を時系列的に、地域・年代などに偏りを生じないように調査し、牛乳・乳製品の消費拡大方策を立案する資料を得ることを目的として実施してまいりました。

また、各年度において、社会経済上の変化や消費者の購買行動の変化に対応した調査項目を設定し、調査を実施しています。

本年度の調査においても、前年度に引き続き、「ふだん最もよく飲む飲み物」として、「無糖のお茶飲料」及び「コーヒー飲料」が、「白もの牛乳類」よりも上位を占める結果となりました。

「白もの牛乳類」の飲用シーンについては、昨年の「のどが渴いたとき」「朝食をとりながら」の1,2位の順序が逆転し、「朝食をとりながら」が1位となり、上記の結果と合せて、日常の様々なシーンでの飲用機会が減少していることが推測できます。

「白もの牛乳類を飲む理由」については、前年との比較で多くの項目で減少がみられ、特に「カルシウムがあるから」は9ポイント、「栄養があるから」「健康に良いから」では6～7ポイント減少しています。

牛乳・乳製品の消費拡大が、焦眉の課題となっております。酪農乳業関係者の牛乳・乳製品消費拡大活動の基本情報としてお役立ていただきたく、ここにお届けいたします。

2007年12月

社団法人 日本酪農乳業協会

会長 本田 浩次

目 次

調査設計

調査目的	1
本年度調査テーマ	1
調査方法	1
サンプル構成	3
主な分析軸	4

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態	5
1. 白もの牛乳類の飲用頻度	5
1) 白もの牛乳類の飲用頻度	5
2) そのまま飲む頻度	7
3) 他のものと混ぜて飲む頻度	8
4) 季節による変動	9
2. 白もの牛乳類の飲用量	11
3. 白もの牛乳類の飲み方	14
4. 白もの牛乳類の飲用シーン	17
5. 白もの牛乳類の飲用理由	19
II この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識	21
1. 飲み方別飲用量の増減	21
1) そのまま飲む量の増減	21
2) 混ぜて飲む量の増減	22
3) 全体での増減	23
2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因	26
1) 飲用量減少・非飲用理由	26
2) 食生活の変化	32
3. 白もの牛乳類の飲用意向	38
III ふだんよく飲む飲み物	40
1. ふだんよく飲む飲み物	40
2. ふだん最もよく飲む飲み物	41

IV 白もの牛乳類を使った料理の実態	43
1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動	43
2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理	46
V 乳製品の飲食実態	47
1. ヨーグルトの飲食状況	47
1) ヨーグルトの飲食頻度	47
2) ヨーグルトの飲食量	48
3) ヨーグルトのタイプ	49
VI 生活の中の白もの牛乳類	51
1. 「3-A-Day」について	51
1) 「3-A-Day」の認知状況	51
2) 「3-A-Day」の実践状況	52
3) 「3-A-Day」の実践意向	53
2. 健康・食生活について	56
1) 健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知	56
2) この3年間の骨密度測定経験	58
<付録1> 各年度のテーマとサンプル数	59
<付録2> 単純集計結果付き 調査票	61

調査設計

調査目的

「牛乳・乳製品の消費動向に関する調査」は、1987年度から2006年度まで20回にわたり、毎年全国の消費者に対し調査を実施し、牛乳・乳製品に関する購入実態、飲用実態、牛乳・乳製品に関する意識・知識などを時系列で把握してきた。今回の2007年度調査は、基本項目の調査に加え、牛乳・乳製品の料理への利用実態、飲用量減退についての認識を調査すること等により、牛乳・乳製品の消費拡大のための資料を得ることを目的とする。

本年度調査テーマ

- 白もの牛乳類の飲用実態
- 白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識
- 白もの牛乳類の飲用量減退についての認識
- 白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度
- 乳製品の飲食実態
- 白もの牛乳類を使った料理の実態
- 健康や食生活に関する認識

調査方法

1. 調査方法

- ・ 留置併用訪問面接法

2. 調査項目

- ・ 白もの牛乳類の飲用頻度・飲用量
- ・ 白もの牛乳類の飲み方
- ・ 白もの牛乳類の種類
- ・ 白もの牛乳類の飲用量の増減
- ・ 白もの牛乳類の飲用量減退の理由
- ・ 白もの牛乳類を使った料理と料理行動
- ・ ヨーグルトの飲食状況
- ・ 健康や食生活に関する知識
- ・ 対象者の属性

3. 調査対象者

全国13歳以上の男女個人 回収 3486人

サンプル構成

()内は%

4. 抽出方法

住宅地図データベースを用いた層化多段抽出割当法

* 層化多段抽出法の手順は以下の通り

まず、平成17年国勢調査時の母集団人口に基づき、地域（9分類）と都市規模（5分類）により層化し、調査地点数を比例配分する。各層ごとに大字・町丁目の該当人口に応じて、調査地点を抽出する。住宅地図データベースより、各調査地点における世帯（居住者のいる一般世帯住宅住戸）を系統抽出する。
世帯から個人の抽出は、性・年齢別人口構成に基づいた割当に従って、訪問世帯において対象者条件に適合する個人を抽出する。

5. 地域

回収サンプルの地域別内訳は下表のとおり。

全国（沖縄を除く）

地域別	回収数	構成比 (%)
北海道	153	4.4
東北	275	7.9
関東・甲信	1,208	34.7
東海	414	11.9
北陸	162	4.6
近畿	576	16.5
中国	213	6.1
四国	108	3.1
九州	377	10.8
計	3,486	100.0

都市規模別	回収数	構成比 (%)
14 大都市	817	23.4
15 万以上の市	1,155	33.1
5万～15万未満の市	788	22.6
5万未満の市	226	6.5
郡部	500	14.3
計	3,486	100.0

6. 調査期間

2007年6月1日（金）～6月18日（月）

7. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

- この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、**種類別**牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。
(注) この調査でいう「白もの牛乳類」とは、普通の牛乳や低脂肪乳（ローファットミルク）や機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいう。市販のコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含まない。
- 択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。
- MAと表記のあるものは複数回答である。

<調査結果の要約は「要約版」を参照>

<性別>

全体	3486 (100.0)
男性	1723 (49.4)
女性	1763 (50.6)

<結婚の有無>

全体	3486 (100.0)
未婚	899 (25.8)
既婚	2477 (71.1)
その他	107 (3.1)
無回答	3 (0.1)

<年齢>

全体	3486 (100.0)
13～15歳	176 (5.0)
16～19歳	152 (4.4)
20～24歳	241 (6.9)
25～29歳	254 (7.3)
30～34歳	249 (7.1)
35～39歳	307 (8.8)
40～44歳	242 (6.9)
45～49歳	233 (6.7)
50～54歳	225 (6.5)
55～59歳	346 (9.9)
60～64歳	245 (7.0)
65～69歳	241 (6.9)
70歳以上	575 (16.5)
平均 47.1歳	

<子供の有無>

全体	3486 (100.0)
いる	2375 (68.1)
いない	1100 (31.6)
無回答	11 (0.3)

<同居家族数>

全体	3486 (100.0)
1人(ひとり暮らし)	252 (7.2)
2人	854 (24.5)
3人	749 (21.5)
4人	803 (23.0)
5人	445 (12.8)
6人	249 (7.1)
7人以上	126 (3.6)
無回答	8 (0.2)
平均 3.5人	

<職業>

全体	3486 (100.0)
農林漁業	55 (1.6)
商工サービス業	190 (5.5)
自由業	114 (3.3)
内職	11 (0.3)
管理職	168 (4.8)
専門・技術職	429 (12.3)
事務職	245 (7.0)
労務職	188 (5.4)
販売・サービス職	190 (5.5)
パート・アルバイト	302 (8.7)
専業主婦	645 (18.5)
中学生	142 (4.1)
高校生	128 (3.7)
中高生以外の学生	113 (3.2)
無職	562 (16.1)
無回答	4 (0.1)

<家族構成(同居家族数「1人」を除く)>

全体	3226 (100.0)
夫婦2人	691 (21.4)
2世代世帯/親と子	1795 (55.6)
3世代世帯/親、子、孫	642 (19.9)
その他	91 (2.8)
無回答	7 (0.2)

<同居する子供(家族構成「夫婦2人」を除く)>

全体	2528 (100.0)
乳児・幼児	516 (20.4)
小学生	605 (23.9)
中学生	472 (18.7)
高校生	470 (18.6)
大学・短大・専門学校生	278 (11.0)
この中にはない	972 (38.4)
無回答	8 (0.3)

主な分析軸

本報告書で利用した主な分析軸は次の通り

()内は%

<性・年齢別>

全体		3486 (100.0)
男 性	中学生	75 (2.2)
	10代(中学生除)	97 (2.8)
	20代	253 (7.3)
	30代	291 (8.3)
	40代	241 (6.9)
	50代	290 (8.3)
	60代	243 (7.0)
	70代以上	233 (6.7)
女 性	中学生	67 (1.9)
	10代(中学生除)	89 (2.6)
	20代	242 (6.9)
	30代	265 (7.6)
	40代	234 (6.7)
	50代	281 (8.1)
	60代	243 (7.0)
	70代以上	342 (9.8)
男性計		1723 (49.4)
女性計		1763 (50.6)

<白もの牛乳類飲用行動別>

全体		3486 (100.0)
飲 用 頻 度	飲用者・計	3044 (87.3)
	毎日飲用	1343 (38.5)
	週1~6日飲用	1192 (34.2)
	月に2~3日以下飲用	509 (14.6)
	非飲用者	442 (12.7)
飲 用 パ タ ー ン	そのまま&混ぜて&入れて&かけて	104 (3.0)
	そのまま&混ぜて&入れて併用	74 (2.1)
	そのまま飲用のみ	965 (27.7)
飲 用 量 増 減	この1年間に飲用量増加計	348 (10.0)
	この1年間に飲用量変化なし	2218 (63.6)
	この1年間に飲用量減少計	485 (13.9)

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態

1. 白もの牛乳類の飲用頻度

1) 白もの牛乳類の飲用頻度

コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲んだり、シリアルなどにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、ふだんの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

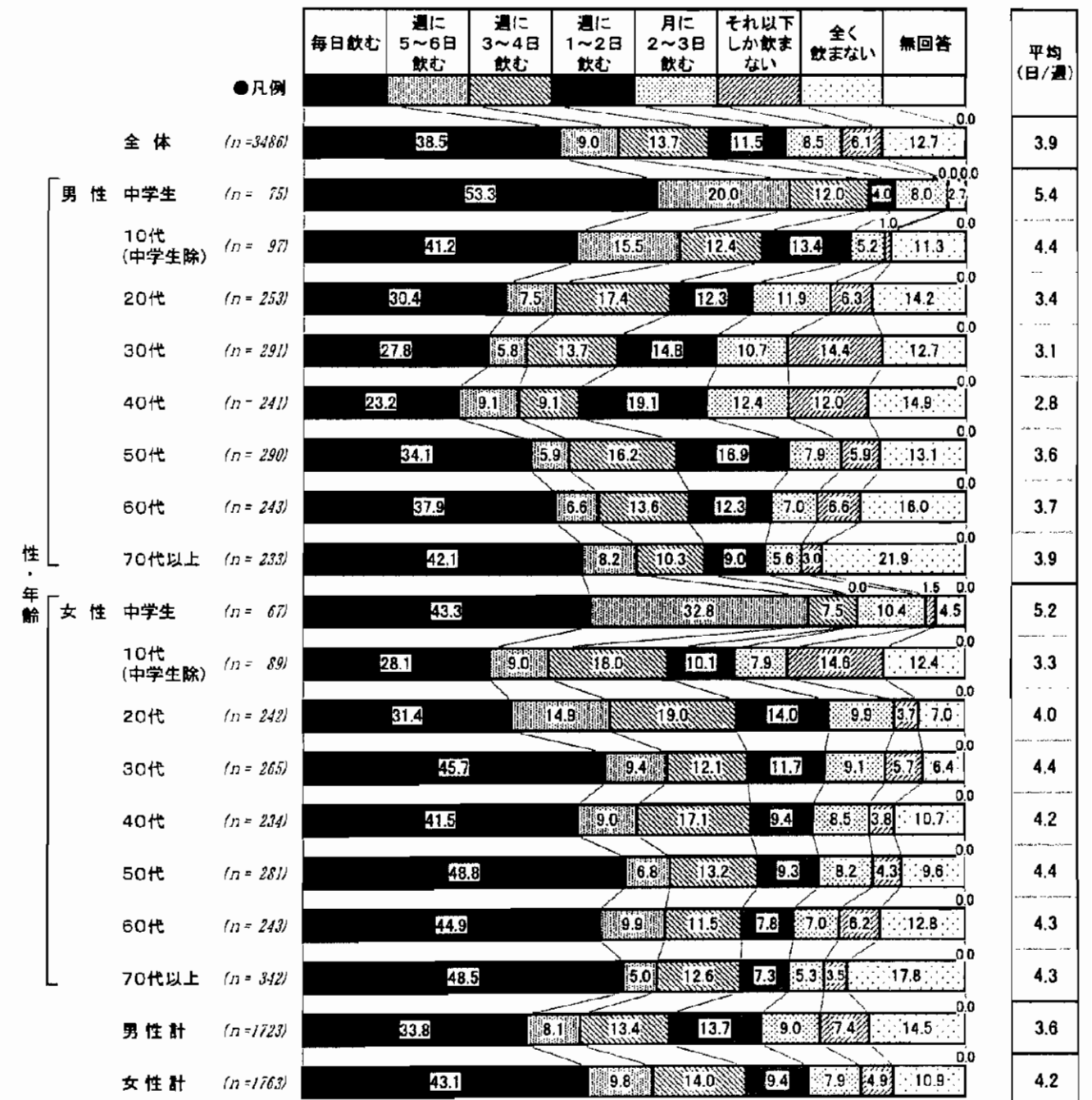
「毎日飲む」人は全体の39%である。一方「全く飲まない」という人は13%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人は女性の方が43%と、男性を10ポイント近く上回る。

また、男性の中学生で「毎日飲む」が5割を超え、他の層に比べ高い。「全く飲まない」人の割合は、男女とも70代以上が2割前後と高い。

週あたりの平均飲用頻度は全体で3.9日である。

図表I-1-1 性・年齢別 問1 白もの牛乳類を飲む頻度



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

2) そのまま飲む頻度

そのまま飲む飲み方で、ふだんの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

「毎日飲む」人は全体の25%である。一方「全く飲まない」という人は19%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人の割合は女性の方がやや高い。また、「毎日飲む」人は男性では中学生と60代以上、女性では中学生と50代以上の層で3割以上と多い。

「全く飲まない」人は男女とも40代と70代以上で2割強と多い。

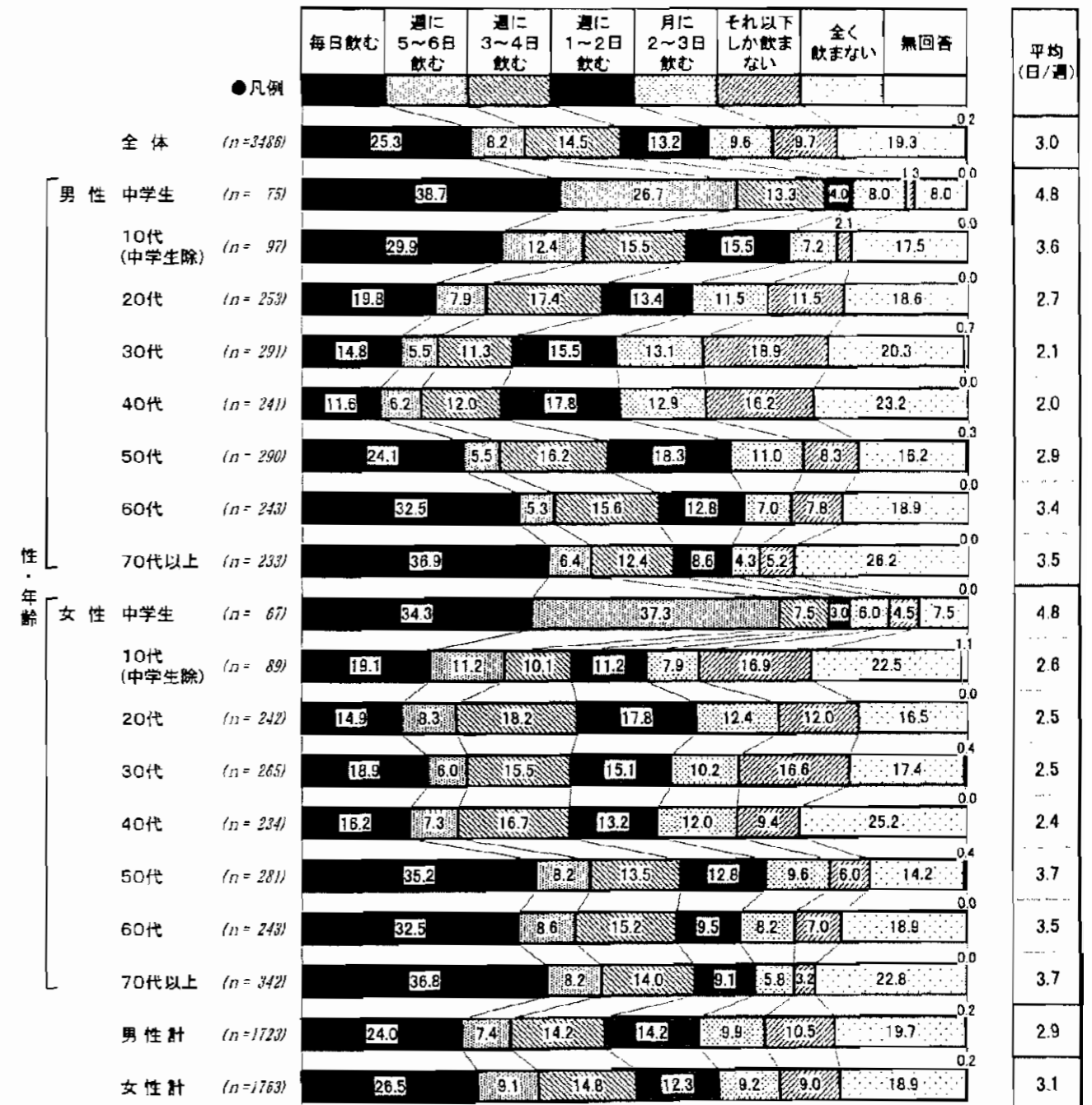
図表I-1-2 時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度

	n	毎日飲む	週に5~6日飲む	週に3~4日飲む	週に1~2日飲む	月に2~3日飲む*	それ以下しか飲まない	全く飲まない	無回答	平均(日/週) [01年以前は日/月]
2007年	3486	38.5	9.0	13.7	11.5	8.5	6.1	12.7	0.0	3.9
2006年	3478	37.7	9.5	13.5	12.0	7.0	6.5	13.7	0.0	3.9
2005年	3896	39.5	9.8	15.5	11.9	7.2	6.0	10.2	0.0	4.1
2004年	4177	40.1	9.6	14.0	11.6	7.5	6.4	10.8	0.0	4.1
2003年	4177	41.8	11.2	14.5	10.7	6.1	5.5	10.3	0.0	4.3
2002年										
2001年	4778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2000年	4632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
1999年	4476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
1998年	4472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1997年	4547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1996年	4706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1995年	4668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1994年	4617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1993年	4553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1992年	4651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1991年	4714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1990年	4691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1989年	4579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1988年	4604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1987年	4664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0

※斜線はデータなし

*87~01年は「月に数回飲む」 (%)

図表I-1-3 性・年齢別 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度：年間平均



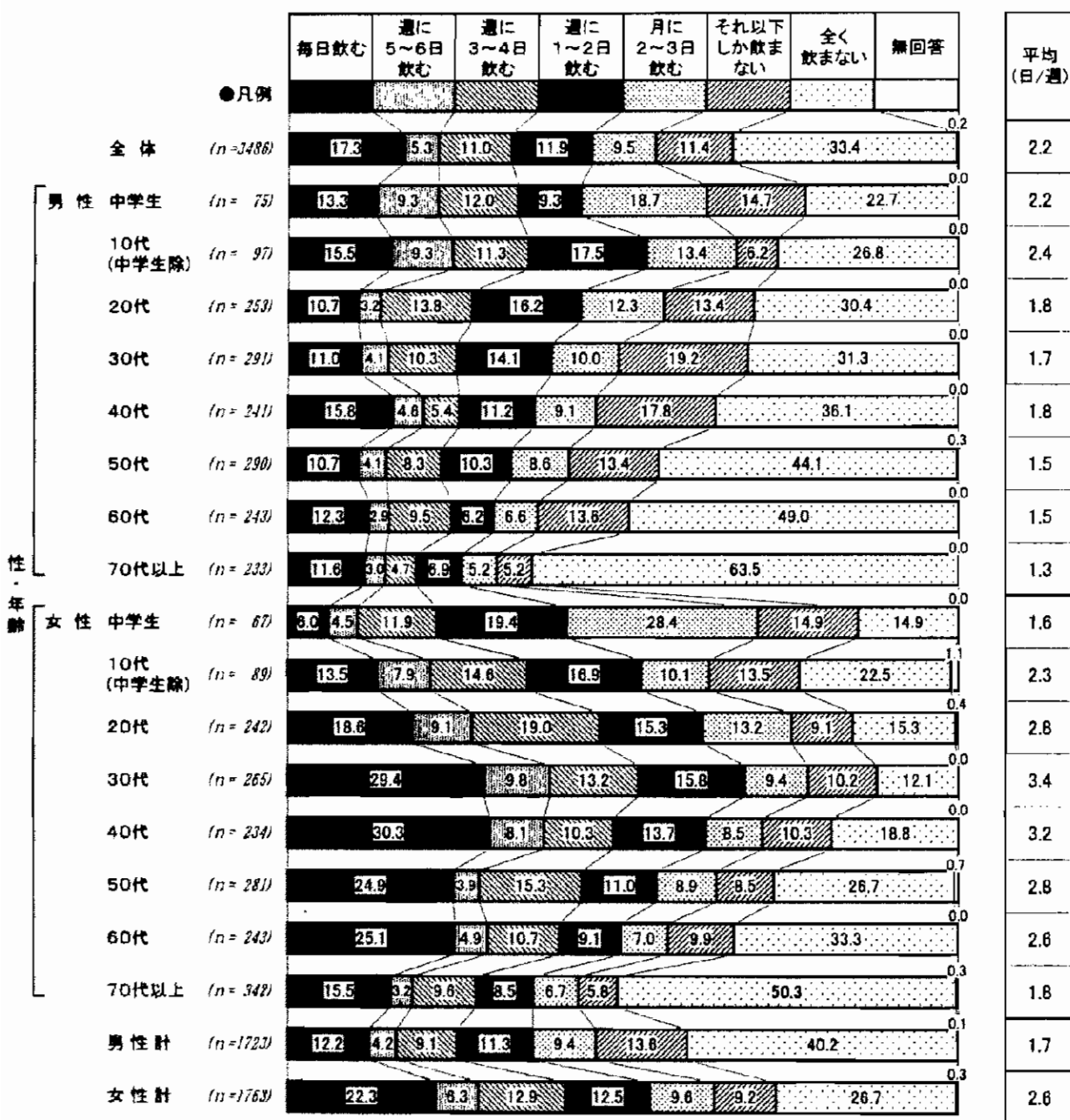
3)他のものと混ぜて飲む頻度

コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲む飲み方で、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

「毎日飲む」人は全体の17%である。一方「全く飲まない」という人は33%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人は男性12%、女性22%であり、女性の方が10ポイント高い。「毎日飲む」人の割合は、男性では年齢別にあまり違いは見られないが、女性では30代、40代が30%程度と多くなっている。

図表I-1-4 性・年齢別 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度：年間平均

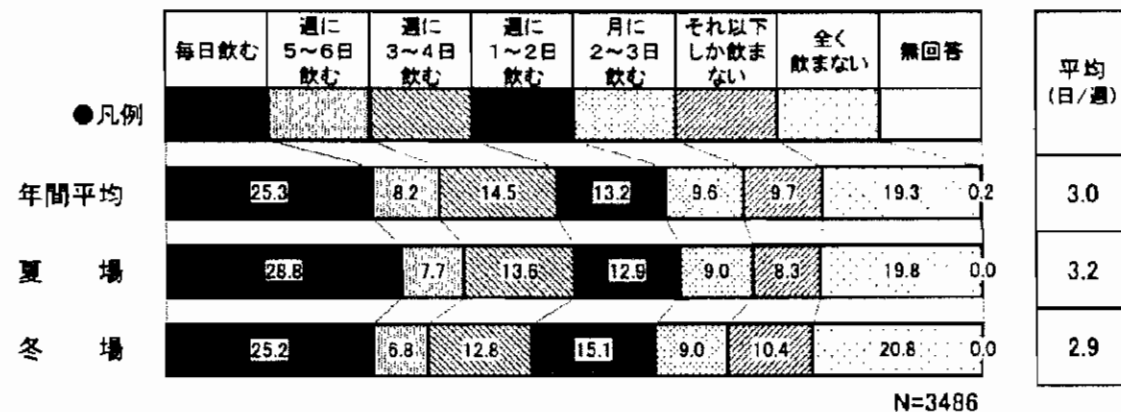


4)季節による変動

白もの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動をみてみると、そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が29%と冬場(25%)より4ポイント多くなっている。他のものと混ぜて飲む飲み方では大きな変動はみられない。

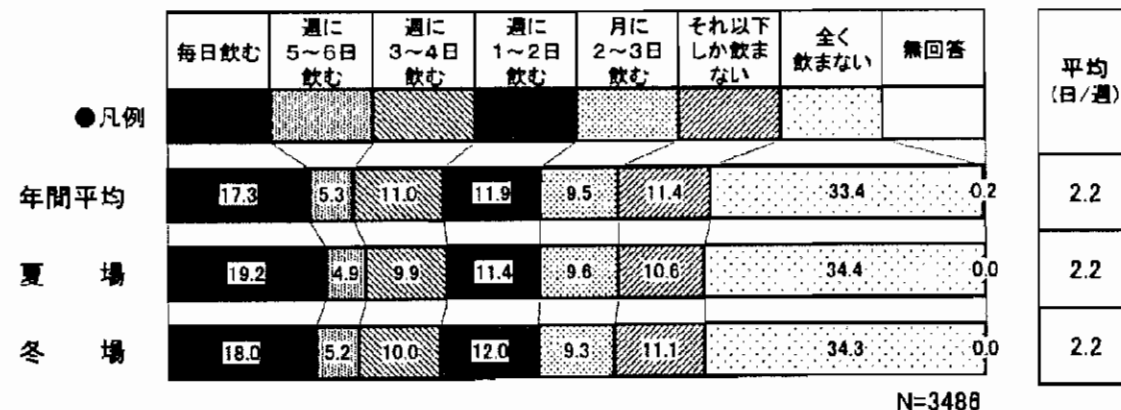
<そのまま飲む>

図表I-1-5 季節変動/飲み方別 問2 白もの牛乳類の飲用頻度



<他のものと混ぜて飲む>

図表I-1-6 季節変動/飲み方別 問3 白もの牛乳類の飲用頻度



飲み方別に時系列の推移をみると、そのまま飲む飲み方で「毎日飲む」人の割合は、夏場、冬場、年間平均いずれも2002年以来減少傾向がみとめられる。混ぜて飲む飲み方では著しい変化はみられない。

図表I-1-7 時系列 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度

	年	n	毎日飲む	週に5~6日飲む	週に3~4日飲む	週に1~2日飲む	月に2~3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない	無回答	平均(日/週)
夏場	2007年	3486	28.8	7.7	13.6	12.9	9.0	8.3	19.8	0.0	3.2
	2006年	3478	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	0.0	3.2
	2005年	3896	30.5	9.2	14.9	12.9	8.3	8.0	16.0	0.1	3.4
	2004年	4177	31.7	8.9	14.0	12.6	7.9	7.8	17.2	0.0	3.5
	2003年	4177	32.7	9.0	13.9	13.2	7.3	7.3	16.4	0.3	3.5
	2002年	4277	35.4	8.1	14.6	12.2	7.1	6.8	15.8	0.1	3.7
冬場	2007年	3486	25.2	6.8	12.8	15.1	9.0	10.4	20.8	0.0	2.9
	2006年	3478	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	0.0	2.9
	2005年	3896	26.1	7.4	15.1	15.8	8.3	9.5	17.7	0.1	3.1
	2004年	4177	26.8	7.3	13.4	15.8	9.0	9.5	18.1	0.0	3.1
	2003年	4177	27.9	8.1	14.1	15.5	8.4	8.4	17.3	0.3	3.2
	2002年	4277	29.5	8.0	14.1	14.6	8.7	8.4	16.6	0.1	3.3
年間平均	2007年	3486	25.3	8.2	14.5	13.2	9.6	9.7	19.3	0.2	3.0
	2006年	3478	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4	3.1
	2005年	3896	26.6	9.3	16.2	13.6	8.9	9.7	15.5	0.2	3.2
	2004年	4177	27.3	9.3	14.4	14.2	8.9	9.2	16.5	0.2	3.2
	2003年	4177	28.1	10.0	15.1	13.6	8.3	8.2	16.3	0.4	3.3
	2002年	4277	29.7	9.9	14.7	13.8	7.9	8.3	15.5	0.1	3.4

図表I-1-8 時系列 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度

	年	n	毎日飲む	週に5~6日飲む	週に3~4日飲む	週に1~2日飲む	月に2~3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない	無回答	平均(日/週)
夏場	2007年	3486	19.2	4.9	9.9	11.4	9.6	10.6	34.4	0.0	2.2
	2006年	3478	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	0.0	2.2
	2005年	3896	20.1	5.7	9.9	12.0	8.9	11.6	31.6	0.1	2.3
	2004年	4177	21.1	5.8	8.8	12.1	8.7	11.1	32.4	0.0	2.4
	2003年	4177	21.6	5.9	8.5	10.5	9.9	12.1	31.3	0.2	2.4
	2002年	4277	18.7	5.7	9.1	11.6	9.8	12.5	32.4	0.3	2.2
冬場	2007年	3486	18.0	5.2	10.0	12.0	9.3	11.1	34.3	0.0	2.2
	2006年	3478	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	0.0	2.2
	2005年	3896	18.6	5.6	10.5	12.8	9.7	11.5	31.3	0.1	2.3
	2004年	4177	19.5	6.1	9.5	12.0	9.7	11.6	31.7	0.0	2.3
	2003年	4177	20.0	5.5	9.6	11.4	10.0	12.8	30.5	0.2	2.3
	2002年	4277	16.6	6.1	9.3	12.7	10.6	12.6	31.9	0.2	2.1
年間平均	2007年	3486	17.3	5.3	11.0	11.9	9.5	11.4	33.4	0.2	2.2
	2006年	3478	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5	2.2
	2005年	3896	18.2	5.7	11.4	11.8	10.1	12.4	30.0	0.3	2.3
	2004年	4177	18.9	6.2	9.6	12.2	10.0	12.4	30.5	0.2	2.3
	2003年	4177	19.7	6.2	9.8	10.7	10.7	12.8	30.0	0.2	2.3
	2002年	4277	16.2	6.3	9.6	12.3	10.8	13.5	31.2	0.2	2.1

2. 白もの牛乳類の飲用量

そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを聞いた。

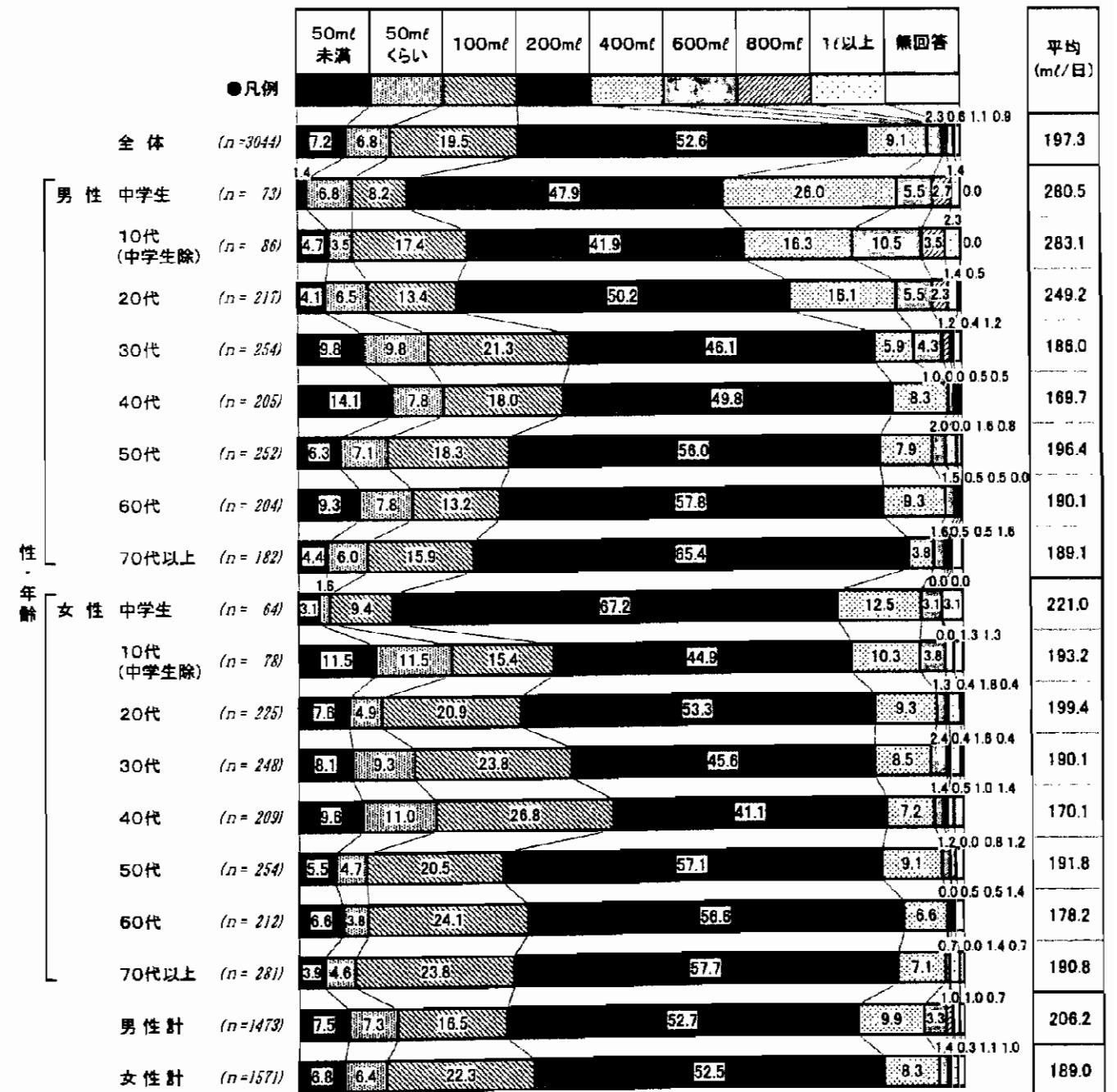
全体では、「200ml」が最も多く、白もの牛乳類飲用者の53%と過半数を占めている。

性・年齢別にみると、どの層でも「200ml」が最も多い。

参考に算出したところ、1日に飲む平均量は197mlとなる。

1日に飲む平均量を性別にみると、男性206ml、女性189mlとなっており、男性の方が多。また、年齢別でみると、男性の中学生を含む10~20代および女性中学生が他の層と比べ、平均飲用量が多くなっている。

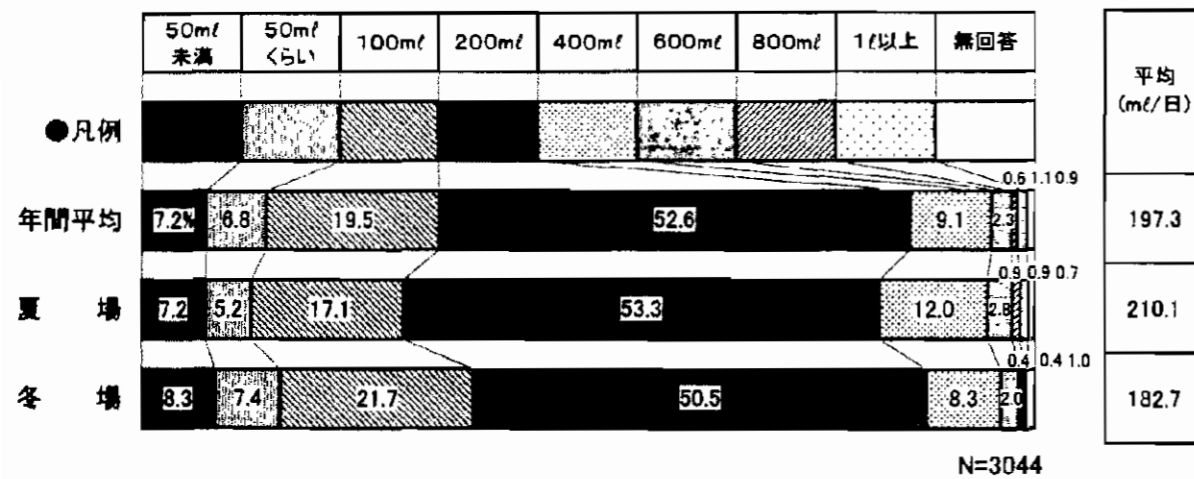
図表I-2-1 性・年齢別 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量：年間平均 <飲用者ベース>



白もの牛乳類飲用者の1日あたりの飲用量の季節による変動をみてみると、平均量で夏場210ml、冬場183mlとなっており、夏場が冬場より27ml多くなっている。

性・年齢別にみると、どの層でも夏場の方が冬場より多い。

図表I-2-2 季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>



図表I-2-3 性・年齢別/季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>

		n	年間平均	夏場	冬場
全体		3044	197.3	210.1	182.7
性	中学生	73	280.5	309.9	265.4
	10代(中学生除)	86	283.1	319.2	263.7
	20代	217	249.2	271.8	232.6
	30代	254	186.0	194.9	172.3
	40代	205	169.7	186.8	157.0
	50代	252	196.4	201.5	184.8
	60代	204	190.1	194.1	175.7
	70代以上	182	189.1	201.5	183.2
性	中学生	64	221.0	245.2	214.1
	10代(中学生除)	78	193.2	219.8	178.2
	20代	225	199.4	205.6	186.0
	30代	248	190.1	201.4	168.9
	40代	209	170.1	187.8	153.2
	50代	254	191.8	201.5	170.8
	60代	212	178.2	194.7	165.7
	70代以上	281	190.8	195.3	177.8
男性計		1473	206.2	220.0	193.0
女性計		1571	189.0	200.9	173.0

(ml/日)

図表I-2-4 季節変動/時系列 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>

		n	50ml未満	50mlくらい	100ml	200ml	400ml	600ml	800ml	1l以上	無回答	平均 (ml/日)
夏場	2007年	3044	7.2	5.2	17.1	53.3	12.0	2.8	0.9	0.9	0.7	210.1
	2006年	3001	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3	211.5
	2005年	3497	6.6	4.9	15.6	54.7	12.9	3.0	0.5	0.9	0.8	214.0
	2004年	3726	7.4	5.1	14.5	53.4	14.1	2.8	0.7	0.9	1.1	215.9
	2003年	3747	6.2	4.4	13.5	53.1	15.7	3.7	0.8	1.0	1.7	228.9
	2002年	3810	6.3	4.5	12.4	50.8	17.8	4.4	1.4	1.2	1.2	241.1
冬場	2007年	3044	8.3	7.4	21.7	50.5	8.3	2.0	0.4	0.4	1.0	182.7
	2006年	3001	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5	182.4
	2005年	3497	8.5	6.9	21.4	52.2	7.2	1.9	0.4	0.3	1.1	180.4
	2004年	3726	9.3	7.3	20.2	51.5	8.2	1.6	0.4	0.5	1.1	181.6
	2003年	3747	8.0	6.5	18.9	53.0	9.1	1.5	0.4	0.6	1.9	188.6
	2002年	3810	8.5	6.6	18.8	51.5	9.9	2.2	0.6	0.6	1.3	193.5
年間平均	2007年	3044	7.2	6.8	19.5	52.6	9.1	2.3	0.6	1.1	0.9	197.3
	2006年	3001	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4	197.4
	2005年	3497	6.6	6.3	19.9	53.3	9.1	2.3	0.6	0.8	0.8	195.8
	2004年	3726	7.5	6.9	18.5	52.8	9.5	2.0	0.8	1.0	1.0	197.2
	2003年	3747	6.5	6.0	16.5	53.3	12.0	2.2	0.7	1.1	1.8	209.2
	2002年	3810	6.9	5.5	16.6	51.5	12.5	3.3	0.9	1.5	1.3	219.2

(%)

図表I-2-5 性・年齢別/時系列 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量 <非飲用者も含む全体ベース>

		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年	
		n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)
全体		4277	127.3	4177	141.5	4177	127.3	3896	128.9	3478	122.5	3486	121.6
性	中学生	55	300.1	48	318.6	49	309.5	54	324.8	52	339.4	75	235.1
	10代(中学生除)	129	199.0	124	254.8	132	254.3	89	228.7	95	217.8	97	205.6
	20代	259	133.9	224	164.4	243	129.3	184	117.3	187	144.6	253	137.3
	30代	292	103.1	288	133.3	301	115.5	238	113.3	266	118.4	291	94.7
	40代	298	96.5	287	110.6	292	107.0	277	100.1	227	115.3	241	79.7
	50代	359	115.4	356	123.3	383	109.0	355	105.1	315	98.8	290	106.8
	60代	365	123.3	336	118.2	311	117.1	323	118.2	271	112.7	243	109.5
	70代以上	187	117.9	244	137.4	235	111.9	252	126.8	250	109.4	233	114.6
性	中学生	42	183.8	54	264.2	39	217.8	46	210.7	50	246.7	67	179.3
	10代(中学生除)	128	129.6	120	147.7	126	126.6	110	157.3	91	116.1	89	110.9
	20代	266	112.7	294	125.6	252	118.0	234	106.8	189	114.6	242	123.3
	30代	375	129.4	353	137.5	354	128.9	355	126.6	280	105.9	265	134.9
	40代	395	119.1	330	141.3	369	116.4	292	137.2	284	119.1	234	109.2
	50代	444	139.5	443	152.9	422	121.0	430	129.2	342	110.7	281	131.6
	60代	373	136.7	376	134.7	368	134.7	373	121.5	263	124.7	243	117.0
	70代以上	310	120.2	300	127.1	301	124.5	286	123.7	316	111.9	342	123.3
男性計		1944	125.8	1907	141.8	1946	128.8	1770	125.0	1663	127.5	1723	116.1
女性計		2333	128.6	2270	141.2	2231	125.9	2126	128.5	1815	118.0	1763	125.1

※ 2002年は「そのまま飲む」「他のものと混ぜて飲む」「シリアルやくだものなどにかける」飲み方別飲用頻度(年間平均)と飲用者が飲むときに1日に飲む量から算出。
2003年～2007年は飲み方を問わない日頃の飲用頻度と飲用者が飲むときに1日に飲む量から算出。

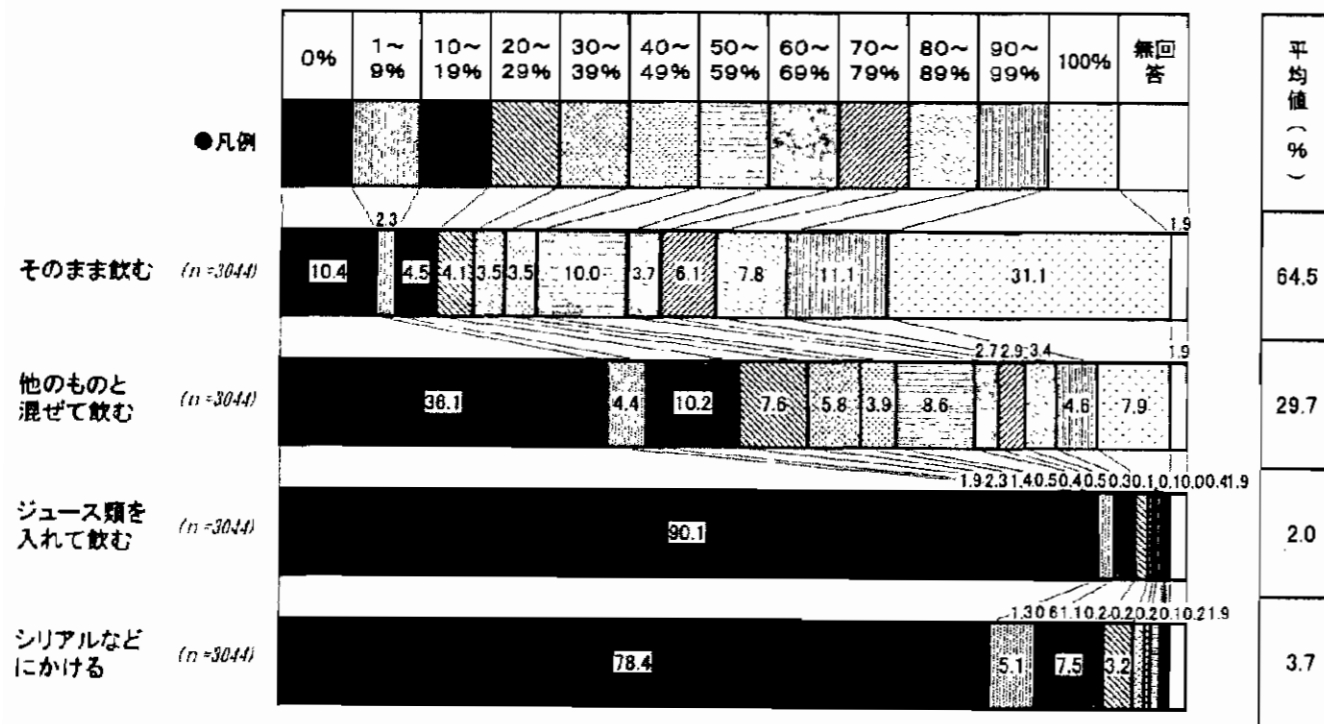
3. 白もの牛乳類の飲み方

そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、ジュース類を入れて飲む、シリアルなどにかけるといった飲み方ごとに、白もの牛乳類の飲用量の割合を聞いた。

「そのまま飲む」割合が100%となる人は31%である。

「他のものと混ぜて飲む」ことがない人は36%、「ジュース類を入れて飲む」ことがない人は90%、「シリアルなどにかける」ことがない人は78%を占める。

図表I-3-1 問5 白もの牛乳の飲み方：年間平均 <飲用者ベース>



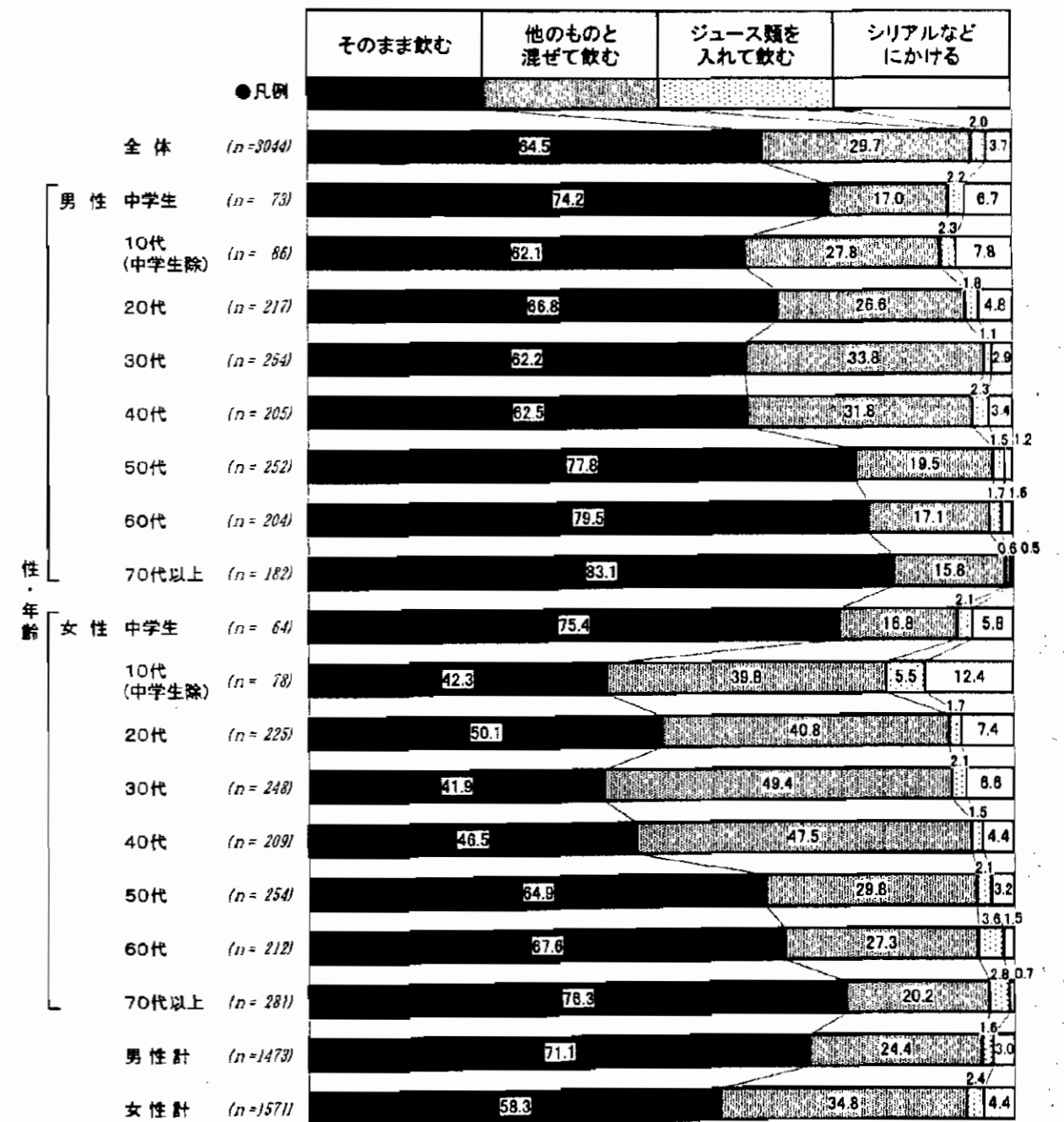
そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、ジュース類を入れて飲む、シリアルなどにかけるなど飲み方ごとの飲用量の割合の平均値をみる。

全体でみると、「そのまま飲む」が65%を占め、「他のものと混ぜて飲む」が30%、「ジュース類を入れて飲む」が2%、「シリアルなどにかける」が4%となっている。

性別で比べると、「そのまま飲む」の割合は男性71%、女性58%と男性の方が高い。

性・年齢別では、「そのまま飲む」の割合は男性の中学生および50代以上、女性中学生および70代以上で70%以上と高い。一方、女性の中学生を除く10代~40代で「他のものと混ぜて飲む」が4割台と他の層に比較して多くなっている。特に、女性の30代、40代では「そのまま飲む」割合を「他のものと混ぜて飲む」割合が上回る。

図表I-3-2 性・年齢別 問5 白もの牛乳の飲み方別割合：年間平均 <飲用者ベース>



2002年に53%で飲用シーンのトップであった「のどがかわいたとき」は、2005年に大幅ダウンし、その後も減少傾向にある。2007年にはその比率が39%に低下し、飲用シーンのトップは「朝食をとりながら」（43%）と入れ替わった。

図表I-4-2 時系列 問6 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>

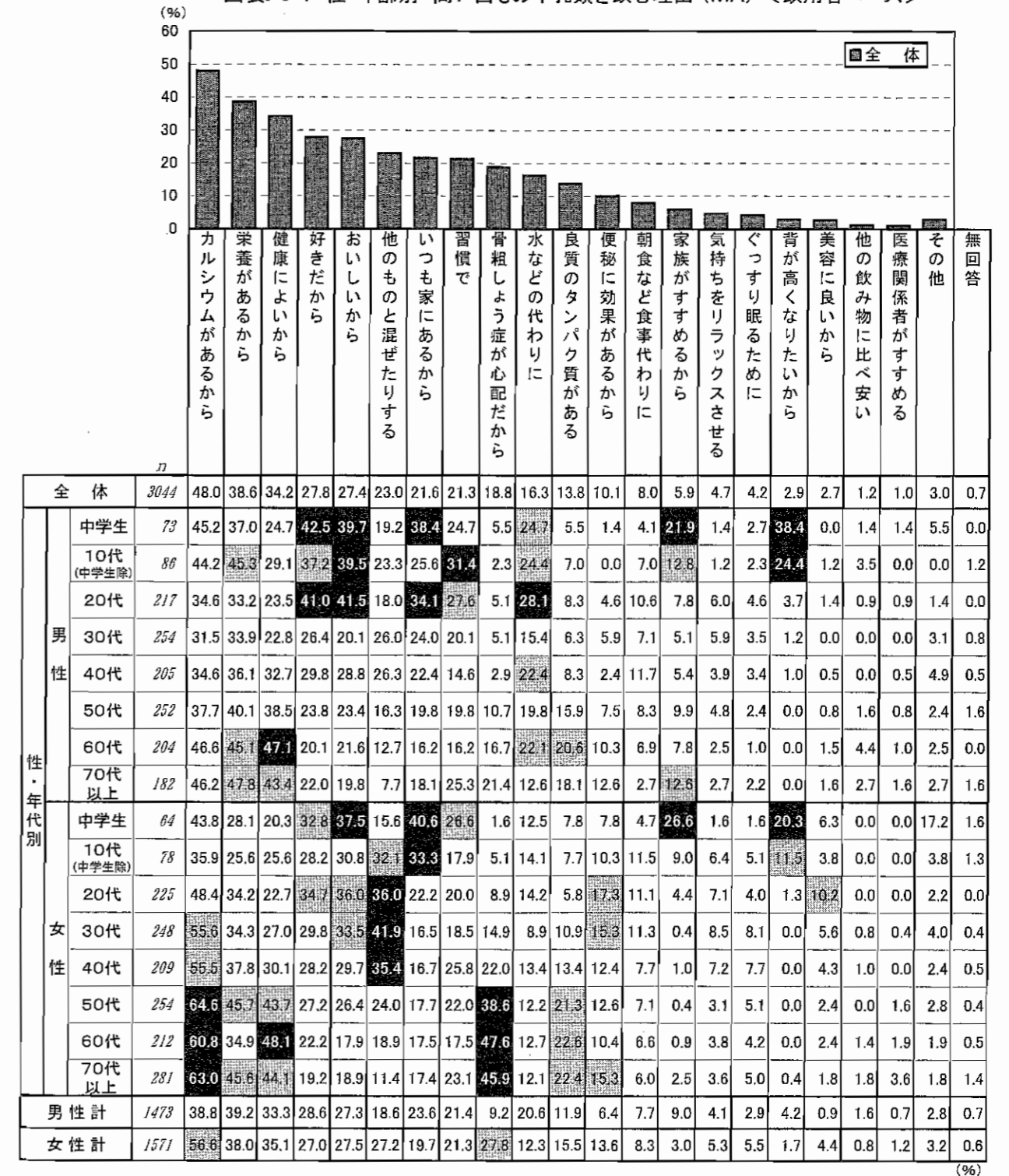
	朝起きぬけに	朝食をとりながら	朝食後	朝食がわりに	昼食時	夕食時	おやつや間食時	夜食時	風呂上がり	夜寝る前	のどがかわいたとき	ちよっとおながすいたとき	勉強や仕事をしながら	レジャーやスポーツ時	くつろいでいる時	乗り物での移動中	来客時	その他	
2007年	3044	12.4	42.9	11.5	6.0	14.7	5.7	34.1	3.5	24.8	11.2	39.4	12.2	4.5	1.8	20.3	2.1	3.3	2.6
2006年	3001	12.1	40.4	13.8	6.7	15.0	6.7	35.7	3.7	26.7	14.1	41.2	13.8	4.6	2.3	21.4	2.0	2.9	2.7
2005年	3497	11.6	41.6	13.5	6.4	15.3	6.6	37.0	4.5	26.9	14.5	43.0	14.1	4.3	1.9	21.1	2.1	2.9	2.3
2002年	3810	17.2	46.8	18.0	11.3	18.8	8.1	43.3	6.0	38.5	18.7	53.3	20.8	6.4	4.2	25.1	2.8	3.6	2.3

(%)

5. 白もの牛乳類の飲用理由

白もの牛乳類を飲む人に、白もの牛乳類を飲む理由を聞いた。全体では、「カルシウムがあるから（48%）」「栄養があるから（39%）」「健康によいから（34%）」の順が多い。性・年齢別にみると、男性では中学生を含む10代、20代で、「好きだから」「おいしいから」飲んでいる比率が他の層より高い。また、男性の10代、20代の若年層では「いつも家にあるから」「水などの代わりに」「習慣で」という理由も比較的多い。男女とも中学生を含む10代では「背が高くなりたいから」という理由も多い。男女とも60代、70代以上、および女性の50代では「健康によいから」という理由が多い。女性の中学生を除く10代～40代の層では「他のものと混ぜたりする」割合が3割を超え、他の層に比べて高くなっている。また、50代～70代以上の女性では「カルシウムがあるから」「骨粗しょう症が心配だから」を理由とする比率が全体より10ポイント以上高い。

図表I-5-1 性・年齢別 問7 白もの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

「白もの牛乳類を飲む理由」の推移をみる。

2006年と比べると、2007年では飲用理由の多くの項目で減少がみられる。「カルシウムがあるから」は9ポイント、「栄養があるから」「健康によいから」では6~7ポイントの減少である。

図表I-5-2 時系列 問7 白もの牛乳類を飲む理由 (MA)

	カルシウムがあるから	栄養があるから	健康によいから	好きだから	おいしいから	他のものと混ぜたりする	いつも家にあるから	習慣で	骨粗しょう症が心配だから	水などの代わりに	良質のタンパク質があるから	便秘に効果があるから	朝食など食事代わりに	家族がすすめるから	気持ちをしラックスさせる	ぐっすり眠るために	背が高くなりたから	美容に良いから	他の飲み物に比べ安い	医療関係者がすすめる	消化がよい	学校給食で飲む	それしかないから	その他	全く飲まない	無回答	
2007年	30.4	48.0	38.6	34.2	27.8	27.4	23.0	21.6	21.3	18.8	16.3	13.8	10.1	8.0	5.9	4.7	4.2	2.9	2.7	1.2	1.0			3.0	0.7		
2006年	30.0	56.8	45.1	40.5	28.1	27.7	27.4	23.2	19.7	22.5	14.6	18.1	13.1	7.9	6.7	4.9	4.9	3.4	3.7	1.6	2.0			3.5	0.7		
2005年	34.9	55.4	42.6	41.8	28.5	27.8	24.9	21.3	19.4	23.3	16.6	16.8	13.1	7.9	4.8	5.3	4.9	3.1	3.8	1.6	1.9			2.1	1.3		
2002年	38.1	60.8	49.2	45.9	29.7	29.9	25.7	26.9	20.0	27.3	19.4	20.8	14.9	7.9	5.3	3.9	5.0	3.7	4.1	2.0	1.8			2.1	1.1		
2000年	41.7	61.2	49.2		30.9	34.9		33.3	19.0	28.5	21.5	20.7	18.1	10.5	9.2	4.9	5.1		5.2	2.5	4.8			2.7			
1999年	44.7	54.8	45.1		29.2	32.9		31.4	18.0	25.1	20.6	19.1	17.9	9.7	7.7	5.2	5.3		4.7	2.2	5.2			2.4	10.6	0.0	
1997年	45.4	55.4	41.0		23.5	24.4		27.8	13.1	24.1	17.3	15.2	16.0	8.1	7.6				3.1		3.6			3.3	11.1	0.1	
1996年	47.0	50.3	40.7		23.3	22.2		19.9	15.5	19.3	17.3			7.9	5.7									3.2	10.4	0.1	
1995年	46.8	51.5	45.3		22.0	20.6		20.8	16.1	18.1	16.9			8.3	4.6				4.6	4.6	2.2	1.8		2.8	2.6	11.7	1.3
1994年	46.7	58.7	53.9		28.5	28.5		31.0	14.3		13.4			8.6	6.5				5.7	5.7	2.8	2.5		4.5	2.9	13.4	0.1
1993年	45.3	58.2	58.2		27.9	28.0		34.3	16.2		12.7			9.4	6.2				7.1	9.2	4.0	2.9		5.2	2.2	12.8	0.3
1992年	46.1	51.3	52.8		28.2	25.2		30.3	14.7		14.5			8.5	6.3				5.5	4.9	2.3	2.7		3.7	2.1	13.7	0.3
1991年	47.4	50.1	54.3		28.2	25.5		31.1	14.0		15.4			8.3	6.0				8.3	5.8	2.0	2.9		5.1	2.8	12.5	0.3
1990年	46.9	54.3	58.3		28.6	23.0		30.7	13.5		14.2			8.4	5.7				5.9	7.7	2.1	2.7		4.1	2.5	12.8	0.3
1989年	45.9	48.9	54.9		26.0	22.1		29.6	12.1		14.0			8.8	5.5				4.7	6.9	2.2	3.0		3.9	2.2	15.4	0.6
1988年	46.0	44.4	55.7		25.9	23.0		29.7	11.5		14.0			9.2	6.2				6.6	9.0	2.8	2.4		5.3	2.4	15.4	0.9
1987年	46.4	38.4	53.4		27.5	23.7		27.4	14.7		18.2			9.1	5.1				5.5	8.6	2.5	2.0		4.8	3.2	16.1	1.2

※斜線はデータなし
 ※1998年、2001年、2003年、2004年はデータなし
 ※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

II この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識

1. 飲み方別飲用量の増減

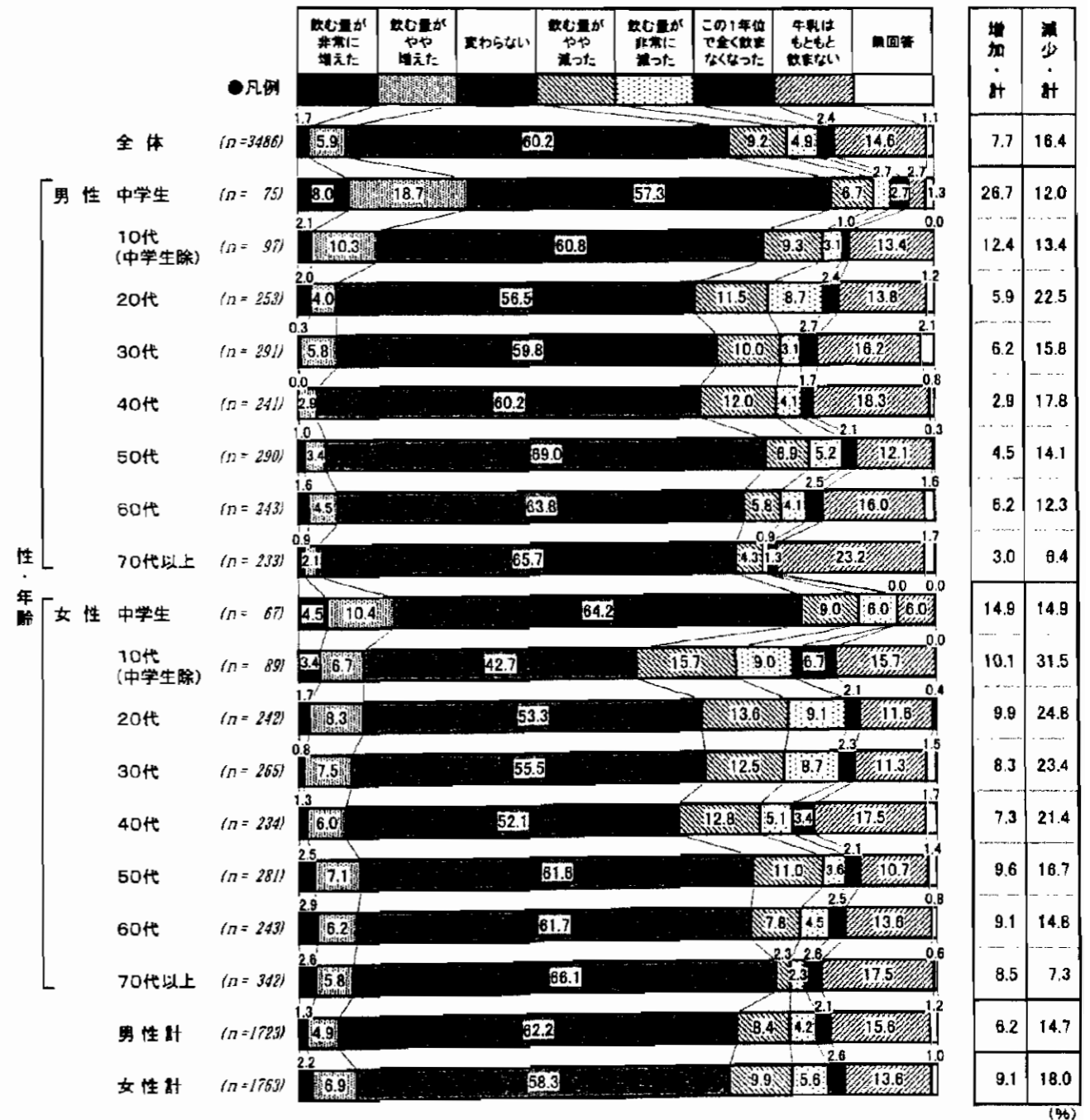
この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えたか、減ったかを、そのまま飲む場合、他のものと混ぜて飲む場合、牛乳飲用全体に分けて聞いた。

1) そのまま飲む量の増減

そのまま飲む場合に「飲む量が減った」(「飲む量が非常に減った」+「飲む量がやや減った」)と答えた人は16%で、「飲む量が増えた」(「飲む量が非常に増えた」+「飲む量がやや増えた」)と答えた人8%を8ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、中学生を除く女性10代では「飲む量が減った」人が32%で最も多く、「飲む量が増えた」人10%を20ポイント以上上回っている。また、男性の中学生のみ「飲む量が増えた」(27%)が「飲む量が減った」(12%)を上回る。

図表II-1-1 性・年齢別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合

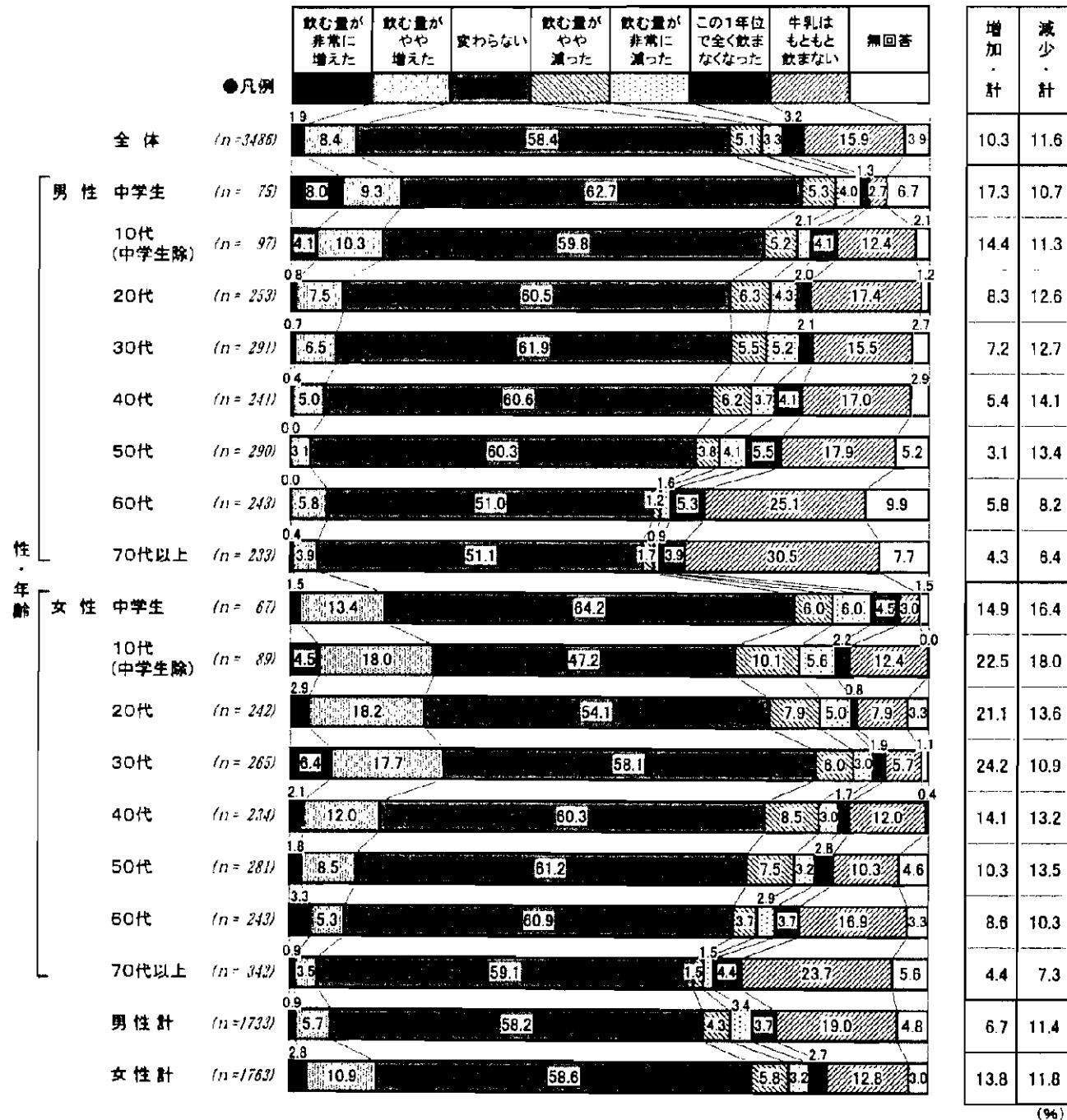


2) 混ぜて飲む量の増減

他のものと混ぜて飲む場合に、「飲む量が増えた」と答えた人は10%、「減った」と答えた人は12%で、減少が増加をわずかながら上回っている。

性・年齢別にみると、女性の中学生を除く10代~30代で、2割以上が「飲む量が増えた」としている。

図表II-1-2 性・年齢別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (2) 混ぜて飲む場合

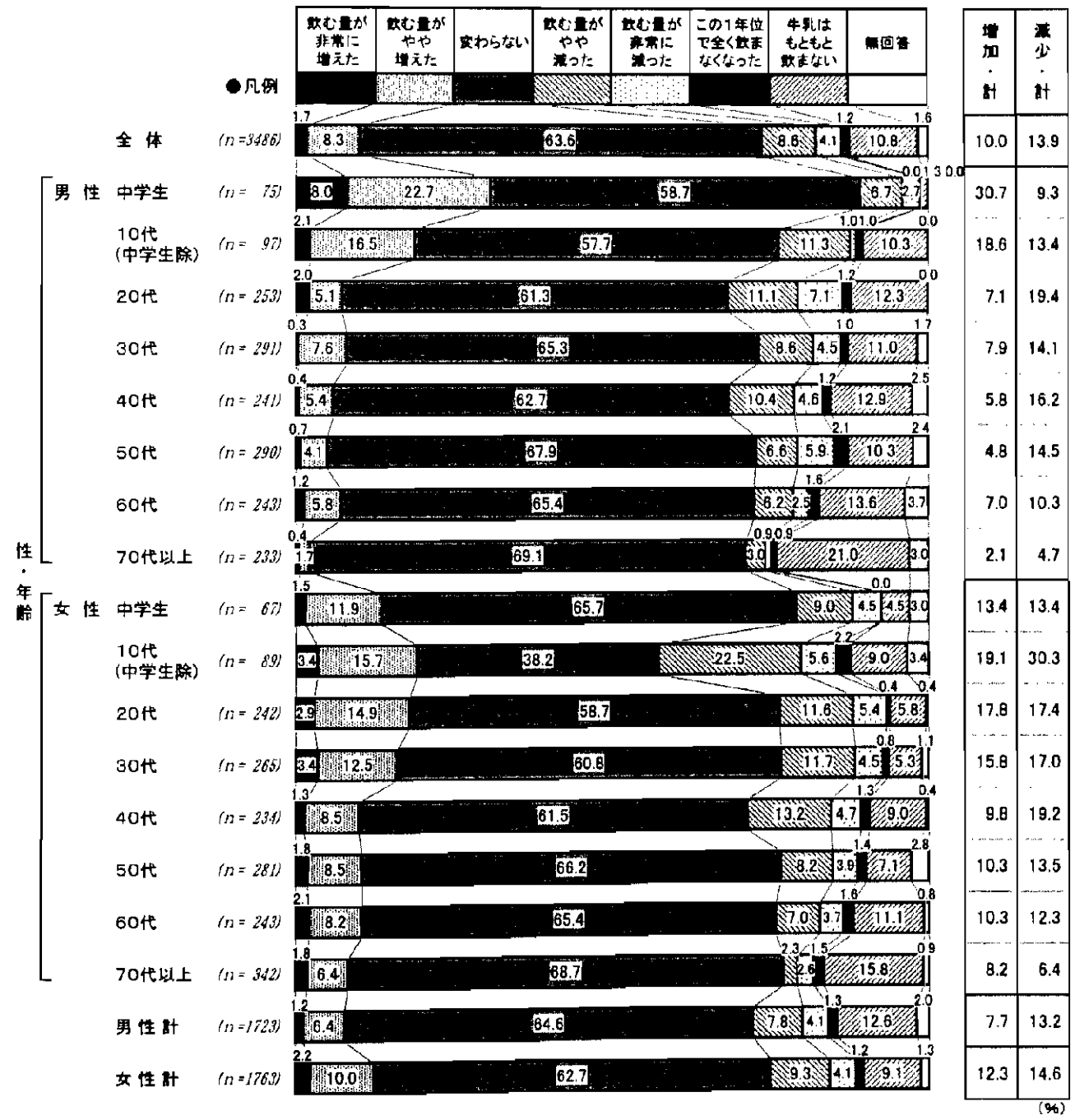


3) 全体での増減

牛乳飲用全体では、「飲む量が増えた」と答えた人は10%、「飲む量が減った」と答えた人は14%で減少が増加を4ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「増えた」と感じている人は男性中学生で3割と最も多い。一方、男性の20代以上、および女性の中学生を除く10代、30代~60代では、「減った」と感じている人が「増えた」と感じている人を上回っている。特に、男性の20代では、2割以上が「減った」と感じている。特に、女性の中学生を除く10代では「減った」と感じている人が3割と多い。

図表II-1-3 性・年齢別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体

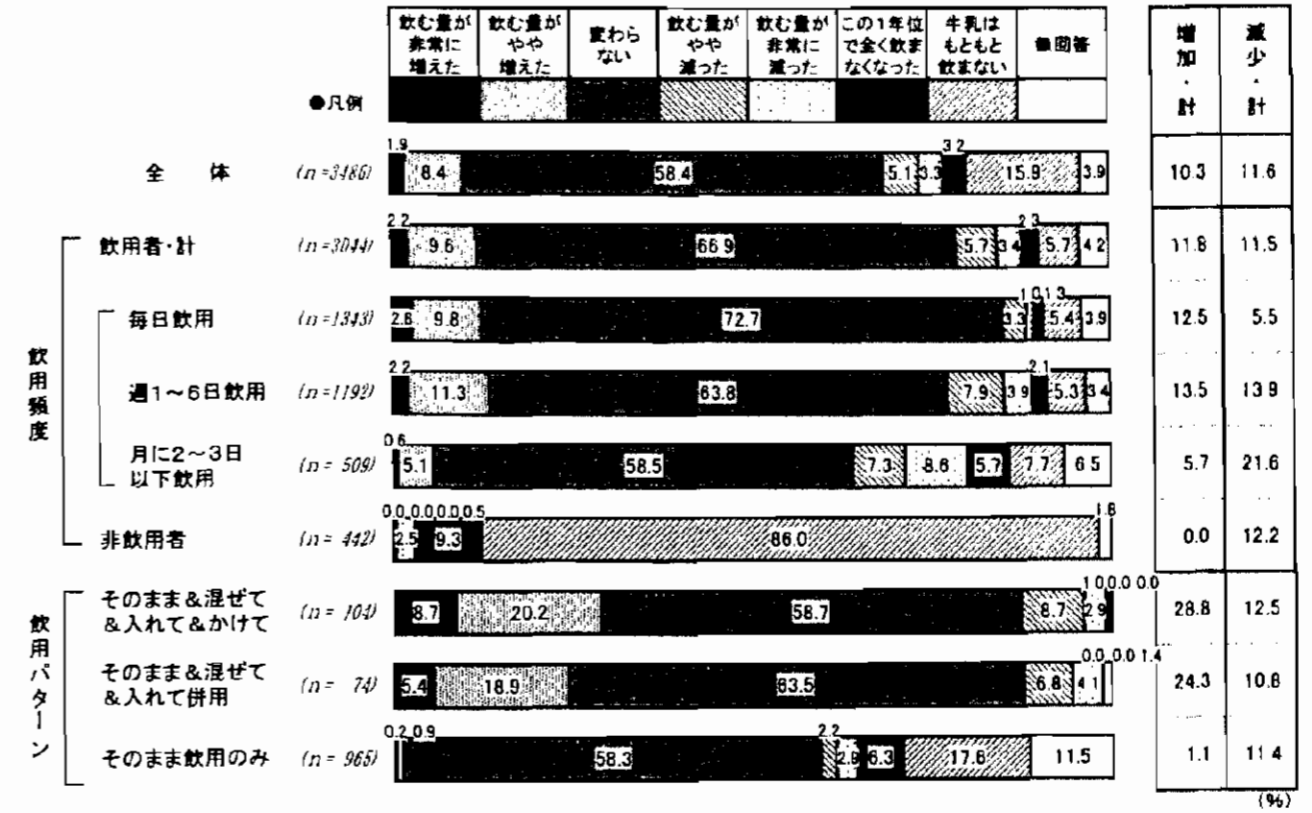


白もの牛乳類飲用行動別に、飲用量増減の感じ方をみる。

毎日飲用する人はいずれの飲み方も増加が減少を上回るが（混ぜて飲む飲み方で顕著）、週に1～6日飲用、月に2～3日以下飲用の人はいずれの飲み方も減少が増加を上回っている。

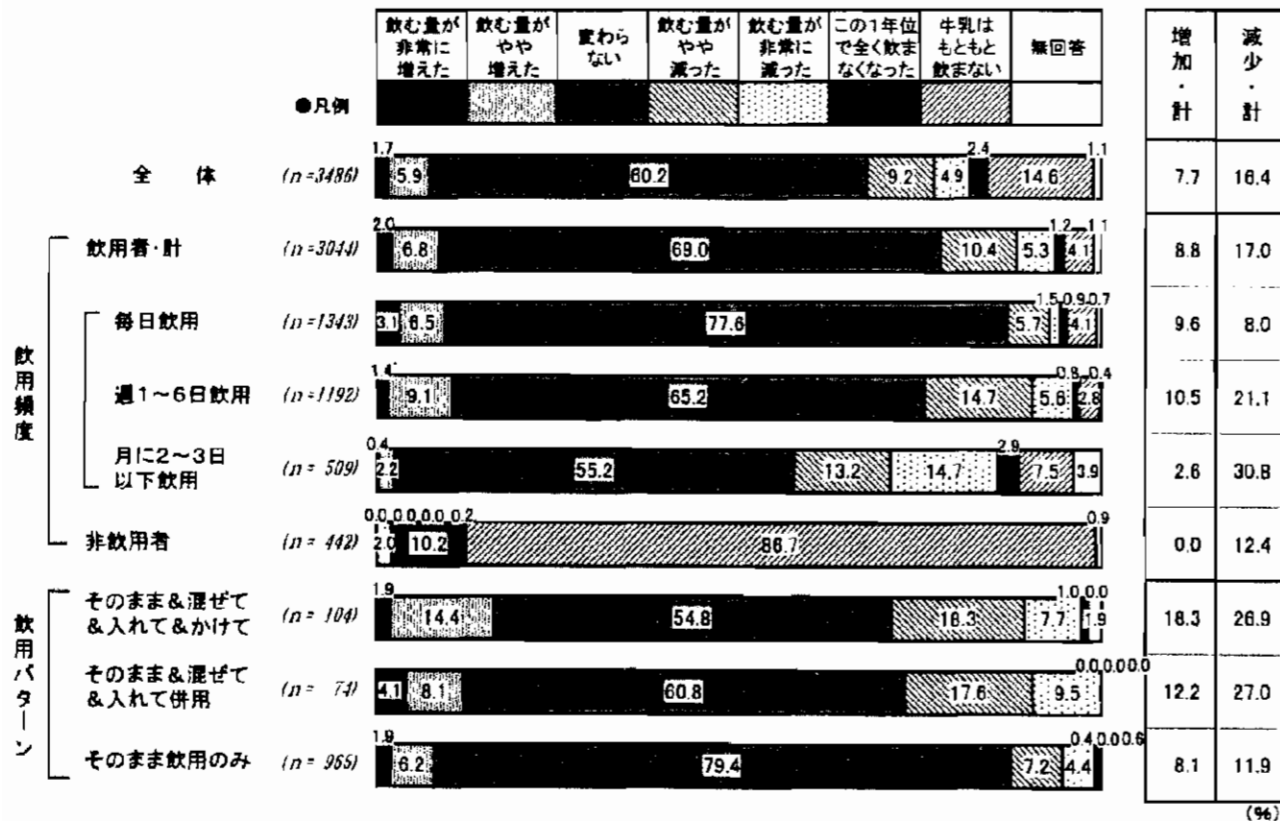
飲用パターン別にみると、そのまま飲む量に関しては、飲用パターンに関わらず減少したと感じている人が多い。一方、混ぜて飲む量については、「そのまま飲用のみ」以外の飲用パターンで増加が減少を上回る。全体では「そのまま&混ぜて&入れて&かけて」で増加したと感じる人が2割を超え、他の飲用パターンに比べ多い。

図表Ⅱ-1-5 飲用行動別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (2) 混ぜて飲む場合



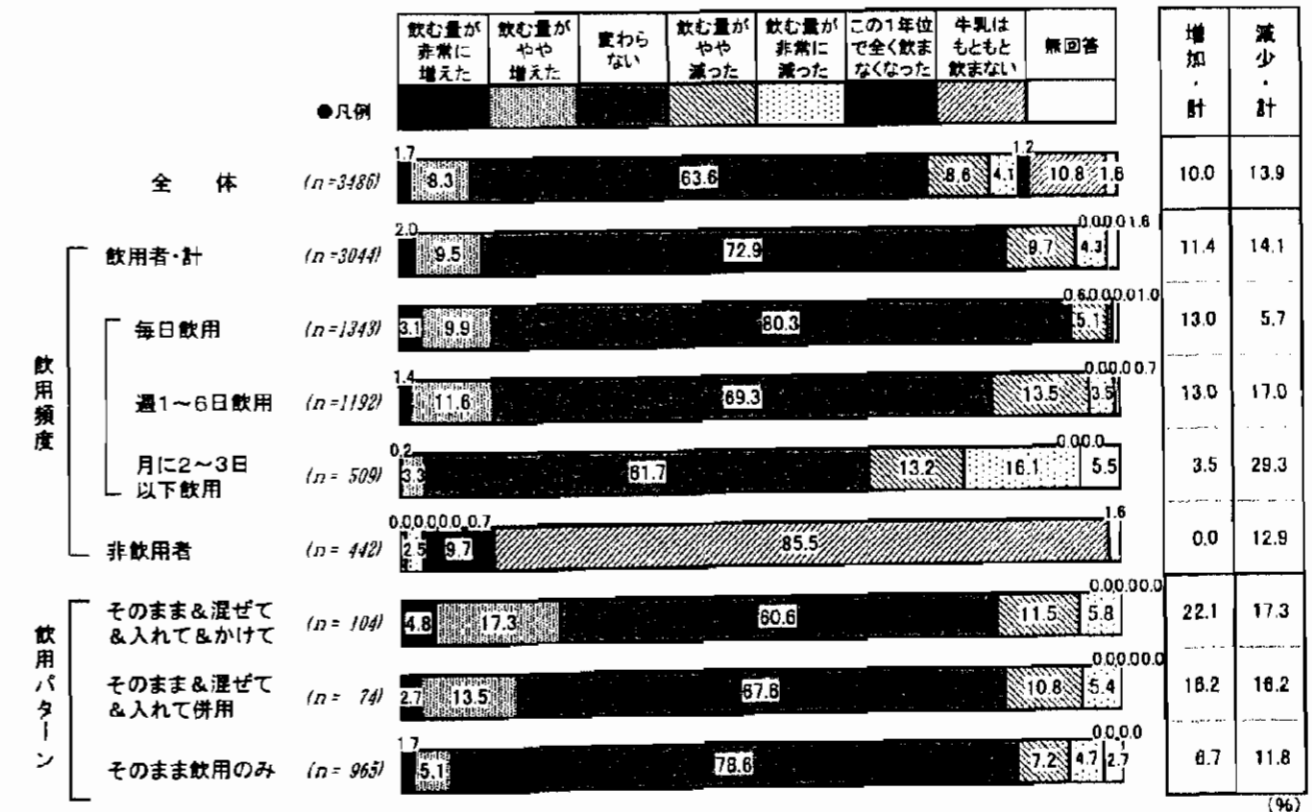
(96)

図表Ⅱ-1-4 飲用行動別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合



(96)

図表Ⅱ-1-6 飲用行動別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体



(96)

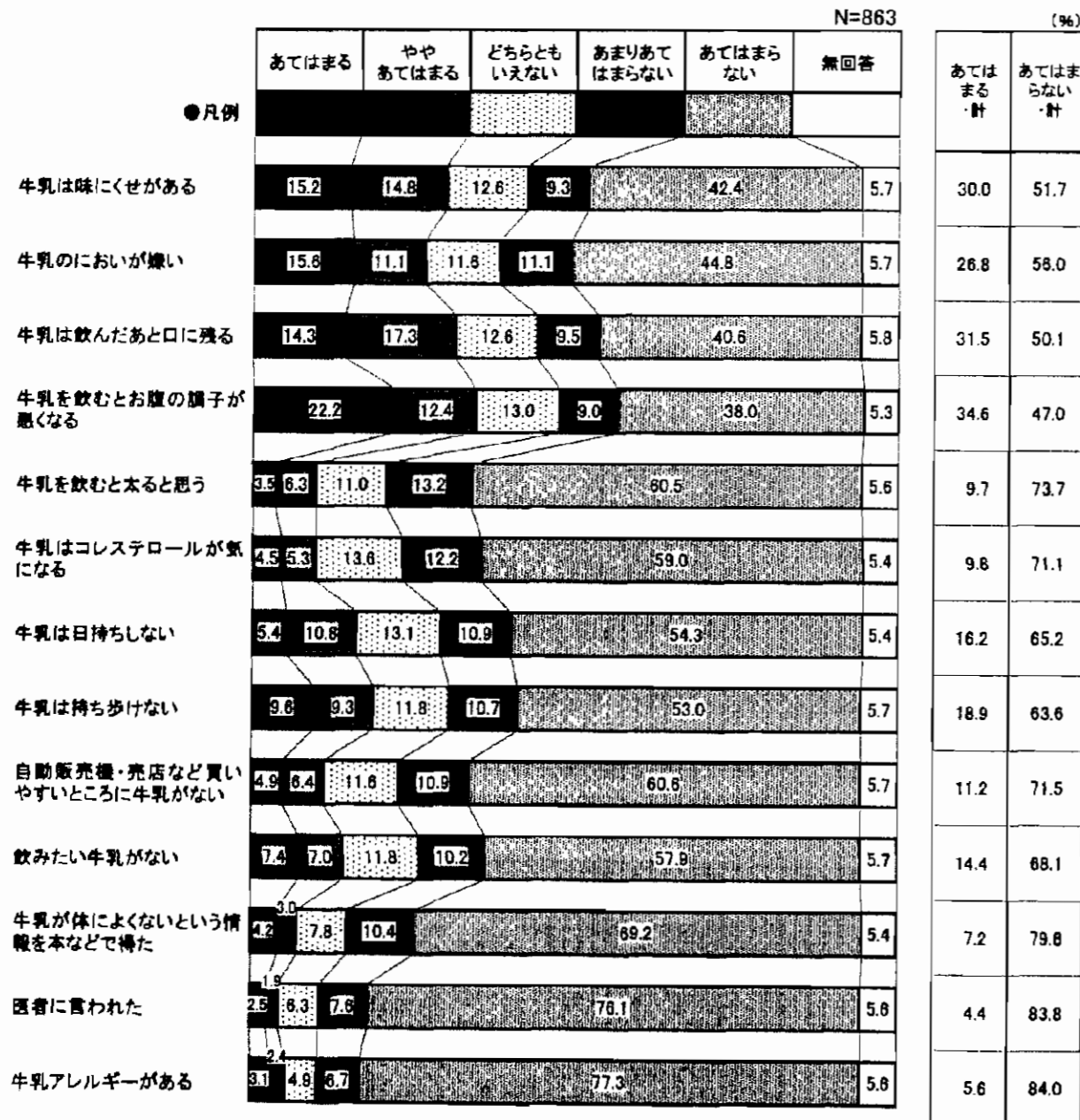
2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因

1) 飲用量減少・非飲用理由

この1年間に白もの牛乳類を飲む量が全体として減った・牛乳はもともと飲まない人に、牛乳を飲む量が減った理由または牛乳を飲まない理由（13項目）について、どの程度あてはまるかを5段階で聞いた。

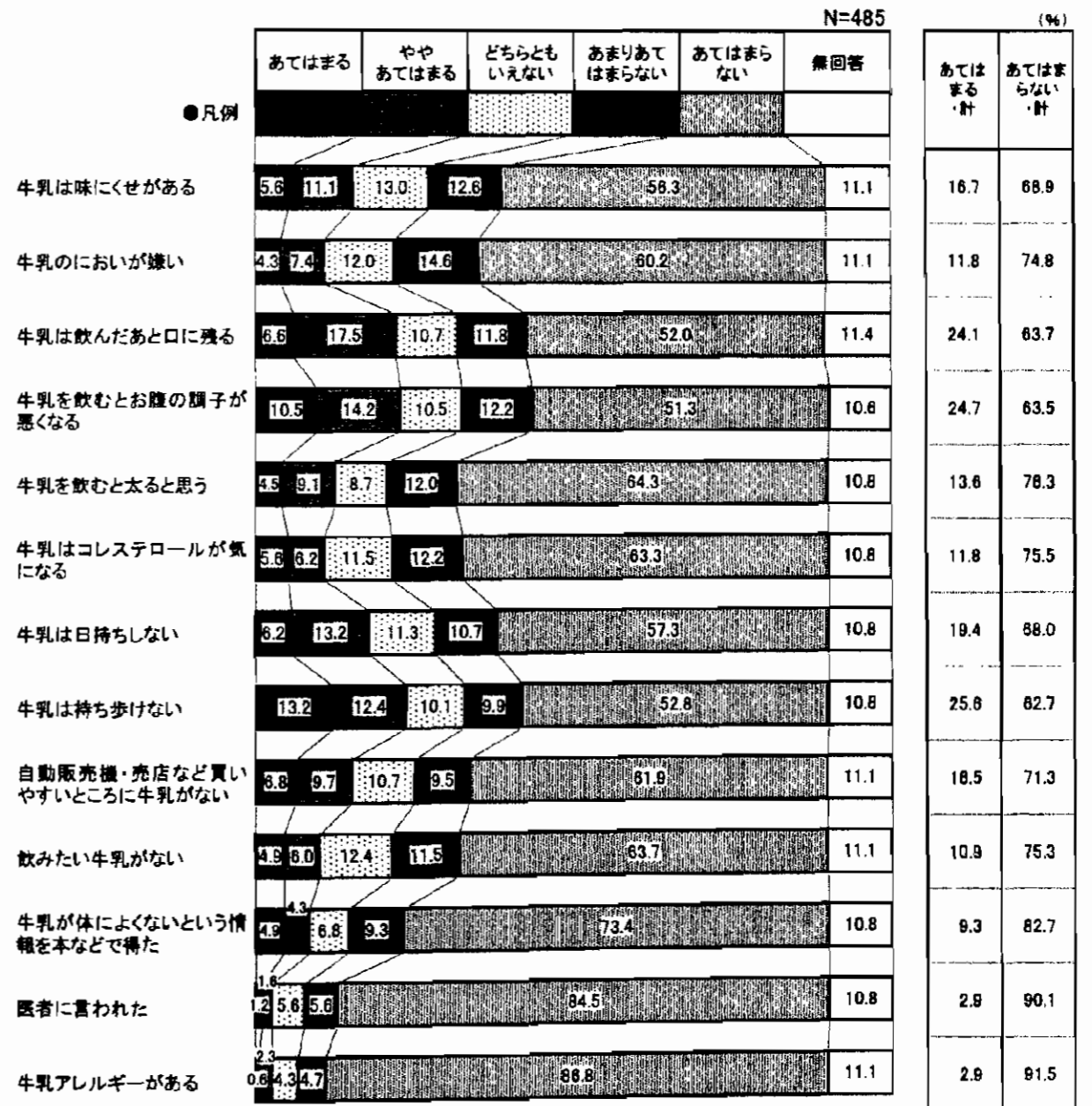
あてはまる度合い（「あてはまる」+「ややあてはまる」）が最も高いのは「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」の35%である。続いて、「牛乳は飲んだあと口に残る」「牛乳は味にくせがある」が3割台で高めとなっている。

図表Ⅱ-2-1 問9 飲用量減少・非飲用理由
 <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



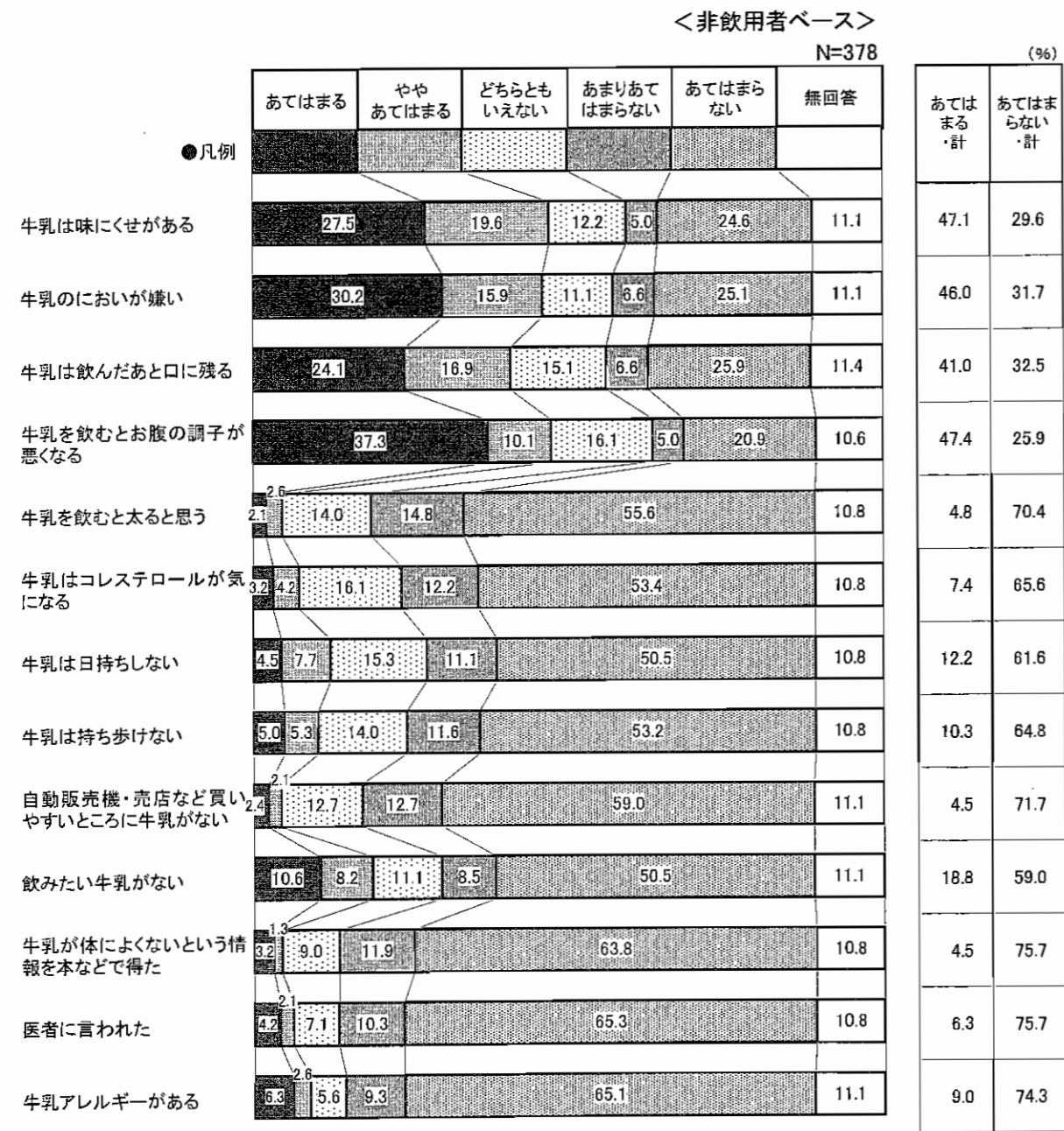
減少した人ベースでみると、「牛乳は持ち歩けない」があてはまる人（「あてはまる」+「ややあてはまる」）が26%で最も多く、次いで「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」25%、「牛乳は飲んだあと口に残る」24%となっている。

図表Ⅱ-2-2 問9 飲用量減少理由
 <減少者ベース>



もともと飲まない人の非飲用理由で「あてはまる計」をみると、「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」「牛乳は味にくせがある」「牛乳のにおいが嫌い」が5割近くと高めとなっており、「牛乳は飲んだあと口に残る」も4割強となっている。

図表Ⅱ-2-3 問9 非飲用理由

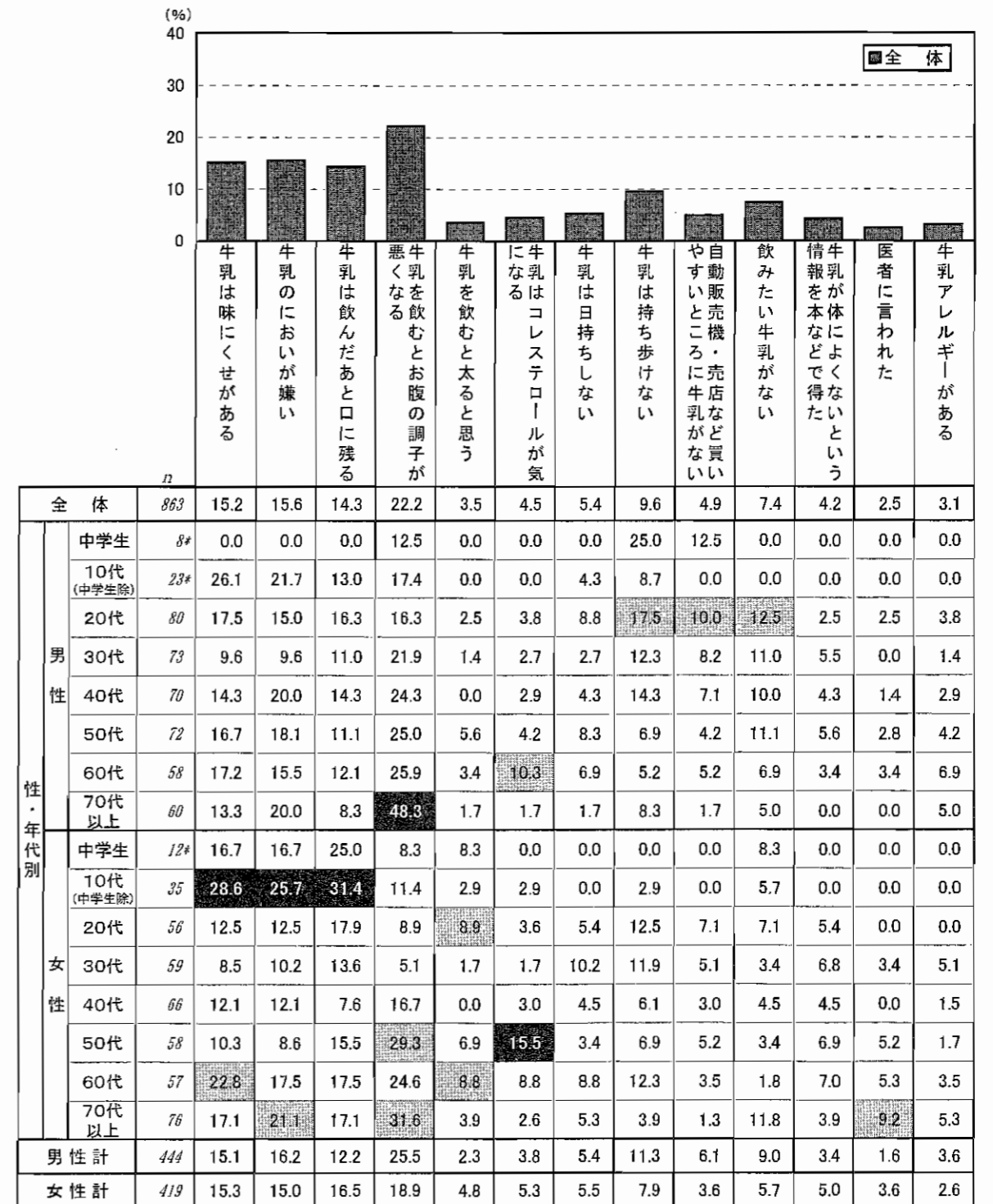


減少および非飲用理由について「あてはまる」と回答した人の比率を性・年齢別にみると、男性の70代以上で「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が48%と、他の層に比べて高い。女性の中学生を除く10代では「牛乳は味にくせがある」「牛乳のにおいが嫌い」「牛乳は飲んだあと口に残る」が3割前後を占め高くなっている。

一方、男性の20代では「牛乳は持ち歩けない」「買いやすいところに牛乳がない」「飲みたい牛乳がない」が全体と比較して5ポイント以上高い。

図表Ⅱ-2-4 性・年齢別 問9 飲用量減少・非飲用理由「あてはまる」

＜飲用量が減少した人／非飲用者ベース＞



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

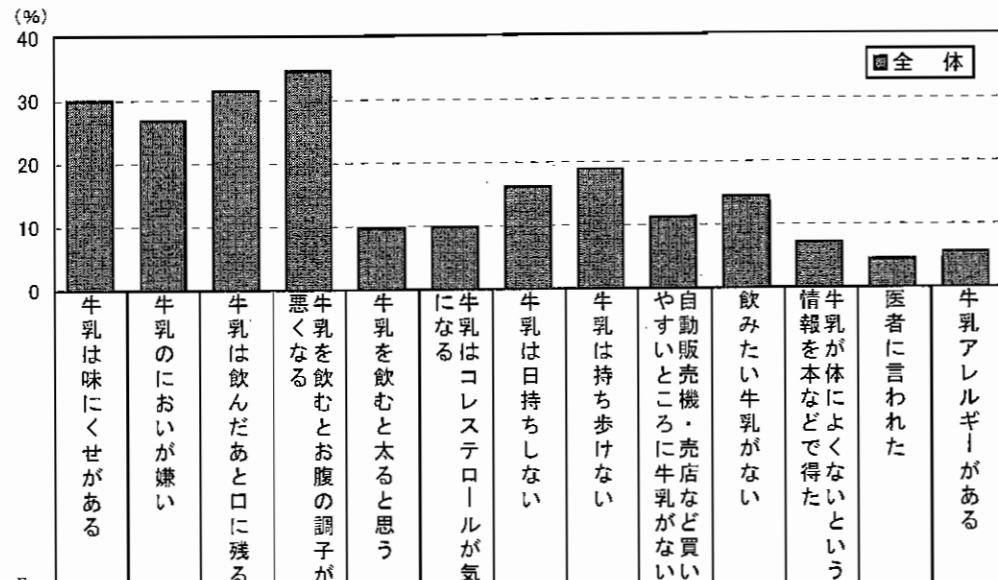
■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせたあてはまる度合いを、性・年齢別にみると、男性の50代以上、女性の70代以上で「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」の比率が高い。また、女性の中学生を除く10代、20代では「牛乳を飲んだあと口に残る」が43%と他の層に比べ高くなっている。

図表Ⅱ-2-5 性・年齢別 問9 飲用量減少・非飲用理由「あてはまる計」
 <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



		n	牛乳は味にくせがある	牛乳のにおいが嫌い	牛乳は飲んだあと口に残る	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる	牛乳を飲むと太ると思う	牛乳はコレステロールが気になる	牛乳は日持ちしない	牛乳は持ち歩けない	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がない	飲みたい牛乳がない	牛乳が体によくはないという情報などを本などで得た	医者に言われた	牛乳アレルギーがある
全体	863	30.0	26.8	31.5	34.6	9.7	9.8	16.2	18.9	11.2	14.4	7.2	4.4	5.6	
男性	中学生	8*	25.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5
	10代(中学生除)	23*	43.5	30.4	30.4	30.4	0.0	0.0	8.7	13.0	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	20代	80	32.5	26.3	35.0	25.0	8.8	8.8	18.8	27.5	18.8	18.8	5.0	6.3	7.5
	30代	73	26.0	17.8	24.7	31.5	6.8	6.8	12.3	19.2	16.4	17.8	5.5	0.0	2.7
	40代	70	28.6	30.0	27.1	34.3	5.7	5.7	15.7	27.1	11.4	17.1	7.1	5.7	4.3
	50代	72	27.8	30.6	31.9	47.2	11.1	13.9	15.3	16.7	11.1	16.7	8.3	4.2	6.9
	60代	58	31.0	29.3	25.9	39.7	13.8	19.0	22.4	15.5	8.6	15.5	5.2	5.2	10.3
70代以上	60	35.0	31.7	23.3	61.7	3.3	8.3	10.0	13.3	5.0	11.7	1.7	3.3	6.7	
女性	中学生	12*	41.7	33.3	41.7	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	10代(中学生除)	35	37.1	25.7	42.9	22.9	11.4	8.6	11.4	14.3	5.7	17.1	2.9	0.0	0.0
	20代	56	30.4	28.6	42.9	19.6	16.1	7.1	23.2	17.9	19.6	12.5	8.9	0.0	0.0
	30代	59	22.0	16.9	35.6	15.3	18.6	10.2	20.3	28.8	10.2	11.9	15.3	5.1	8.5
	40代	66	22.7	24.2	36.4	33.3	7.6	9.1	13.6	19.7	10.6	12.1	10.6	3.0	4.5
	50代	58	19.0	15.5	31.0	37.9	12.1	17.2	15.5	20.7	10.3	6.9	10.3	6.9	3.4
	60代	57	36.8	31.6	26.3	38.6	15.8	12.3	26.3	15.8	8.8	7.0	12.3	7.0	8.8
70代以上	76	36.8	36.8	32.9	42.1	5.3	9.2	10.5	10.5	6.6	18.4	3.9	10.5	7.9	
男性計	444	30.6	27.3	28.2	38.3	7.7	9.5	15.5	20.0	12.4	15.8	5.4	3.8	6.1	
女性計	419	29.4	26.3	35.1	30.8	11.9	10.3	16.9	17.7	10.0	12.9	9.1	5.0	5.0	

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

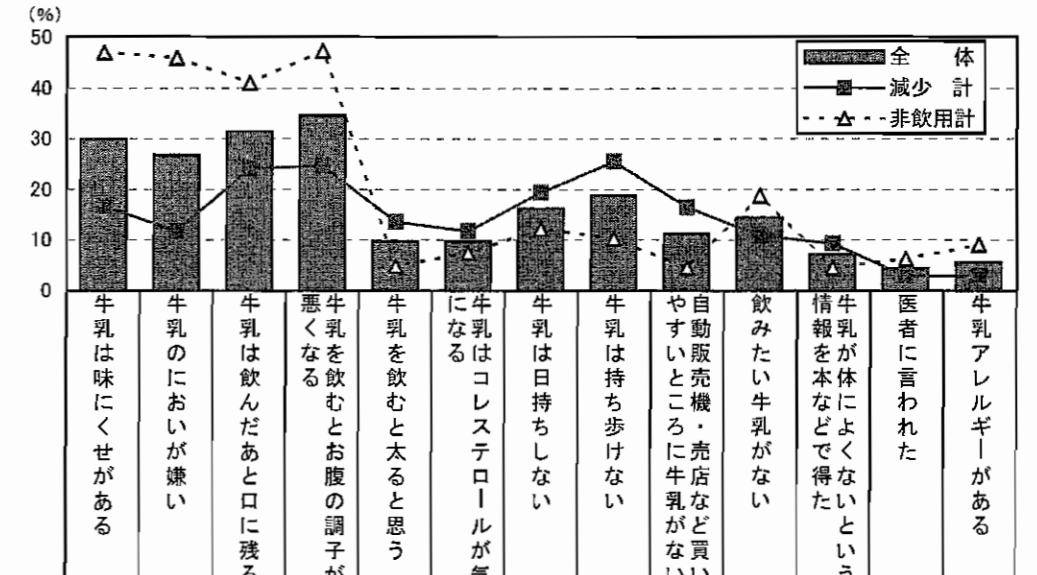
全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせたあてはまる度合いを、減少者、非飲用者別にみると、非飲用者では、男女とも、「牛乳は味にくせがある」「牛乳のにおいが嫌い」「牛乳は飲んだあと口に残る」「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が全体より5~10ポイント以上高い。非飲用者の男性では、「飲みたい牛乳がない」も全体より5ポイント以上高い。

減少者男性は、「牛乳は持ち歩けない」「自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がない」という理由、一方、減少者女性は「牛乳を飲むと太ると思う」が全体より5ポイント以上高くなっている。

図表Ⅱ-2-6 減少者・非飲用者別 問9 飲用量減少・非飲用理由「あてはまる計」
 <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



	n	牛乳は味にくせがある	牛乳のにおいが嫌い	牛乳は飲んだあと口に残る	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる	牛乳を飲むと太ると思う	牛乳はコレステロールが気になる	牛乳は日持ちしない	牛乳は持ち歩けない	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がない	飲みたい牛乳がない	牛乳が体によくはないという情報などを本などで得た	医者に言われた	牛乳アレルギーがある
全体	863	30.0	26.8	31.5	34.6	9.7	9.8	16.2	18.9	11.2	14.4	7.2	4.4	5.6
減少計	485	16.7	11.8	24.1	24.7	13.6	11.8	19.4	25.6	16.5	10.9	9.3	2.9	2.9
非飲用計	378	47.1	46.0	41.0	47.4	4.8	7.4	12.2	10.3	4.5	18.8	4.5	6.3	9.0
減少男性	227	18.1	11.0	18.9	28.6	11.9	11.5	19.4	28.6	20.3	10.1	7.0	1.8	3.1
減少女性	258	15.5	12.4	28.7	21.3	15.1	12.0	19.4	22.9	13.2	11.6	11.2	3.9	2.7
非飲用男性	217	43.8	44.2	37.8	48.4	3.2	7.4	11.5	11.1	4.1	21.7	3.7	6.0	9.2
非飲用女性	161	51.6	48.4	45.3	46.0	6.8	7.5	13.0	9.3	5.0	14.9	5.6	6.8	8.7

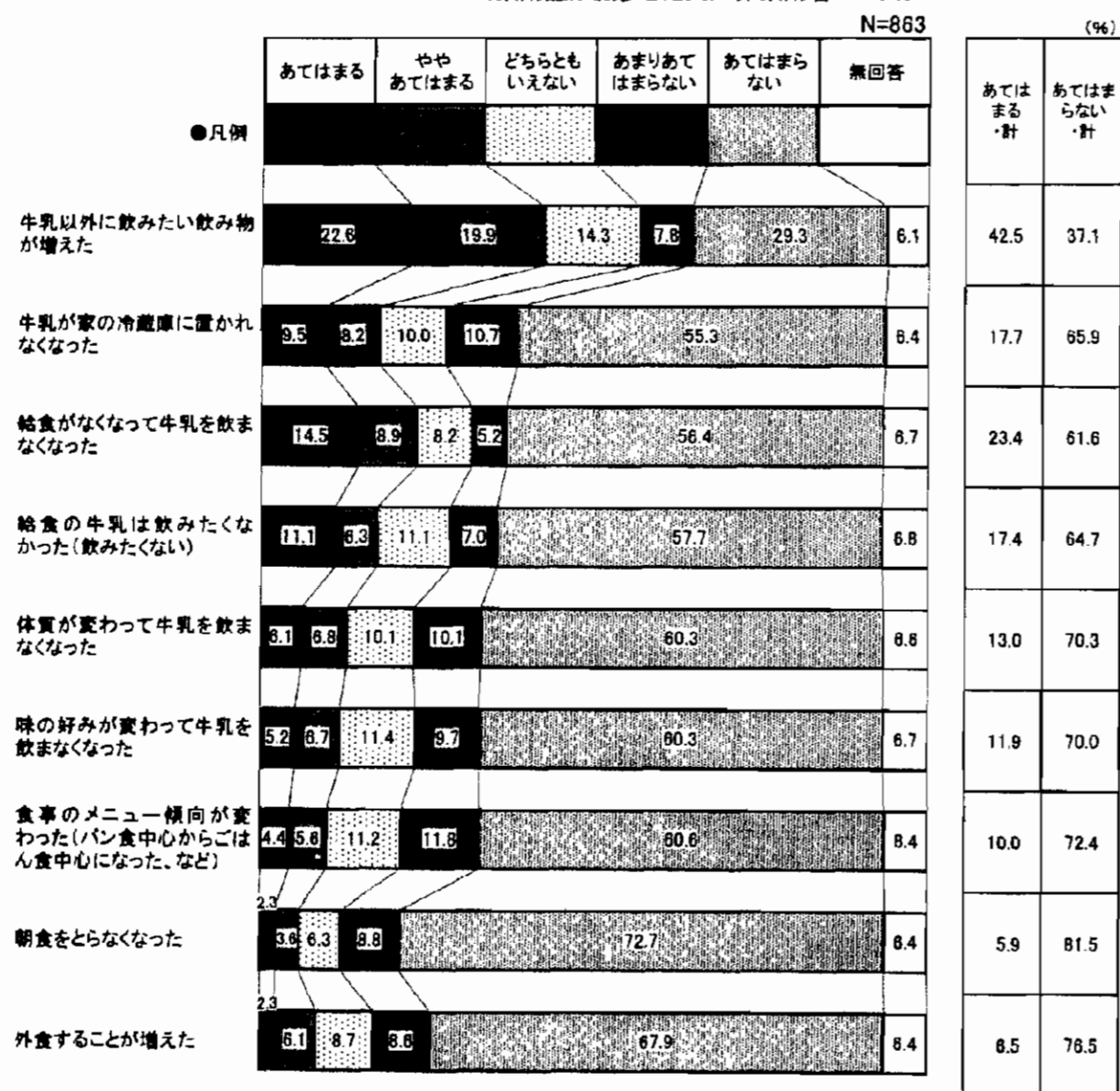
全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

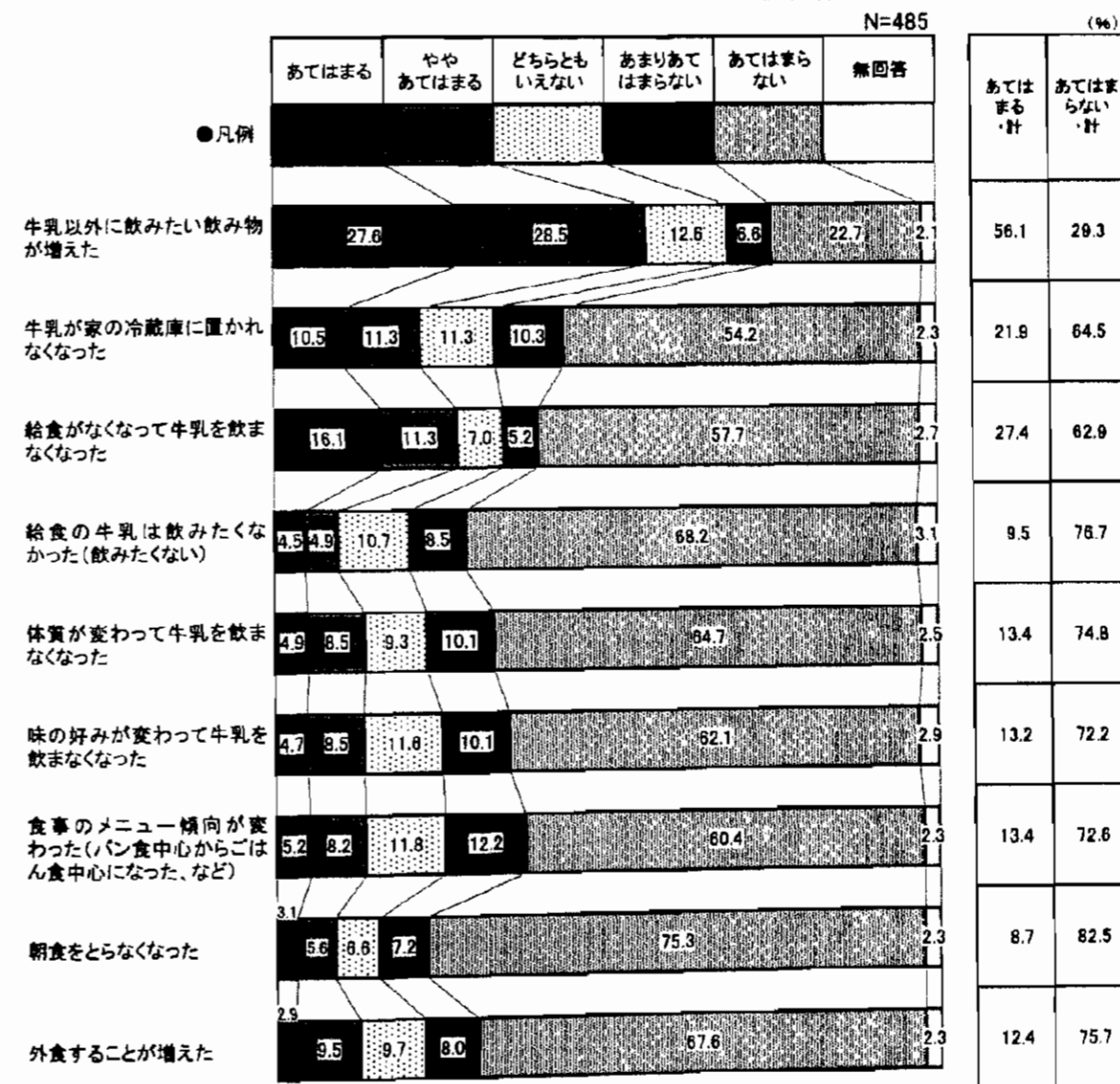
2) 食生活の変化

この1年間に白もの牛乳類を飲む量が全体として減った人および牛乳はもともと飲まない人に、食生活の変化(9項目)について、どの程度あてはまるか5段階で聞いた。「牛乳以外に飲みたい飲み物が増えた」については、「あてはまる計(「あてはまる」+「ややあてはまる」)」が43%で、「あてはまらない計(「あてはまらない」+「あまりあてはまらない」)」の37%を上回った。「給食がなくなって牛乳を飲まなくなった」も「あてはまる計」が23%と高めとなっている。

図表Ⅱ-2-7 問10 食生活の変化
 <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



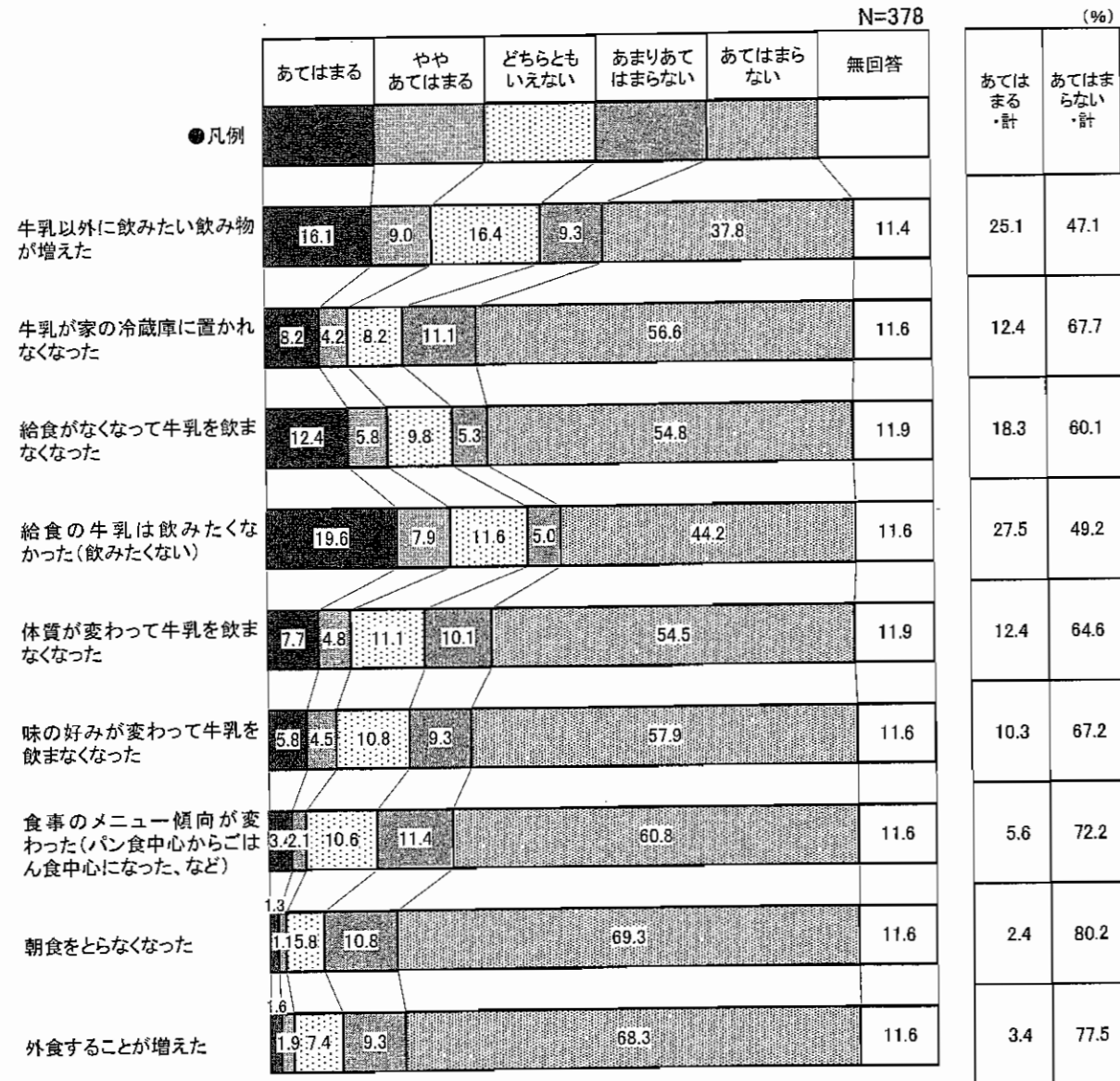
図表Ⅱ-2-8 問10 食生活の変化
 <減少者ベース>



もともと飲まない人の非飲用理由をみると、「給食の牛乳は飲みたくなかった(飲みたくない)」で「あてはまる」と答えた人が2割近くで最も多く、次いで「牛乳以外に飲みたい飲み物が増えた」が16%である。

一方、非飲用理由の「あてはまらない計」をみると、「朝食をとらなくなった」「外食することが増えた」「食事のメニュー傾向が変わった」が7割～8割台と高めとなっている。

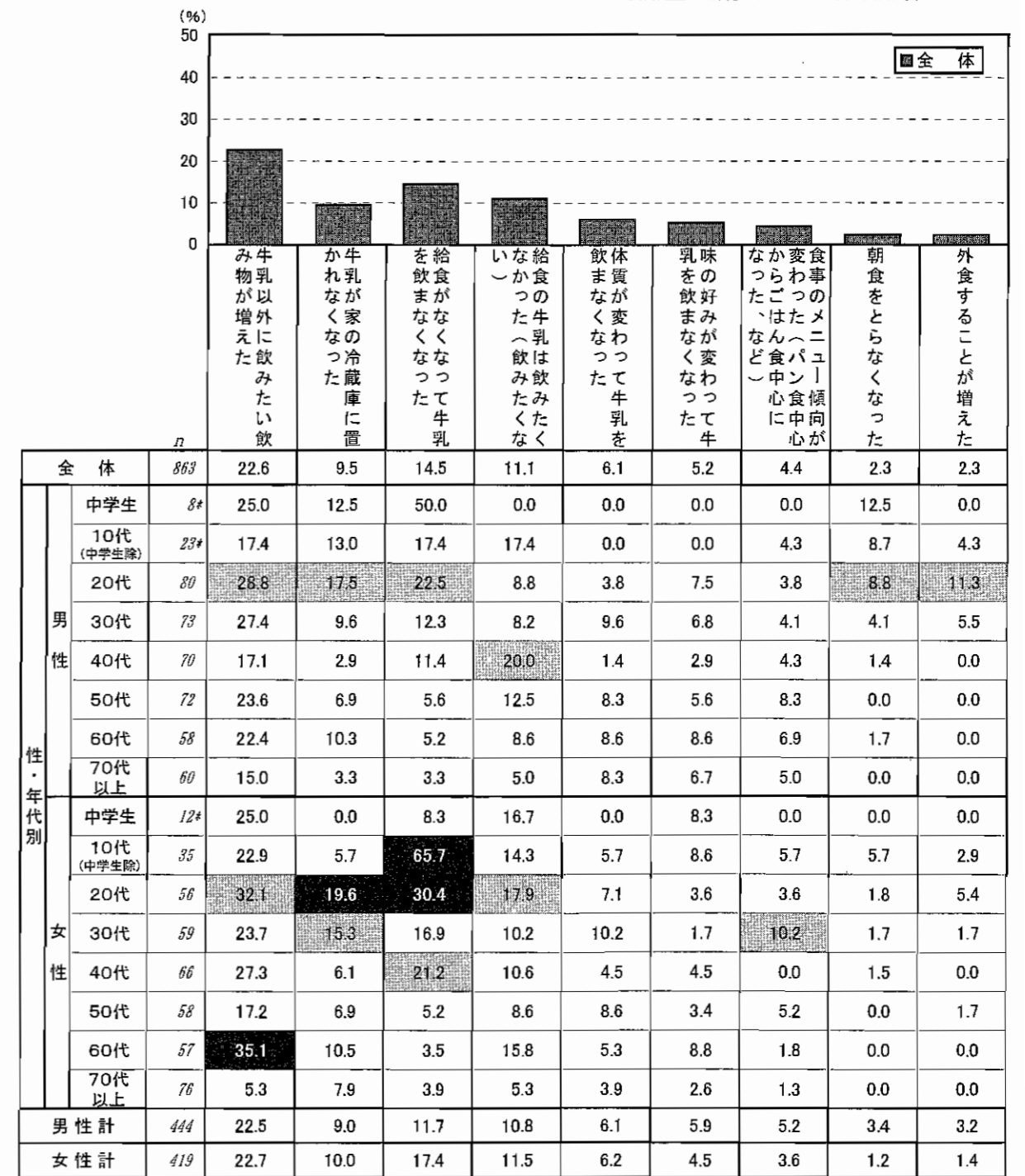
図表 II-2-9 問10 食生活の変化
<非飲用者ベース>



性・年齢別に、それぞれの食生活の変化の「あてはまる」比率をみると、女性の中学生を除く10代、20代、40代、および男性の20代で「給食がなくなって牛乳を飲まなくなった」が全体より5～10ポイント以上高くなっている。

また、男女ともに20代では全体より5ポイント以上高い項目が他の層に比べ多い。

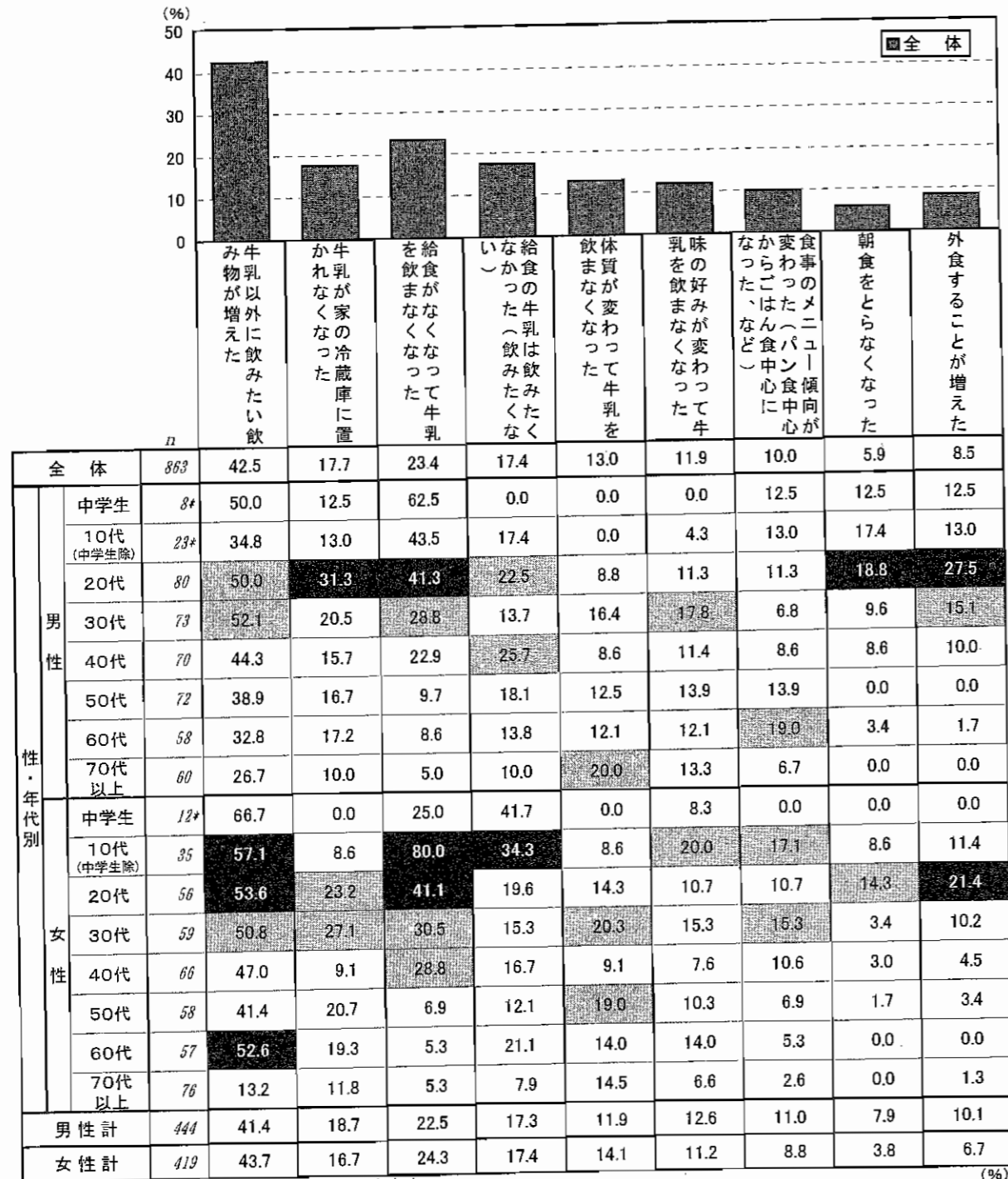
図表 II-2-10 性・年齢別 問10 食生活の変化「あてはまる」
<飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。
n(サンプル数)が30以上の場合、
全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

性・年齢別に「あてはまる計」をみると、男性20代、30代および女性の中学生を除く10代～30代、60代で「牛乳以外に飲みたい飲み物が増えた」が5割を超え高い。
また、女性の中学生を除く10代で「給食がなくなって牛乳を飲まなくなった」が8割を占める。

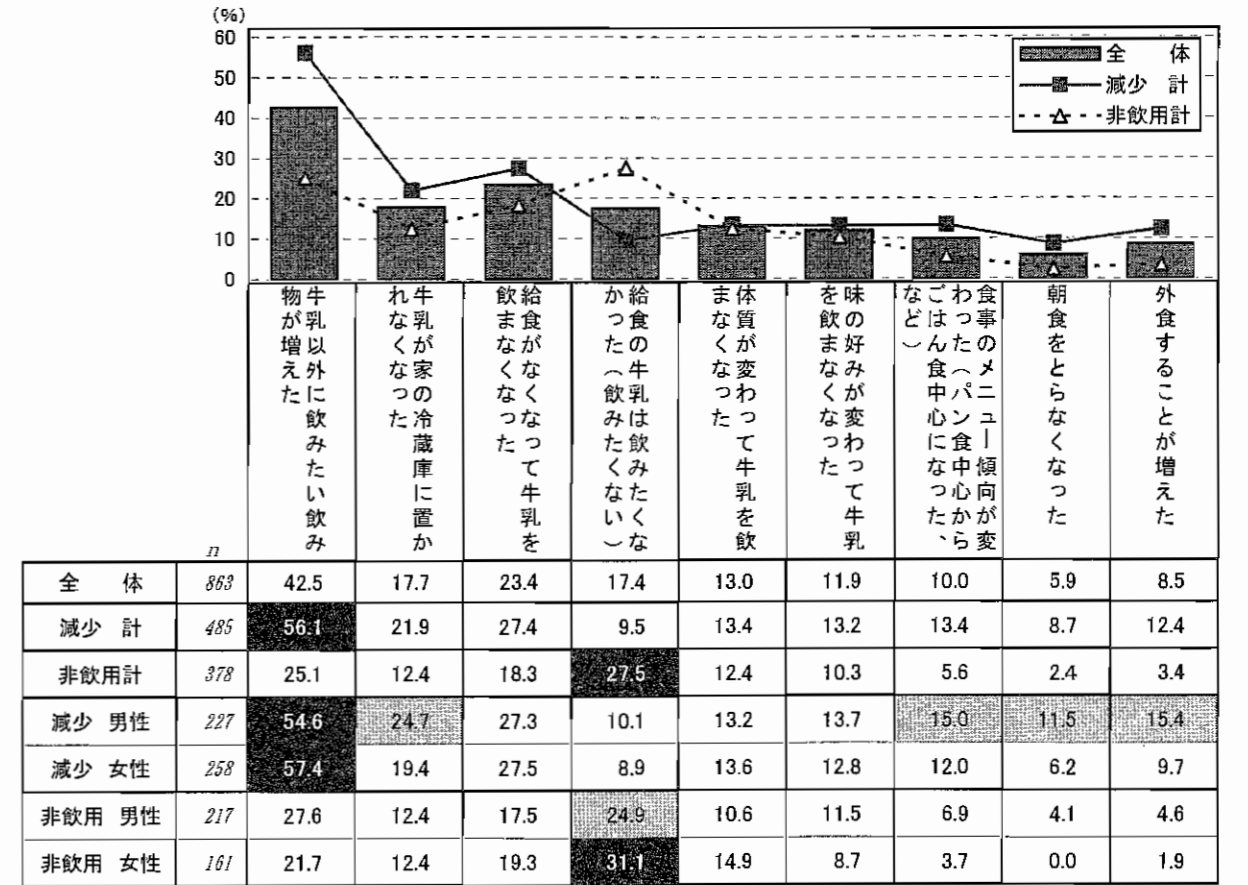
図表Ⅱ-2-11 性・年齢別 問10 食生活の変化「あてはまる計」
＜飲用量が減少した人／非飲用者ベース＞



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。
n(サンプル数)が30以上の場合、
全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

食生活の変化で「ややあてはまる」「あてはまる」の合計をみると、「減少した」人は「牛乳以外に飲みたい飲み物が増えた」が全体より14ポイントほど高く、一方「もともと飲まない」人は「給食の牛乳は飲みたいなくなった(飲みたいくない)」が10ポイント以上高くなっている。
減少男性では、「牛乳が家の冷蔵庫に置かれなくなった」「食事メニュー傾向が変わった」「朝食をとらなくなった」「外食することが増えた」で全体より5ポイント以上高めで特徴的である。

図表Ⅱ-2-12 性・年齢別 問10 食生活の変化「あてはまる」計
＜飲用量が減少した人／非飲用者ベース＞



全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

3. 白もの牛乳類の飲用意向

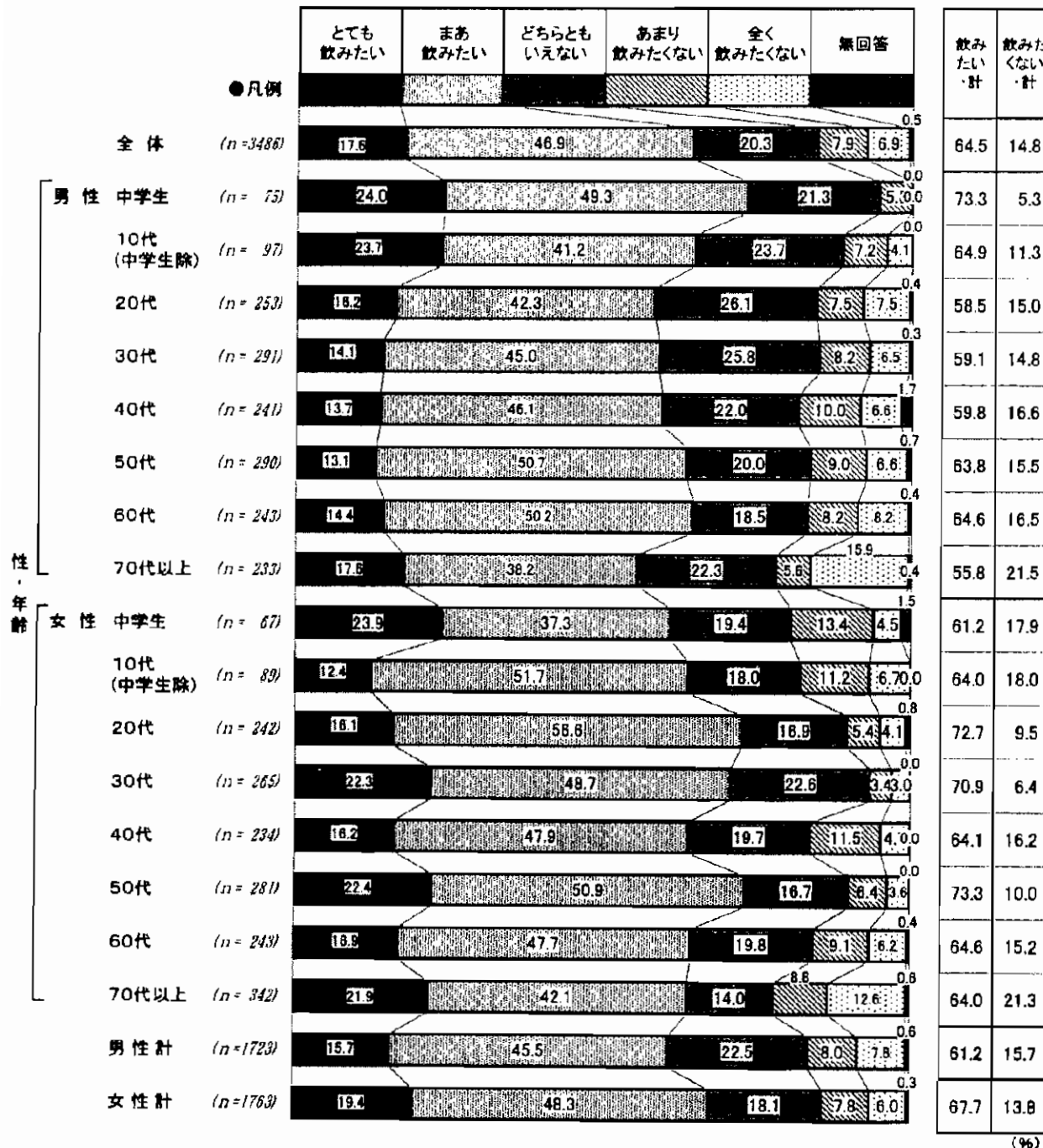
現在の飲用有無にかかわらず、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思うかを5段階で聞いた。

白もの牛乳類非飲用者を含む全体では、「とても飲みたい」18%、「まあ飲みたい」47%、併せて65%が飲用意向を示している。一方、「全く飲みたいくない」は7%、「あまり飲みたいくない」は8%で、両者の合計は1割強である。「どちらともいえない」が2割見られる。

性・年齢別にみると、男女とも中学生で「とても飲みたい」が24%と他の層と比べて多めである。「飲みたい計（「とても飲みたい」+「まあ飲みたい」）」の飲用意向が最も高い層は、男性中学生と女性50代で、女性の20代と30代でも飲用意向が7割を超える。

男女とも70代以上では、「飲みたいくない計（「全く飲みたいくない」+「あまり飲みたいくない」）」が2割を超える。

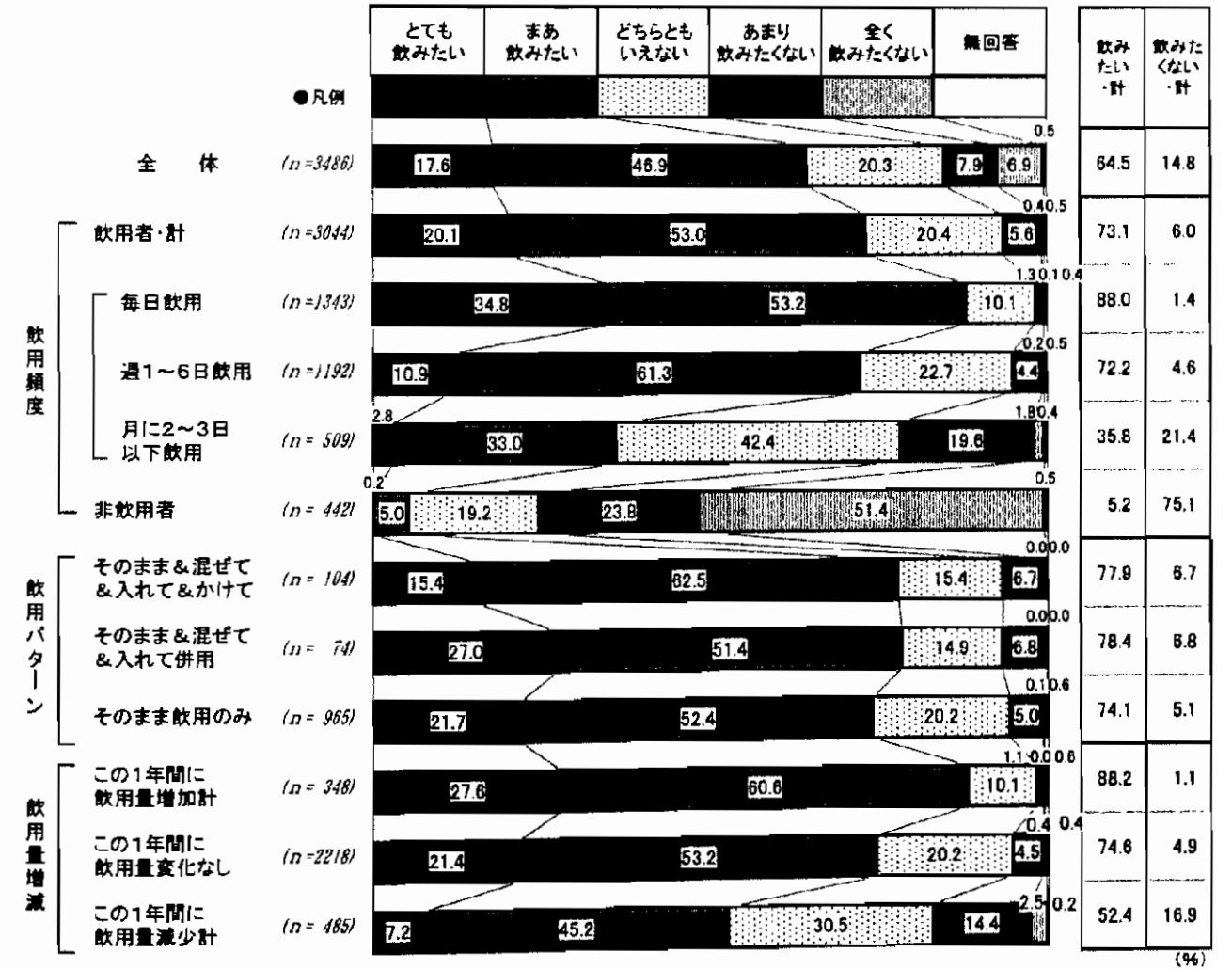
図表II-3-1 性・年齢別 問11 白もの牛乳類の飲用意向



現在の飲用頻度別にみると、「とても飲みたい」と回答した人は、飲用者全体では20%、毎日飲用する人では35%であった。「飲みたい計（「とても飲みたい」+「まあ飲みたい」）」でみると、毎日飲用する人では9割弱、週1~6日飲用する人では7割強の飲用意向となっている。

この1年間の飲用量が「増加した」人の「飲みたい計」は9割、「変化なし」の人でも7割強と高い。この1年の飲用量が「減少した」人は、「とても飲みたい」が1割に満たないものの、「まあ飲みたい」と合わせると5割強が飲用意向を示している。

図表II-3-2 飲用行動別 問11 白もの牛乳類の飲用意向



参考に、普段よく飲む飲み物を2006年と比べると、「野菜ジュース」と「ミネラルウォーター」が4ポイントほど伸びている。

図表III-2-2 時系列 問12 普段よく飲む飲み物 (MA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	この中にはない	無回答
2007年	3486	51.5	24.6	13.9	18.7	19.1	27.3	9.0	16.6	61.2	24.9	74.5	25.9	9.9	25.4	0.2	0.1
2006年	3478	49.5	24.6	15.4	19.0	18.4	23.2	9.9	15.4	61.1	22.5	72.9	23.9	10.2	20.8	0.6	0.1
2005年	3896	64.0	24.6	22.7	18.7	27.2	29.7	18.2	20.5	63.4	31.2	85.2	32.1	10.2	29.4	0.4	0.1
2002年	4277	67.9	24.6	19.5	18.7	28.2	28.3	9.9	24.0	64.0	34.2	86.3	32.9	10.2	30.7	0.3	0.1

※斜線はデータなし
※02年、05年は、06年・07年とは質問形式が異なる

図表III-2-3 時系列 問13 最もよく飲む飲み物

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	無回答
2007年	3475	10.8	3.1	1.0	1.1	1.0	2.8	1.1	1.8	22.5	2.4	42.3	2.8	0.6	5.9	0.7
2006年	3478	11.8	3.1	0.9	1.5	1.3	1.5	1.2	2.4	26.5	2.5	40.2	2.4	1.0	5.5	1.2
2005年	3877	15.4	3.1	0.6	0.9	0.9	1.9	1.2	1.1	20.8	2.0	49.1	2.3	0.6	4.8	0.1
2002年	4259	15.2	3.1	0.5	0.9	1.5	1.3	0.3	2.0	21.6	1.6	51.2	1.8	0.6	2.5	0.5

※斜線はデータなし
※02年、05年の「最もよく飲む飲み物」は、ふだんよく飲む飲み物がある人ベース
※02年、05年は、06年・07年とは質問形式が異なる

IV 白もの牛乳類を使った料理の実態

1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動

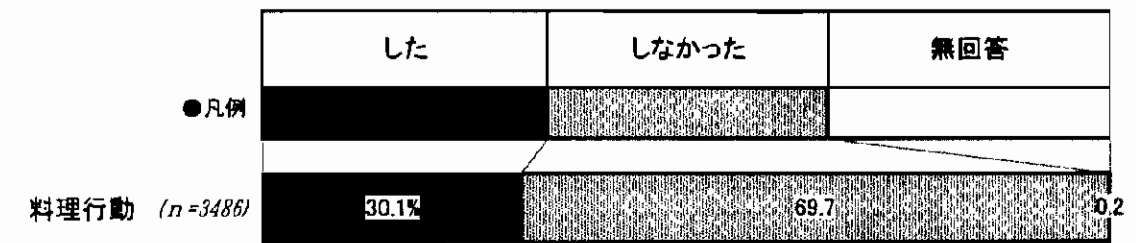
白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを聞いた。次に、料理を作ったと回答した人には、その料理回数と料理に使用した白もの牛乳類の量を聞いた。

全体では、白もの牛乳類を使って料理をした比率は30%である。

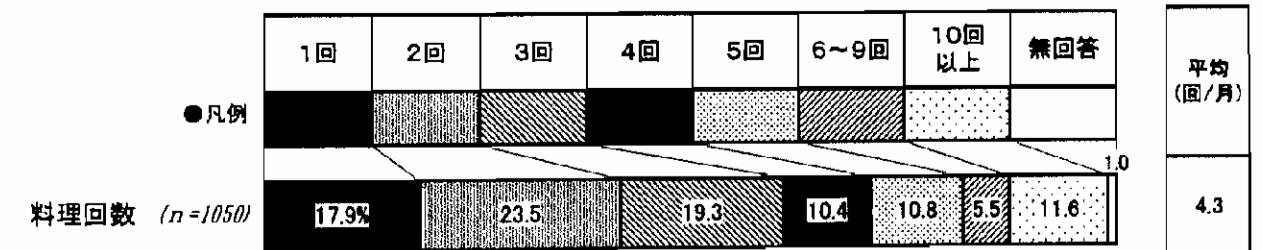
料理回数は「2回」(24%)とする人が最も多く、「3回」(19%)「1回」(18%)と続く。平均料理回数は4.3回である。

白もの牛乳類の料理使用量は、1ヶ月間で「1カップ(200cc)」とする人が27%で最も多く、次いで「1ℓ以上」が21%である。平均使用量は432mlである。

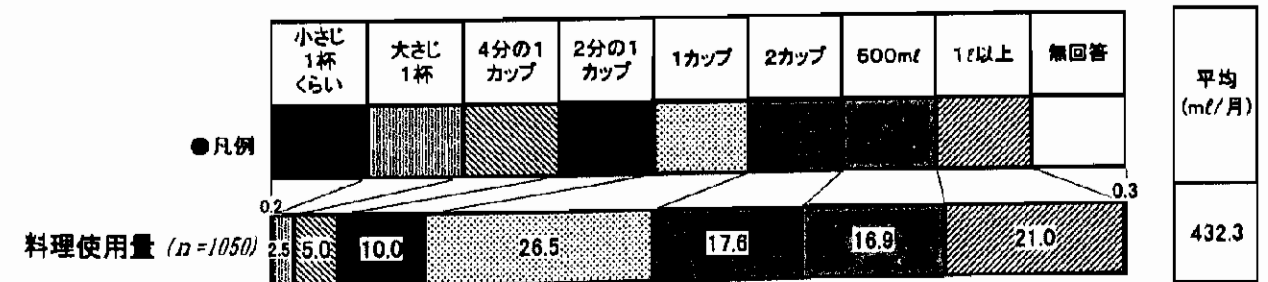
図表IV-1-1 問14 白もの牛乳類を使った料理行動



図表IV-1-2 問14-1 白もの牛乳類の料理回数 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

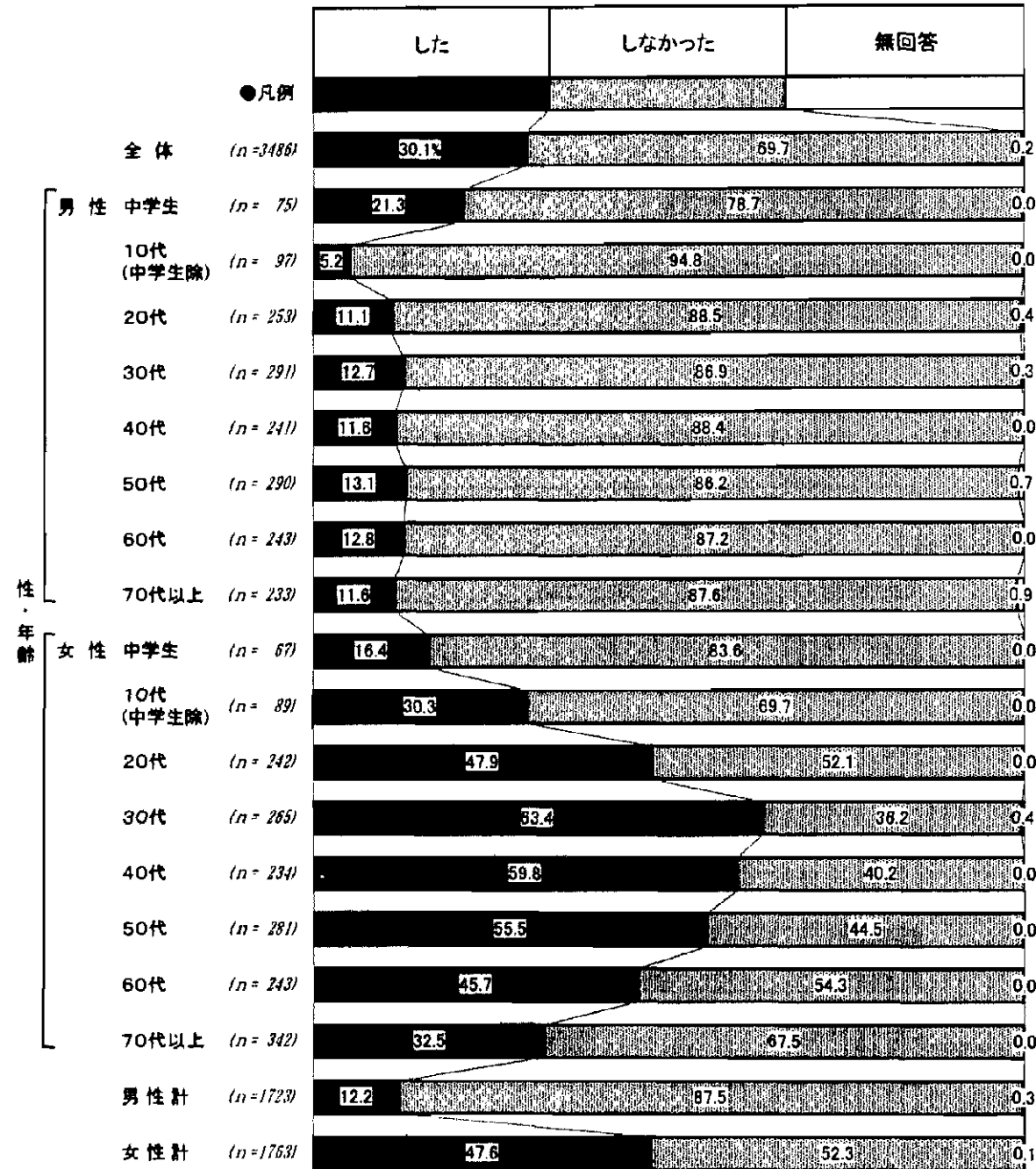


図表IV-1-3 問14-3 白もの牛乳類の料理使用量 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



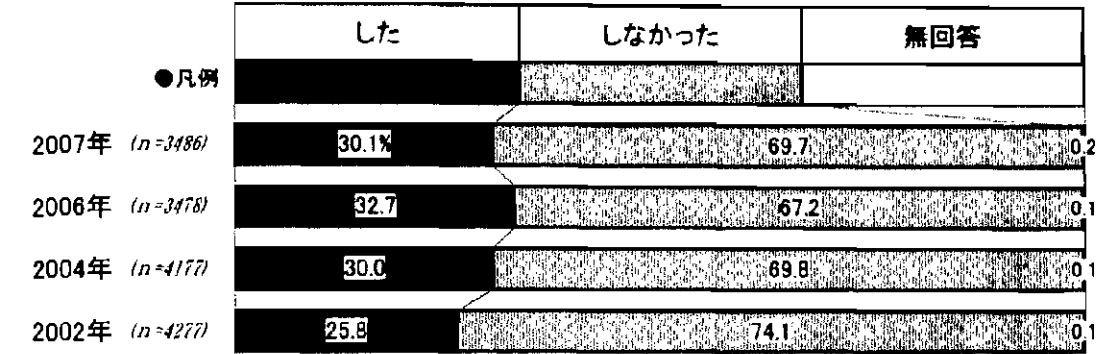
調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使った料理をした割合を性・年齢別にみると、男性では中学生が21%と比較的高く、女性全体では48%が料理をしており、なかでも30代、40代では6割前後と高い。

図表IV-1-4 性・年齢別 問14 白もの牛乳類を使った料理行動



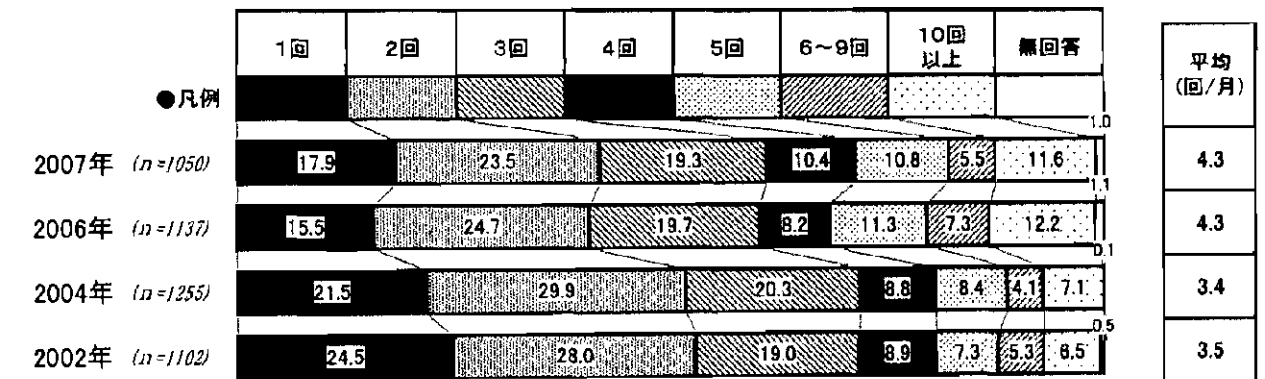
2006年と比較すると、白もの牛乳類を使った料理の調査時点1ヶ月間の実施率、料理実施者ベースの料理回数、牛乳使用量、いずれも大きな変化はみられない。

図表IV-1-5 時系列 問14 この1ヶ月間の白もの牛乳類を使った料理行動



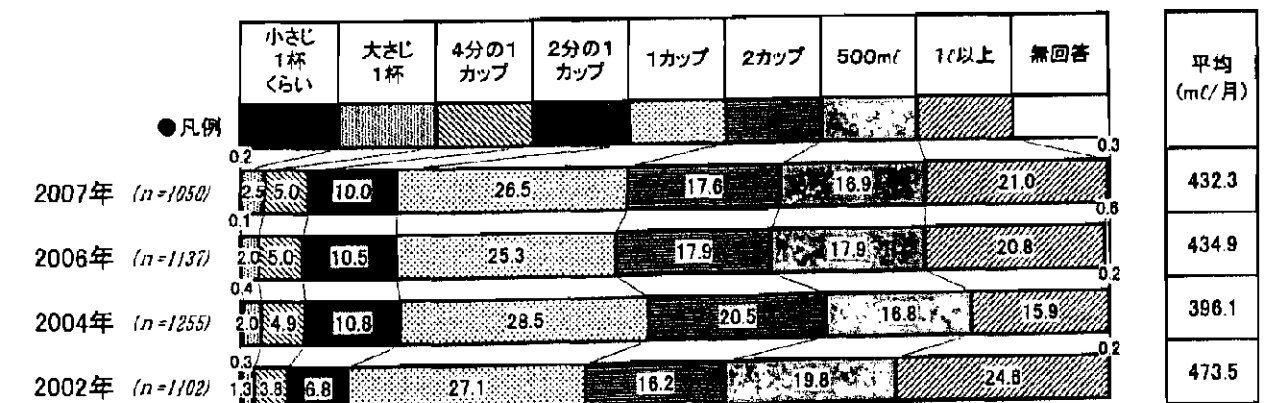
図表IV-1-6 時系列 問14-1 白もの牛乳類の料理回数

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



図表IV-1-7 時系列 問14-3 白もの牛乳類の料理使用量

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



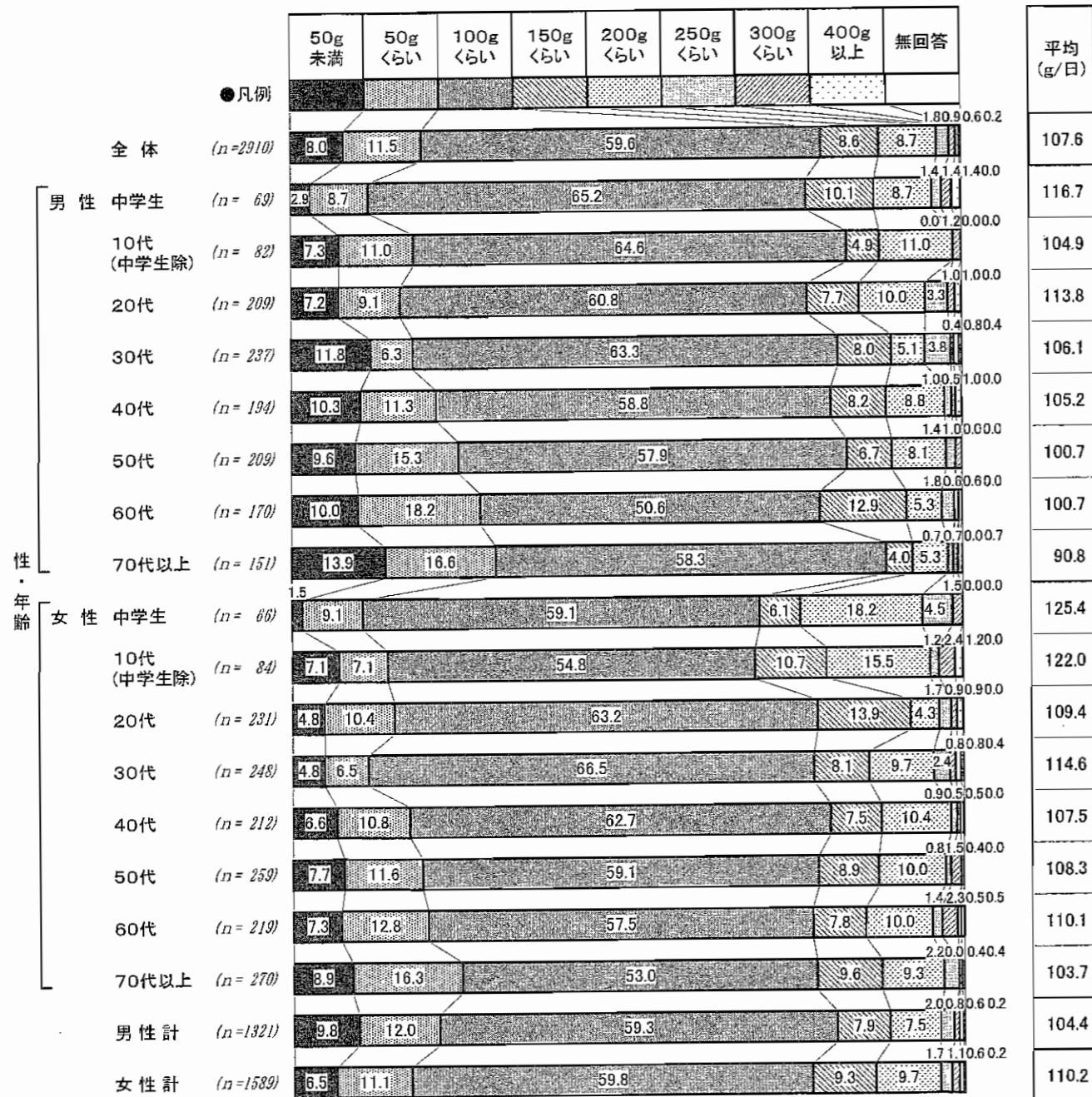
2) ヨーグルトの飲食用量

ヨーグルトを食べる（飲む）ときの一日の飲食用量を聞いた。

全体では「100gくらい」と答えた人が60%を占め、平均では一日に合計108gとなっている。

性・年齢別にみると、女性の中学生を含む10代の平均飲用量が他の層に比べ多い。

図表V-1-2 性・年齢別 問16 ヨーグルトを飲食するとき1日に飲食する量 <飲食者ベース>



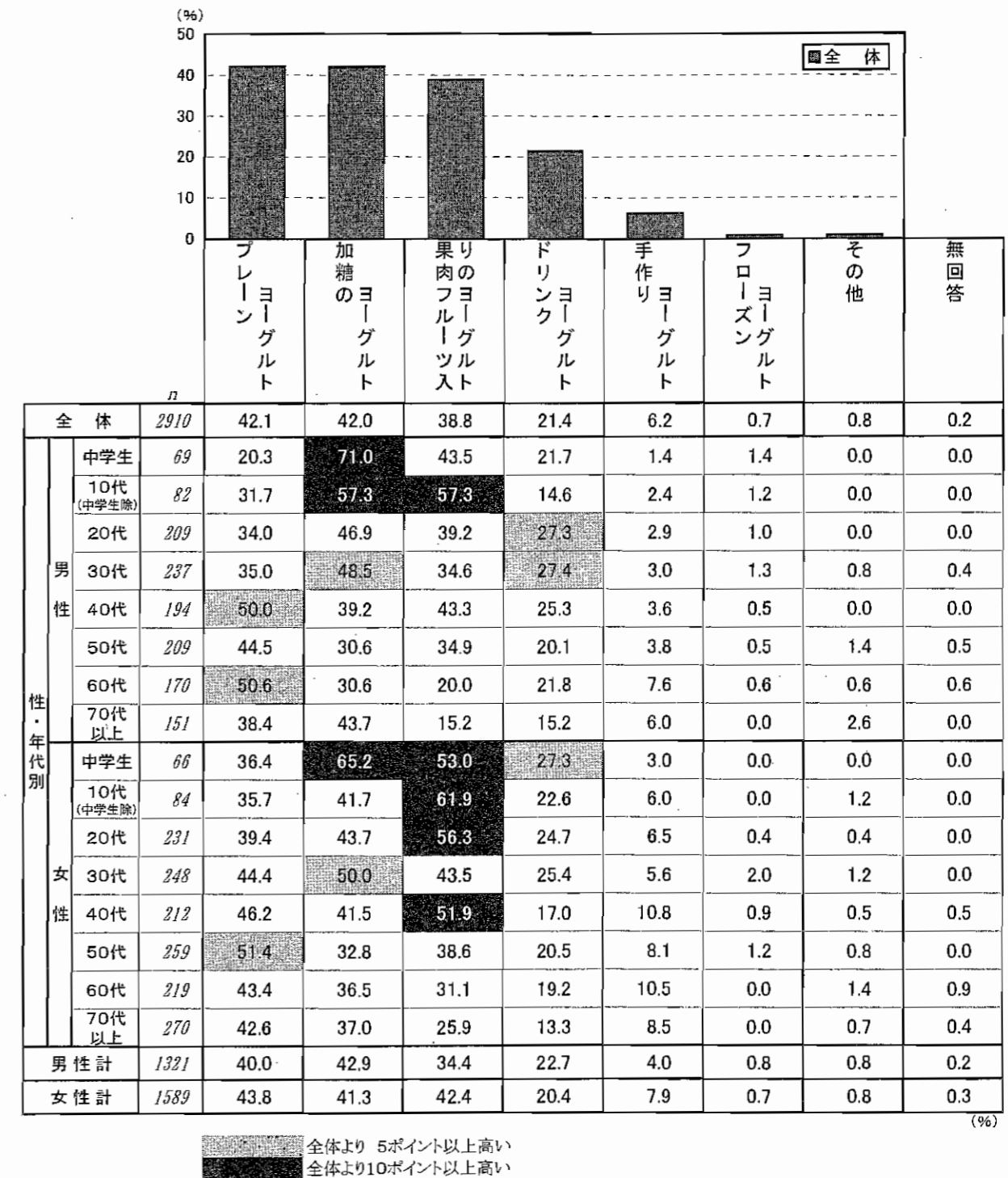
3) ヨーグルトのタイプ

ヨーグルトを飲食する人に、どのようなタイプのヨーグルトを飲食することが多いかを聞いた。

「プレーンヨーグルト」と「加糖のヨーグルト」が42%、「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が39%となっている。

性・年齢別にみると、男女とも、「加糖のヨーグルト」「果肉フルーツ入りのヨーグルト」は若年層での飲食率が高く、「プレーンヨーグルト」は中高年での飲食率が高い傾向が見られる。

図表V-1-3 性・年齢別 問17 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>



2006年と比較して、ヨーグルトの飲食状況に大きな変化はみられない。

図表V-1-4 時系列 問15 日頃ヨーグルトを飲食する頻度

	n	毎日 食べる/ 飲む	週に5~6日 食べる/ 飲む	週に3~4日 食べる/ 飲む	週に1~2日 食べる/ 飲む	月に2~3日 食べる/ 飲む	それ以下 しか飲食 しない	全く 飲食しない	無回答
2007年	3486	15.2	5.2	13.4	20.9	18.1	10.7	16.4	0.1
2006年	3478	16.3	5.6	13.1	19.1	17.6	10.4	17.7	0.1
2005年	3896	16.5	5.8	15.3	21.0	17.7	9.0	14.6	0.1

(%)

図表V-1-5 時系列 問16 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量 <ヨーグルト飲食者ベース>

	n	50g未満	50gくらい	100gくらい	150gくらい	200gくらい	250gくらい	300gくらい	400g以上	無回答
2007年	2910	8.0	11.5	59.6	8.6	8.7	1.8	0.9	0.6	0.2
2006年	2858	7.3	9.7	60.1	9.6	9.4	1.7	1.2	0.8	0.2
2005年	3324	7.8	9.9	61.4	8.3	9.3	1.6	0.8	0.6	0.2

(%)

図表V-1-6 時系列 問17 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>

	n	プレーン ヨーグルト	加糖の ヨーグルト	果肉フルー ツ入りのヨー グルト	ドリンク ヨーグルト	手作り ヨーグルト	フローズン ヨーグルト	その他	無回答
2007年	2910	42.1	42.0	38.8	21.4	6.2	0.7	0.8	0.2
2006年	2858	44.8	40.5	41.1	24.4	7.7	1.2	1.0	0.3
2005年	3324	48.9	40.9	46.2	25.2	10.8	1.7	1.3	0.2
2003年	3192	44.7	45.4	45.2	26.8	17.5	/	1.1	0.2
1997年	3888	46.4	44.7	39.4	41.0	/	/	1.4	0.6

※斜線はデータなし

(%)

VI 生活の中の白もの牛乳類

1. 「3-A-Day」について

1) 「3-A-Day」の認知状況

「3-A-Day」についての説明文を読んでもらい、認知や実践状況を聞いた。

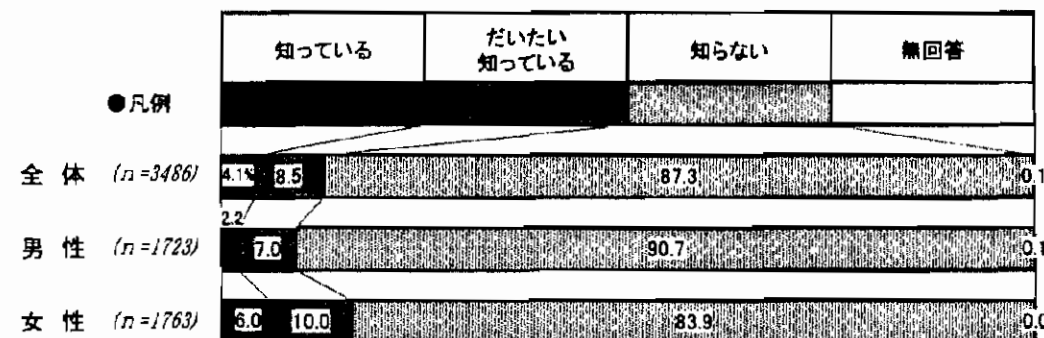
「3-A-Day」を「知っている」(4%) および「だいたい知っている」(9%) を合わせた認知率は13%ほどとなっている。

性別でみると、女性の認知率の方がやや高い。

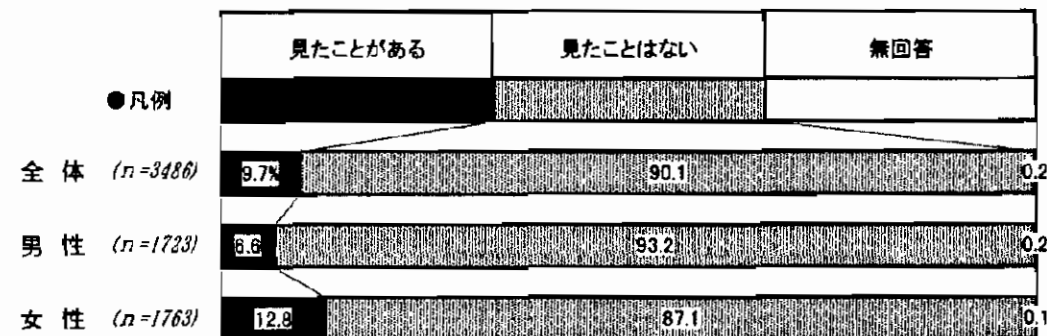
「3-A-Day」のロゴマークを「見たことがある」人は10%で、女性は男性に比べ2倍近くが視認している。

ロゴマークを見たことがある人に認知経路を聞いたところ、「牛乳・乳製品のパッケージ」が52%と最も高く、次いで「パンフレット・小冊子」「テレビ」が2割前後となっている。

図表VI-1-1 性別 問20 「3-A-Day」認知状況



図表VI-1-2 性別 問21 広告などでの「3-A-Day」のロゴマーク視認状況



図表VI-1-3 性別 問22 「3-A-Day」のロゴマークの認知経路 (MA) <ロゴマーク視認経験者ベース>

	n	テレビ	新聞	雑誌	パンフレット・小冊子	ホーム ページ	牛乳・ 乳製品の パッケージ	牛乳売場 の小型液 晶テレビ	駅の看板	電車の 車内広告	無回答
全体	339	18.0	14.5	13.6	20.1	2.1	52.2	13.9	2.1	5.0	2.4
男性	114	20.2	14.0	14.0	17.5	2.6	52.6	11.4	1.8	4.4	2.6
女性	225	16.9	14.7	13.3	21.3	1.8	52.0	15.1	2.2	5.3	2.2

(%)

【説明文】

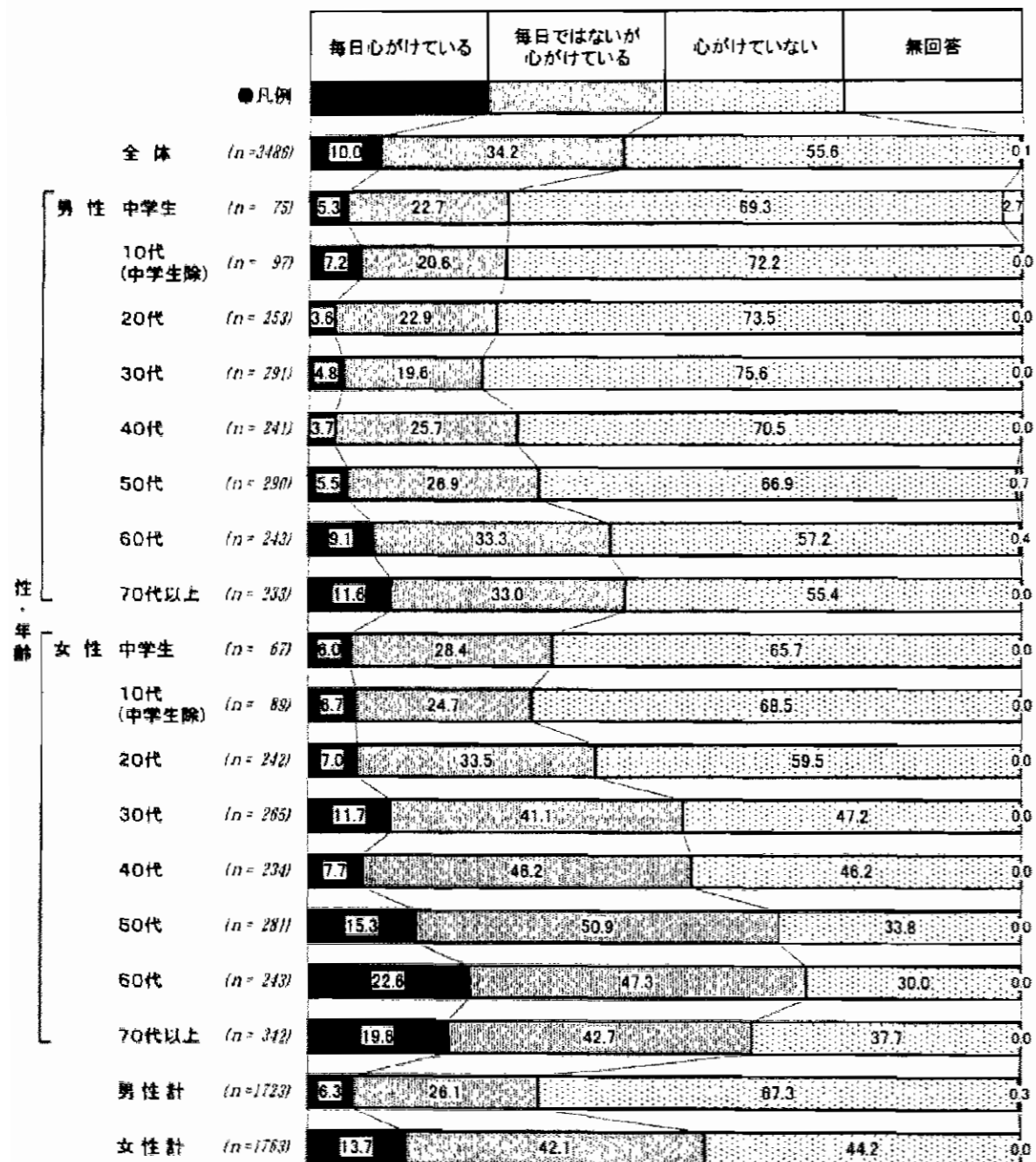
「3-A-Day」(スリー・ア・デイ)。
「牛乳・ヨーグルト・チーズ、どれでも自由に1日3回、または3品、食生活に取り入れて、健康に良い食事を実践しましょう」という呼びかけが、3-A-Day運動です。
3(スリー)は、朝・昼・晩、3度の食事のたびにとか、牛乳・ヨーグルト・チーズを1品ずつ3品を、という程度の軽い意味での3という数字で、毎日必ず3回あるいは3品とらなければならないという意味ではありません。また、A-Day(ア・デイ)は単純に「1日」という意味です。
たとえば、コップ一杯の牛乳を飲む、サンドウィッチにチーズをはさむ、デザートにヨーグルトを食べる。食事のたびに思い出して、習慣化してみませんか。健康のためにチャレンジしてみましょう。

2) 「3-A-Day」の実践状況

「3-A-Day」の実践状況については、ふだんの食生活で「毎日心がけている」が10%みられる。

性・年齢別にみると、女性は「毎日心がけている」「毎日ではないが心がけている」を合わせると6割近くが心がけており、男性より20ポイント以上高い。特に、女性の30代以上で心がけている割合が5割を超え、他の年代と比べて高い。

図表VI-1-4 性・年齢別 問23 ふだんの食生活での「3-A-Day」実践状況

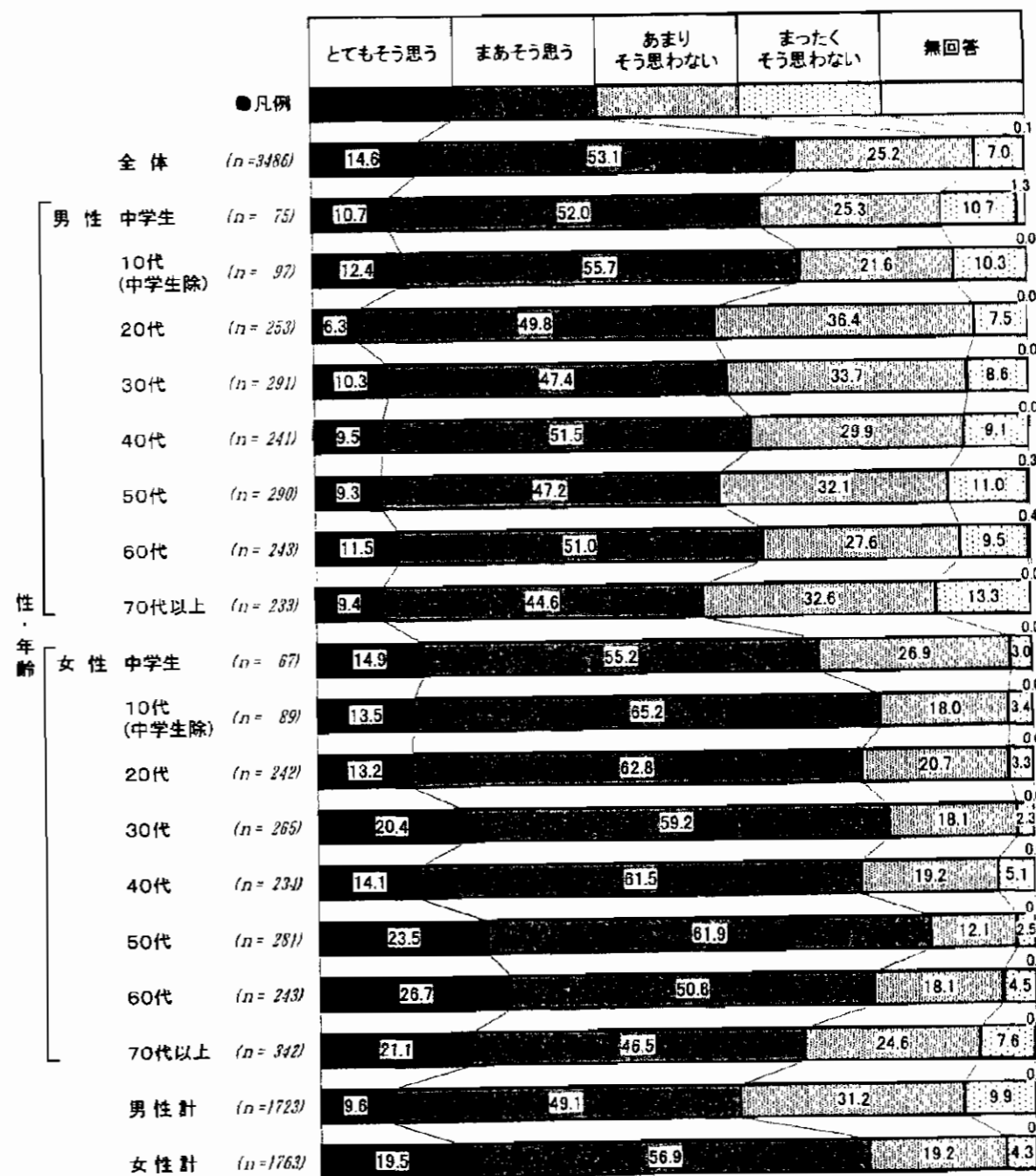


3) 「3-A-Day」の実践意向

「3-A-Day」を実践してみようと思うかどうかについては、「とてもそう思う」(15%)「まあそう思う」(53%)合わせて7割弱が実践意向を持っている。

性・年齢別では、女性は男性と比較して「とてもそう思う」割合が10ポイントほど高く、「まあそう思う」との合計で8割弱を占める。女性の30代および50代以上では「とてもそう思う」が2割以上と高い。

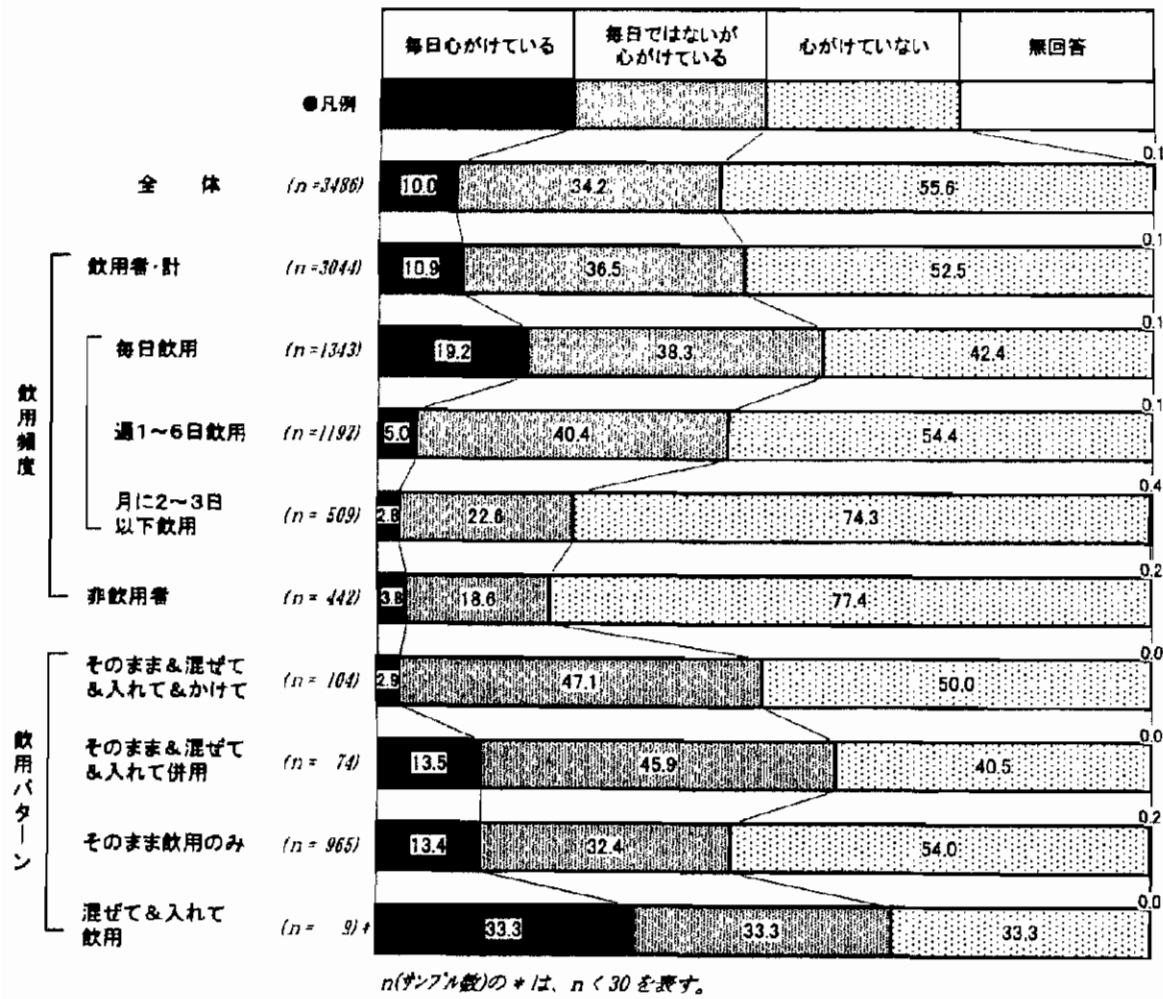
図表VI-1-5 性・年齢別 問24 「3-A-Day」実践意向



白もの牛乳類の飲用行動別にみた飲用頻度別では、毎日飲用している人は「毎日心がけている」が19%、「毎日ではないが心がけている」が38%で、合わせて6割近くが心がけている。飲用頻度が高いほど心がけている割合が高い。

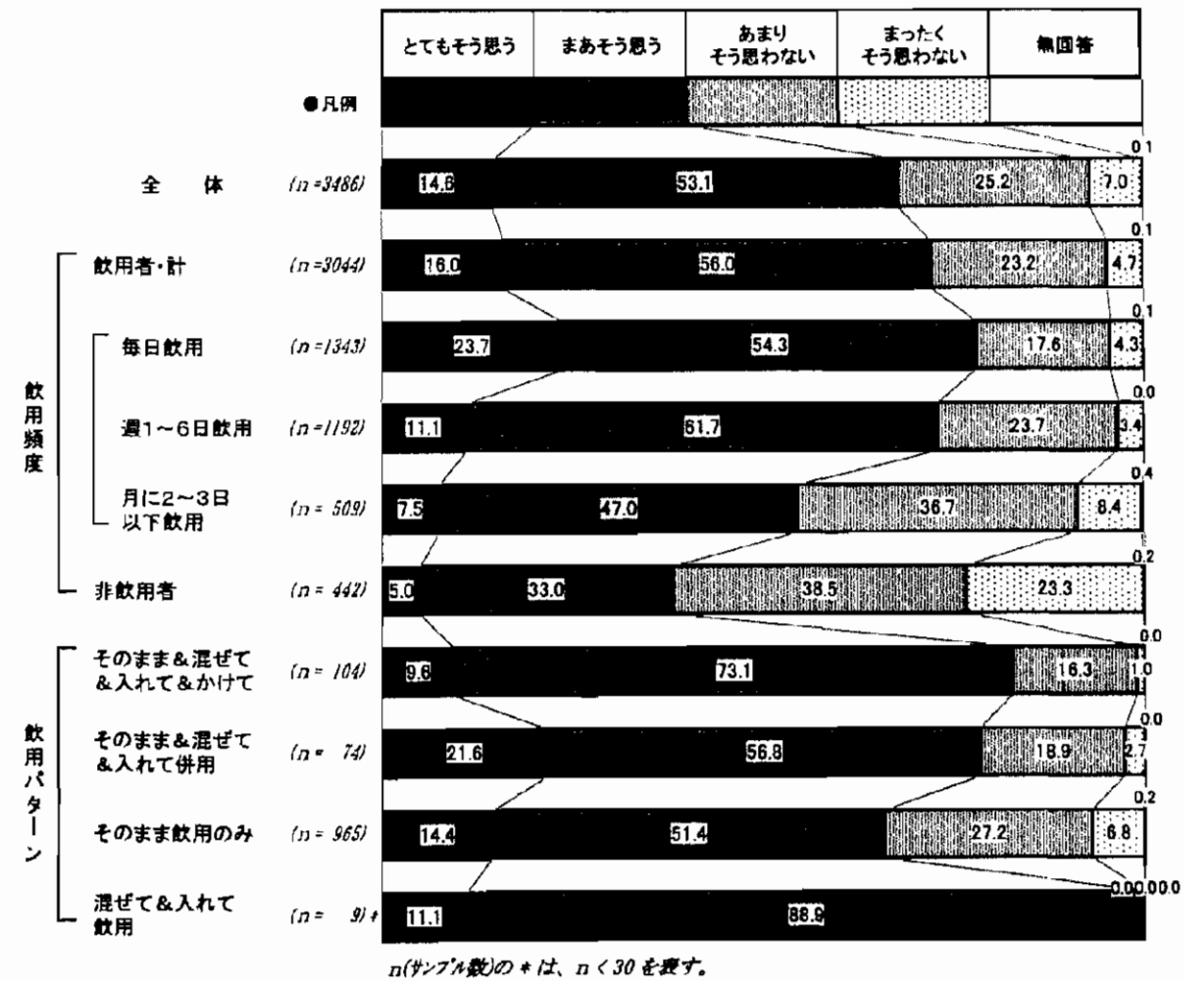
飲用パターン別では、そのまま飲用のみと比較して飲み方を併用している人のほうが「毎日ではないが心がけている」を含めた割合が高い。

図表VI-1-6 飲用行動別 問23 ふだんの食生活での「3-A-Day」実践状況



白もの牛乳類の飲用行動別にみると、実践状況同様、飲用頻度が高いほど実践意向が高く、そのまま飲用のみの人と比較すると、多様な飲み方をしている人の方が実践意向が高い傾向がみられる。

図表VI-1-7 飲用行動別 問24 「3-A-Day」実践意向



2. 健康・食生活について

1) 健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知

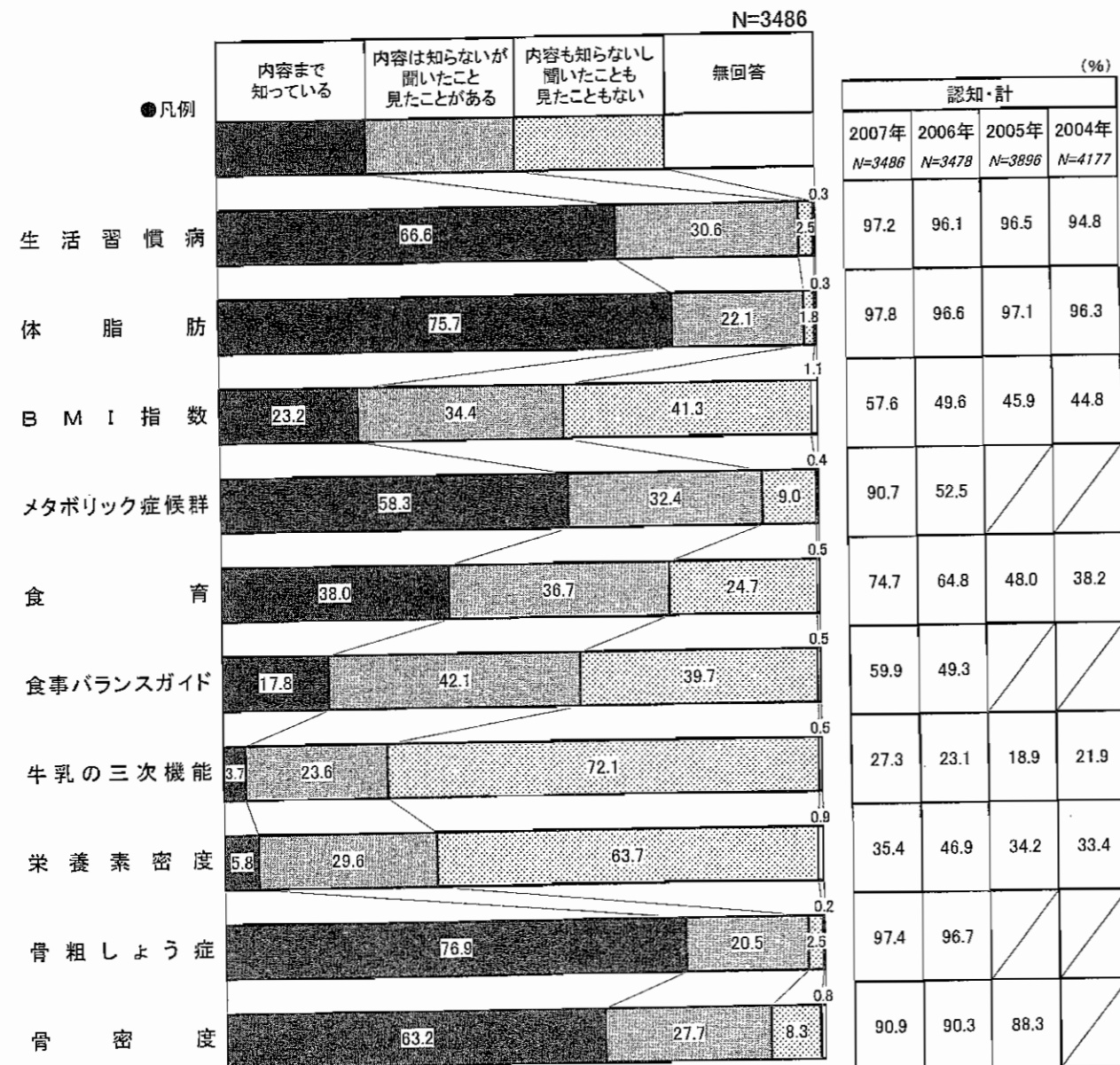
健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知について「内容まで知っている」「内容は知らないが聞いたこと見たことがある」「内容も知らないし聞いたことも見たこともない」の3段階で聞いた。

5割以上の方が内容まで知っているのは、「骨粗しょう症」「体脂肪」「生活習慣病」「骨密度」「メタボリック症候群」の5項目である。

見聞きした程度まで含めた認知レベルでみると、「食育」の認知度は7割を超えており、「BMI指数」「食事バランスガイド」の認知度も6割弱に達する。

2006年と比べると、「メタボリック症候群」の認知度が40ポイント近く高まっている。また、「食育」と「食事バランスガイド」の認知度も10ポイント前後の上昇である。

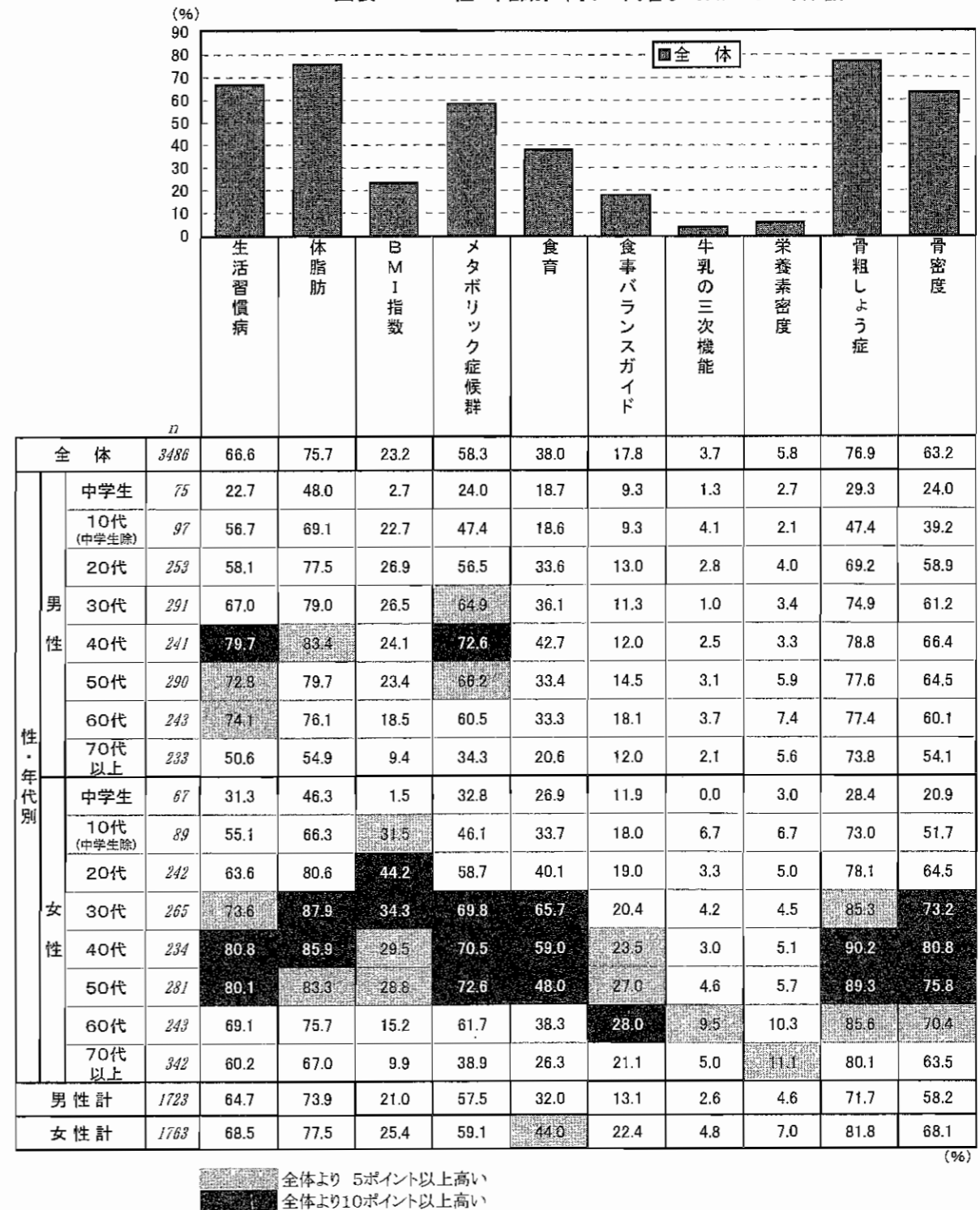
図表VI-2-1 問18 認知している用語



健康・食生活に関する「ことば・用語」を「内容まで知っている」割合は、「骨粗しょう症」(77%)が最も高く、次いで「体脂肪」(76%)、「生活習慣病」(67%)、「骨密度」(63%)とつづく。

性・年齢別にみると、女性の30~50代では用語の認知率が全般的に高く、男性の40代では「生活習慣病」「メタボリック症候群」の認知率が高い。

図表VI-2-2 性・年齢別 問18 内容まで知っている用語

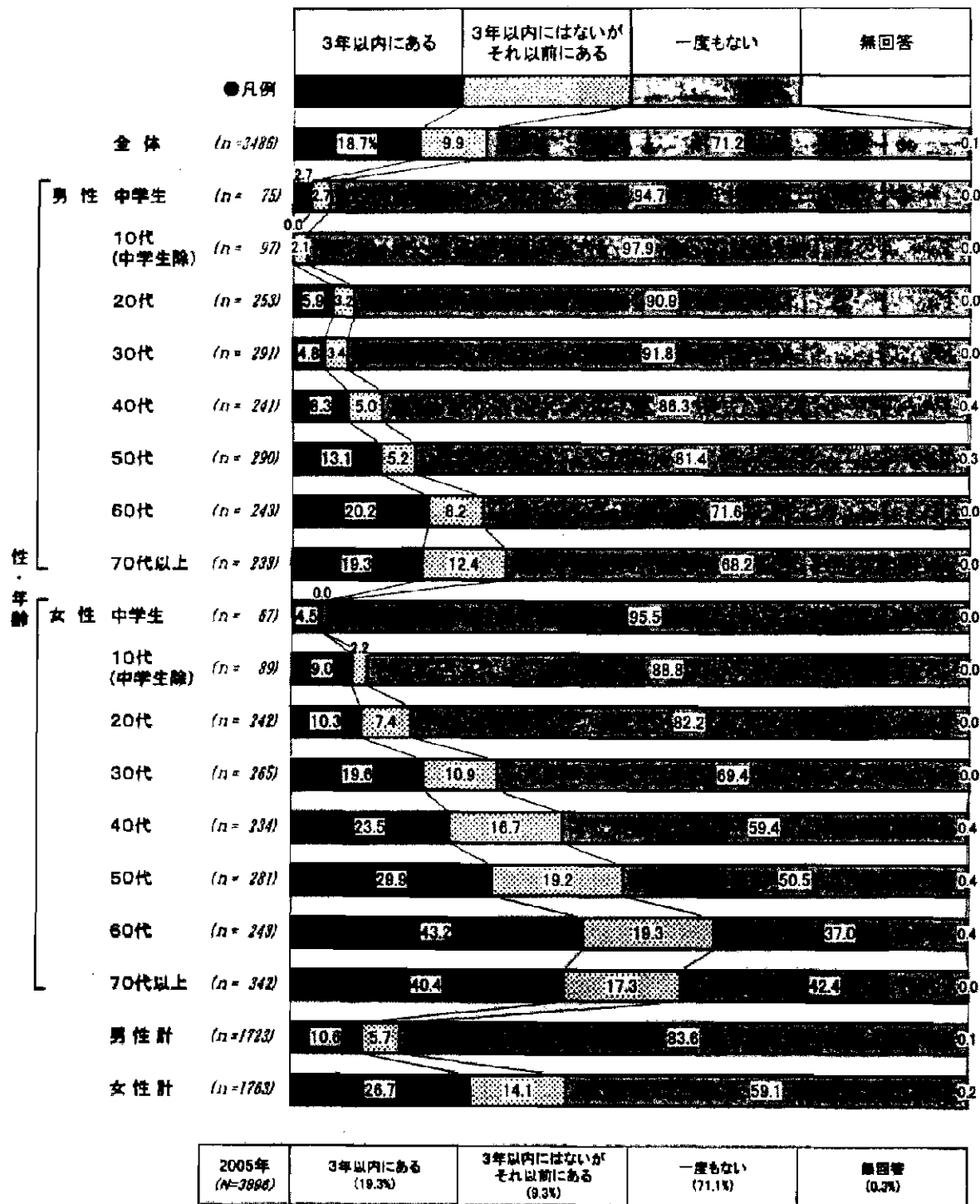


2) この3年間の骨密度測定経験

この3年間の骨密度の測定経験を聞いた。

性・年齢別にみると、「3年以内にある」女性の割合（27％）は男性（11％）の2.5倍以上と大きな差がある。男女とも、年齢が上がるにつれ「3年以内にある」「3年以内ではないが以前にある」を合わせた割合が増える傾向にあり、特に女性60代以上では「3年以内にある」が4割を占める。

図表VI-2-3 性・年齢別 問19 この3年間の骨密度測定経験



<付録1>
各年度のテーマとサンプル数

年 度	サンプル数	テ ー マ
1987 年度	4,664	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の消費動向の研究 ・有識者から牛乳消費拡大のためのアイデアを収集
1988 年度	4,604	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳・乳製品の表示に関する知識と評価 ・牛乳・乳製品の種類に関する知識と度合い
1989 年度	4,579	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳・乳製品の種類の多様化への対応 ・各種宅配牛乳の利用実態と意見 ・スポーツと牛乳・乳製品のかかわり
1990 年度	4,691	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツと栄養に関する知識 ・輸入乳製品の利用実態と意見
1991 年度	4,714	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳と購買場面での選択基準の再度検証 ・飲用場面別の牛乳の競合商品 ・牛乳に関する知識と飲用量の関係
1992 年度	4,651	<ul style="list-style-type: none"> ・果汁100%ジュースとの競合関係の変化 ・家庭外での牛乳の飲用場面拡大のための方向性
1993 年度	4,553	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と購買行動の関係 ・牛乳の伸び悩みがどのような方向にいくか ・果汁100%ジュースの行方
1994 年度	4,617	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーンエイジャーの女の子への訴求方法 ・骨粗しょう症予防と牛乳の結びつき ・購買時点での牛乳の課題 (特売の利用状況、宅配の利用理由)
1995 年度	4,668	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳をとりまくライフスタイルを明らかにする ・「牛乳は太る」のイメージの解明を ・骨粗しょう症予防とカルシウム、牛乳の関係を明確に
1996 年度	4,706	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルと牛乳との関係 ・消費実感としての牛乳の需要量の変化 ・色々な牛乳商品の飲用・購入実態 ・骨粗しょう症とカルシウム、牛乳の関係について ・1987年から1996年の10年間の変化をみる
1997 年度	4,547	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳飲用量の変化とその理由 ・牛乳とチーズ・ヨーグルトの消費量 ・牛乳と他の飲料 ・健康意識と牛乳 ・現在の家族の姿と健康
1998 年度	4,472	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳を1日2回以上飲んでもらうための方策 ・牛乳の飲用機会を増やすための訴求ポイント ・家庭でのしつけのあり方と牛乳飲用 ・健全なダイエットのための牛乳の役割 ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳販売店からの宅配利用 ・牛乳普及のための有効な広告チャネル ・牛乳容器のあり方 ・昨今の不況の影響 ・単身世帯、一人暮らしを支える牛乳 ・国産ナチュラルチーズの振興策
1999 年度	4,476	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・白もの牛乳類と他の飲み物のイメージ ・自宅外での牛乳乳製品の飲食・購入 ・白もの牛乳類の料理利用 ・白もの牛乳類、料理についての情報源 ・バター（油脂類）の使い方 ・家庭での牛乳乳製品の常備 ・白もの牛乳類のための冷蔵庫の中のスペース ・メーカーやブランドについて
2000 年度	4,632	<ul style="list-style-type: none"> ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳・乳製品と他の食品のイメージ ・自宅外での牛乳・乳製品の飲食・購入 ・牛乳・乳製品の好き・嫌い ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・小学生以下の牛乳の飲用 ・家庭での牛乳・乳製品の常備 ・牛乳の容器について ・牛乳と栄養に関する健康意識

年度	サンプル数	テーマ
2001 年度	4,778	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・自宅外での牛乳の飲食・購入 ・牛乳・乳製品と他の飲料のおいしさ ・牛乳・乳製品についての知識 ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・ヨーグルト・チーズの食頻度 ・家庭での牛乳・乳製品の常備実態 ・健康などへの関心 ・白もの牛乳類の購入場所 ・牛乳容器の表示 ・食中毒事故と飲用／購入態度の変化
2002 年度	4,277	<ul style="list-style-type: none"> ・12歳以下のこどもの白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類と他の飲料のイメージ・飲用機会 ・白もの牛乳類のもつ様々なベネフィットの認識 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・牛乳容器の表示と切欠きについて ・BSEと白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化
2003 年度	4,177	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類を飲用したい場所 ・白もの牛乳類と一緒に食べる食べ物 ・白もの牛乳類の飲用量の増減とその理由・きっかけ ・白もの牛乳類の購入・宅配に関する意識 ・ヨーグルトの飲食・手作りの実態 ・乳製品・肉類の産地意識 ・健康と食生活に関する認識と情報源
2004 年度	4,177	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類と混ぜて飲むもの ・白もの牛乳類の飲用量の増減 ・牛乳を飲んでおなかの調子が悪くなる状況 ・白もの牛乳類の購入量と購入意識 ・牛乳を使った料理の実態 ・ヨーグルトの飲食・手作りの実態 ・健康や食生活に関する認識 ・競合飲料のイメージと飲用シーン
2005 年度	3,896	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の購入実態（宅配の利用状況） ・ヨーグルトの飲食実態 ・健康や食生活に関する認識 ・競合飲料の飲用状況と白もの牛乳類に対する心理的絆
2006 年度	3,478	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の購入実態（自宅外での飲用機会） ・白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度 ・乳製品の飲食実態 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・健康や食生活に関する認識
2007 年度	3,486	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の飲用量減退についての認識 ・白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度 ・乳製品の飲食実態 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・健康や食生活に関する認識

<付録2>
単純集計結果付き調査票

ご記入にあたって

1. 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に(1つだけ○印)とあれば「1つだけ」、(いくつでも○印)とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
2. 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、()内に具体的な内容をご記入ください。
3. ほとんどの質問が回答を選んでいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
4. 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)や【 】の指示に従ってお進みください。

白もの牛乳類 (注) についてお聞きします

(注) ここでいう白もの牛乳類とは、普通の牛乳や低脂肪乳(ローファットミルク)や機能強化牛乳(カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの)などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含みません。

【すべての方に】(N=3486)

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル(オートミール、コーンフレーク等)にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。(1つだけ○印)

1 毎日飲む	38.5	5月に2~3日飲む	8.5
2 週に5~6日飲む	9.0	6 それ以下しか飲まない	6.1
3 週に3~4日飲む	13.7	7 全く飲まない	12.7
4 週に1~2日飲む	11.5		

NA

白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします

【すべての方に】(N=3486)

問2 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。
ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含めます。

	(それぞれ1つずつ○印)	そのまま飲む							NA
		毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない	
夏場は	→	28.8	7.7	13.6	12.9	9.0	8.3	19.8	-
冬場は	→	25.2	6.8	12.8	15.1	9.0	10.4	20.8	-
年間平均すると	→	25.3	8.2	14.5	13.2	9.6	9.7	19.3	0.2

【すべての方に】(N=3486)

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

	(それぞれ1つずつ○印)	他のものと混ぜて飲む							NA
		毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない	
夏場は	→	19.2	4.9	9.9	11.4	9.6	10.6	34.4	-
冬場は	→	18.0	5.2	10.0	12.0	9.3	11.1	34.3	-
年間平均すると	→	17.3	5.3	11.0	11.9	9.5	11.4	33.4	0.2

白もの牛乳類を全く飲まない方(問1で「7」とお答えの方)は、問8にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方(問1で「1〜6」とお答えの方)に】(N=3044)

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分 200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

	(それぞれ1つずつ○印)	1日に白もの牛乳類を飲む量							NA	
		50ml未満	50mlくらい	100ml(牛乳ビン半分)	200ml(牛乳ビン1本)	400ml(牛乳ビン2本)	600ml(牛乳ビン3本)	800ml(牛乳ビン4本)		1l(牛乳ビン5本)以上
夏場は	→	7.2	5.2	17.1	53.3	12.0	2.8	0.9	0.9	0.7
冬場は	→	8.3	7.4	21.7	50.5	8.3	2.0	0.4	0.4	1.0
年間平均すると	→	7.2	6.8	19.5	52.6	9.1	2.3	0.6	1.1	0.9

【白もの牛乳類を飲む方(問1で「1〜6」とお答えの方)に】(N=3044)

問5 あなたは、白もの牛乳類を飲む時にどのような飲み方をしますか。

ふだん飲む量を100%とした時、それぞれどのくらいの割合になるかをお知らせください。家庭だけでなく、学校や職場の給食や外食などで飲む量をすべて含めてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

	夏場は	冬場は	年間平均すると
a. そのまま飲む(あたためたり、氷を入れたり、砂糖を加えたりする飲み方を含む)	66.0 %	63.1 %	64.5 %
b. コーヒー・紅茶・ココアなどに入れて飲む	27.7 %	31.5 %	29.7 %
c. 牛乳にフルーツジュース・野菜ジュースなどを入れて飲む	2.2 %	1.8 %	2.0 %
d. シリアル(オートミール、コーンフレーク等)やくだものなどにかける	4.1 %	3.6 %	3.7 %
合計	100 %	100 %	100 %

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=3044)

問6 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。（いくつでも○印）

1 朝起きぬけに	12.4	11 のどがかわいたとき	39.4
2 朝食をとりながら	42.9	12 ちょっとおなかがすいたとき	12.2
3 朝食後	11.5	13 勉強や仕事をしながら	4.5
4 朝食がわりに	6.0	14 レジャーやスポーツ時	1.8
5 昼食時	14.7	15 くつろいでいる時	20.3
6 夕食時	5.7	16 乗り物での移動中	2.1
7 おやつや間食時	34.1	17 来客時	3.3
8 夜食時	3.5	18 その他	2.6
9 風呂上がり	24.8		
10 夜寝る前	11.2		

NA 0.6

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=3044)

問7 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。（いくつでも○印）

1 おいしいから	27.4	11 骨粗しょう症が心配だから	18.8
2 好きだから	27.8	12 良質のタンパク質があるから	13.8
3 栄養があるから	38.6	13 美容に良いから	2.7
4 カルシウムがあるから	48.0	14 便秘に効果があるから	10.1
5 朝食など食事代わりに	8.0	15 健康によいから	34.2
6 水などの代わりに	16.3	16 ぐっすり眠るために	4.2
7 他のものと混ぜたり、他のものにかいたりするため	23.0	17 気持ちをリラックスさせるために	4.7
8 習慣で	21.3	18 背が高くなりたいたいから	2.9
9 いつも家にあるから	21.6	19 医師など医療関係者がすすめるから	1.0
10 家族がすすめるから	5.9	20 他の飲み物に比べて安いから	1.2
		21 その他	3.0

NA 0.7

この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします

【すべての方に】(N=3486)

問8 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(1)そのまま飲む場合、(2)混ぜて飲む場合、(3)全体では、それぞれについてお知らせください。

(それぞれ1つずつ○印)	(1)そのまま飲む場合 ↓	(2)混ぜて飲む場合 ↓	(3)全体では ↓
飲む量が非常に増えた	1.7	1.9	1.7
飲む量がやや増えた	5.9	8.4	8.3
変わらない	60.2	58.4	63.6
飲む量がやや減った	9.2	5.1	8.6
飲む量が非常に減った	4.9	3.3	4.1
この1年くらいで全く飲まなくなった	2.4	3.2	1.2
牛乳はもともと飲まない	14.6	15.9	10.8

NA 1.1 3.9 1.6



問8の(3)で「1」「2」「3」とお答えの方

全体では「飲む量が非常に増えた」「飲む量がやや増えた」「変わらない」方

⇒ 7ページの問11へ

問8の(3)で「4」「5」「6」「7」とお答えの方

全体では「飲む量がやや減った」「飲む量が非常に減った」

「この1年くらいで全く飲まなくなった」「牛乳はもともと飲まない」方

⇒ 6ページの問9へ

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方（問8の（3）で「4、5、6、7」とお答えの方に）】(N=863)

問9 次のア)～ス)のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「5 あてはまる」から「1 あてはまらない」までのいずれかの数字でお答えください。

(それぞれ1つずつ○印)						NA
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	
ア) 牛乳は味にくせがあるから →	15.2	14.8	12.6	9.3	42.4	5.7
イ) 牛乳のにおいが嫌いだから →	15.6	11.1	11.6	11.1	44.8	5.7
ウ) 牛乳は飲んだあと口に残るから →	14.3	17.3	12.6	9.5	40.6	5.8
エ) 牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなるから →	22.2	12.4	13.0	9.0	38.0	5.3
オ) 牛乳を飲むと太ると思うから →	3.5	6.3	11.0	13.2	60.5	5.6
カ) 牛乳はコレステロールが気になるから →	4.5	5.3	13.6	12.2	59.0	5.4
キ) 牛乳は日持ちしないから →	5.4	10.8	13.1	10.9	54.3	5.4
ク) 牛乳は持ち歩けないから →	9.6	9.3	11.8	10.7	53.0	5.7
ケ) 自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がないから →	4.9	6.4	11.6	10.9	60.6	5.7
コ) 飲みたい牛乳がないから →	7.4	7.0	11.8	10.2	57.9	5.7
サ) 牛乳が体によくないという情報を本などで得たから →	4.2	3.0	7.8	10.4	69.2	5.4
シ) 医者に言われたから →	2.5	1.9	6.3	7.6	76.1	5.6
ス) 牛乳アレルギーがあるから →	3.1	2.4	4.9	6.7	77.3	5.6

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方（問8の（3）で「4、5、6、7」とお答えの方に）】(N=863)

問10 では、次のア)～ケ)のことがらは、あなたにどの程度あてはまりますか。それぞれについて、「5 あてはまる」から「1 あてはまらない」までのいずれかの数字でお答えください。

(それぞれ1つずつ○印)						NA
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	
ア) 牛乳以外に飲みたい飲み物が増えた →	22.6	19.9	14.3	7.8	29.3	6.1
イ) 牛乳が家の冷蔵庫に置かれなくなった →	9.5	8.2	10.0	10.7	55.3	6.4
ウ) 給食がなくなって牛乳を飲まなくなった →	14.5	8.9	8.2	5.2	56.4	6.7
エ) 給食の牛乳は飲みたくなかった (飲みたくない) →	11.1	6.3	11.1	7.0	57.7	6.8
オ) 体質が変わって牛乳を飲まなくなった →	6.1	6.8	10.1	10.1	60.3	6.6
カ) 味の好みが変わって牛乳を飲まなくなった →	5.2	6.7	11.4	9.7	60.3	6.7
キ) 食事のメニュー傾向が変わった (パン食中心からごはん食中心になった、など) →	4.4	5.6	11.2	11.8	60.6	6.4
ク) 朝食をとらなくなった →	2.3	3.6	6.3	8.8	72.7	6.4
ケ) 外食することが増えた →	2.3	6.1	8.7	8.6	67.9	6.4

【すべての方に】(N=3486)

問11 あなたは、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思いますか。「1 とても飲みたい」から「5 全く飲みたくない」までの数字の中から1つお選び下さい。(1つだけ○印)

1 とても飲みたい 17.6	4 あまり飲みたくない 7.9
2 まあ飲みたい 46.9	3 どちらともいえない 20.3
	5 全く飲みたくない 6.9

NA

0.5

ふだんよく飲む飲み物について

【すべての方に】

問12 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)
(N=3486)

問13 では、あなたは、問12でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印) (N=3475)

	【問12】	【問13】
	ふだんよく飲む (いくつでも○印)	最もよく飲む (1つだけ○印)
	↓	↓
白もの牛乳類	51.5	10.8
色もの乳飲料 (いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ミルクココアなど)	24.6	3.1
ドリンクヨーグルト	13.9	1.0
乳酸菌飲料 (ヤクルトなど)	18.7	1.1
果汁飲料	19.1	1.0
野菜ジュース	27.3	2.8
豆乳	9.0	1.1
炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	16.6	1.8
コーヒー (コーヒー飲料も含む)	61.2	22.5
紅茶 (紅茶飲料も含む)	24.9	2.4
無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	74.5	42.3
スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	25.9	2.8
栄養・機能性飲料 (アミノ式・アミノサプリなど)	9.9	0.6
ミネラルウォーター	25.4	5.9
この中にはない	0.2	*
NA	0.1	0.7

牛乳を使った料理 (デザートやお菓子を含む) についてお聞きします

【すべての方に】 (N=3486)

問14 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理 (デザートやお菓子を含む) をしましたか。(1つだけ○印)

1 した	30.1	2 しなかった	69.7	NA	0.2
------	------	---------	------	----	-----

10ページ
問15へ

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】 (N=1050)

問14-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数

4.3 回

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】 (N=1050)

問14-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。
(いくつでも○印)

1 シチュー	51.0	7 フレンチトースト	15.6	13 プリン	9.0
2 スープ、ポタージュ	21.2	8 ホットケーキ	29.9	14ゼリー	2.8
3 グラタン	24.1	9 ケーキ	9.0	15 杏仁豆腐	4.2
4 カレー	22.9	10 パン	4.4	16 その他	7.6
5 オムレツ、オムライス	16.2	11 手作りヨーグルト	8.8		
6 ハンバーグ	25.0	12 牛乳寒天	7.2		
		NA	0.1		

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】 (N=1050)

問14-3 この1ヶ月間にあなたが料理 (デザートやお菓子を含む) に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。(1つだけ○印)

1 小さじ1杯くらい (5ml)	0.2	5 1カップ (200ml)	26.5
2 大さじ1杯 (15ml)	2.5	6 2カップ (400ml)	17.6
3 4分の1カップ (50ml)	5.0	7 500ml	16.9
4 2分の1カップ (100ml)	10.0	8 1ℓ以上	21.0
		NA	0.3

ヨーグルトについてお聞きします

【すべての方に】(N=3486)

問15 あなたは、日頃の程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。(1つだけ○印)

1 毎日食べる/飲む	15.2	4 月に2~3日食べる/飲む	18.1
1 週に5~6日食べる/飲む	5.2	5 それ以下しか食べない/飲まない	10.7
2 週に3~4日食べる/飲む	13.4	6 全く食べない/飲まない	16.4
3 週に1~2日食べる/飲む	20.9		

NA 0.1

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問15で「1~6」とお答えの方)に】(N=2910)

問16 あなたは、ヨーグルトを食べる(飲む)ときは、1日に合計でどのくらいの量(食べる量+飲む量)になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。

(1つだけ○印)

1 50g未満	8.0	5 200gくらい	8.7
2 50gくらい	11.5	6 250gくらい	1.8
3 100gくらい	59.6	7 300gくらい	0.9
4 150gくらい	8.6	8 400g以上	0.6

NA 0.2

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問15で「1~6」とお答えの方)に】(N=2910)

問17 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。(いくつでも○印)

1 プレーンヨーグルト(無糖)	42.1	5 手作りヨーグルト	6.2
2 加糖のヨーグルト	42.0	(カスピ海ヨーグルト等)	
3 果肉フルーツ入りのヨーグルト	38.8	6 フローズンヨーグルト	0.7
4 ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	21.4	7 その他	0.8

NA 0.2

健康や食生活についてお聞きします

【すべての方に】(N=3486)

問18 あなたは、次にあげる「ことば・用語」をご存じですか。それぞれについてお答えください。

(それぞれ1つずつ○印)	内容まで知っている	内容は知らないが聞いたこと見たことがある	内容も知らないし聞いたことも見たこともない	NA
生活習慣病 →	66.6	30.6	2.5	0.3
体脂肪 →	75.7	22.1	1.8	0.3
BMI指数 →	23.2	34.4	41.3	1.1
メタボリック症候群 →	58.3	32.4	9.0	0.4
食育 →	38.0	36.7	24.7	0.5
食事バランスガイド →	17.8	42.1	39.7	0.5
牛乳の三次機能 →	3.7	23.6	72.1	0.5
栄養素密度 →	5.8	29.6	63.7	0.9
骨粗しょう症 →	76.9	20.5	2.5	0.2
骨密度 →	63.2	27.7	8.3	0.8

問19 あなたは、この3年くらいの間に、骨密度測定をしたことがありますか。

(1つだけ○印)

1 3年以内にある	18.7	2 3年以内にはないがそれ以前にある	9.9	3 一度もない	71.2
-----------	------	--------------------	-----	---------	------

NA 0.1

【すべての方に】(N=3486)

次の文章をお読みにしてから、以下の質問にお答えください。

「3-A-Day」(スリー・ア・デイ)。

「牛乳・ヨーグルト・チーズ、どれでも自由に1日3回、または3品、食生活に取り入れて、健康に良い食事を実践しましょう」という呼びかけが、3-A-Day運動です。

3(スリー)は、朝・昼・晩、3度の食事のたびにとか、牛乳・ヨーグルト・チーズを1品ずつ3品を、という程度の軽い意味での3という数字で、毎日必ず3回あるいは3品とらなければならないという意味ではありません。また、A-Day(ア・デイ)は単純に「1日」という意味です。

たとえば、コップ一杯の牛乳を飲む、サンドウィッチにチーズをはさむ、デザートにヨーグルトを食べる。食事のたびに思い出して、習慣化してみませんか。健康のためにチャレンジしてみましょう。

問20 上の文章は、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」についての説明ですが、あなたは「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」についてご存じでしたか。(1つだけ○印)

- 1 知っている 4.1 2 だいたい 8.5 3 知らない 87.3
 知っている

NA 0.1

問21 では、あなたは、広告などで次のようなロゴマークを見たことがありますか。(1つだけ○印)

- 1 見たことがある 9.7 2 見たことはない 90.1 → 問 23 へ

NA 0.2



【見たことがある方(問21で「1」とお答えの方)に】(N=339)

問22 あなたは、上のロゴマークを何でご覧になりましたか。(いくつでも○印)

- | | | |
|------------|------------------|---------------|
| 1 テレビ 18.0 | 4パンフレット・小冊子 20.1 | 7牛乳売場の小型 13.9 |
| 2新聞 14.5 | 5ホームページ 2.1 | 液晶テレビ |
| 3雑誌 13.6 | 6牛乳・乳製品の 52.2 | 8駅の看板 2.1 |
| | パッケージ | 9電車の車内広告 5.0 |

NA 2.4

【すべての方に】(N=3486)

問23 あなたは、ふだんの食生活で、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」を心がけていますか。

(1つだけ○印)

- | | |
|-----------------|------|
| 1 毎日心がけている | 10.0 |
| 2 毎日ではないが心がけている | 34.2 |
| 3 心がけていない | 55.6 |

NA 0.1

問24 あなたは、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」を実践してみようと思いますか。(1つだけ○印)

- | | | | |
|-----------|------|--------------|------|
| 1 とてもそう思う | 14.6 | 3 あまりそう思わない | 25.2 |
| 2 まあそう思う | 53.1 | 4 まったくそう思わない | 7.0 |

NA 0.1

あなたご自身のことについてお知らせください。
統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。

【すべての方に】(N=3486)

F1 性別

1 男性	49.4	2 女性	50.6	NA	-
------	------	------	------	----	---

F2 年齢

47.1	才
------	---

F3 あなたは結婚なさっていますか。(1つだけ○印)

1 未婚	25.8	2 既婚	71.1	3 その他	3.1	NA	0.1
------	------	------	------	-------	-----	----	-----

F4 お子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1 いる	68.1	2 いない	31.6	NA	0.3
------	------	-------	------	----	-----

F5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

【自営・家族従業】		【勤め】		【無職】	
1 農林漁業	1.6	5 管理職	4.8	11 専業主婦	18.5
2 商工サービス業	5.5	6 専門・技術職	12.3	12 中学生	4.1
3 自由業	3.3	7 事務職	7.0	13 高校生	3.7
4 内職	0.3	8 労務職	5.4	14 中高生以外の学生	3.2
		9 販売・サービス職	5.5	15 無職	16.1
		10 パート・アルバイト	8.7		
NA 0.1					

【すべての方に】(N=3486)

F6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1 1人(ひとり暮らし)	7.2	4 4人	23.0	7 7人以上	3.6
2 2人	24.5	5 5人	12.8		
3 3人	21.5	6 6人	7.1		

NA 0.2

【同居している家族人数が2人以上の方(F6で「2~7」とお答えの方)に】(N=3226)

F7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1 料理をする	45.4	3 どちらもしていない	46.6
2 食料品の買物をする	44.2		

NA 0.4

【同居している家族人数が2人以上の方(F6で「2~7」とお答えの方)に】(N=3226)

F8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。

(1つだけ○印)

1 夫婦2人	21.4
2 2世代世帯(親と子)	55.6
3 3世代世帯(親、子、孫)	19.9
4 その他	2.8

NA 0.2

【F8で「2、3、4」とお答えの方に】(N=2528)

F9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものを

いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1 乳児・幼児	20.4	4 高校生	18.6
2 小学生	23.9	5 大学・短大・専門学校生	11.0
3 中学生	18.7	6 この中にはない	38.4

NA 0.3

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

2007年 牛乳・乳製品の消費動向に関する調査
〔第21回〕

2007年12月発行

発行 社団法人 日本酪農乳業協会
東京都中央区築地6丁目4番10号
カトキチ築地ビル9階
電話 (03) 6226-6351 (代)

後援 農林水産省
独立行政法人 農畜産業振興機構

調査実施機関 株式会社 日本リサーチセンター